

**箱根町第6次総合計画  
後期基本計画  
実施計画**

---

**令和4年度 施策別評価結果**

令和5年 11 月

箱 根 町



## 目 次

1	第6次総合計画の概要.....	- 1 -
	(1) 計画の構成 .....	- 1 -
	(2) 総合計画で目指す将来像 .....	- 2 -
	(3) 基本目標と施策 .....	- 2 -
2	総合計画の進行管理・評価.....	- 4 -
	(1) 進行管理の考え方 .....	- 4 -
	(2) 評価の方法 .....	- 4 -
3	施策別の評価結果（まとめ） .....	- 6 -
	(1) 施策の進捗状況 .....	- 6 -
	(2) 成果指標の達成状況 .....	- 7 -
	(3) 事業の進捗状況 .....	- 12 -
4	施策別の評価シート.....	- 14 -
	(1) 施策別の評価シートの見かた .....	- 14 -
	(2) 施策評価結果一覧・施策別評価シート.....	- 17 -
	<b>【別紙】 令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧 .....</b>	<b>103</b>



# 1 第6次総合計画の概要

## (1) 計画の構成

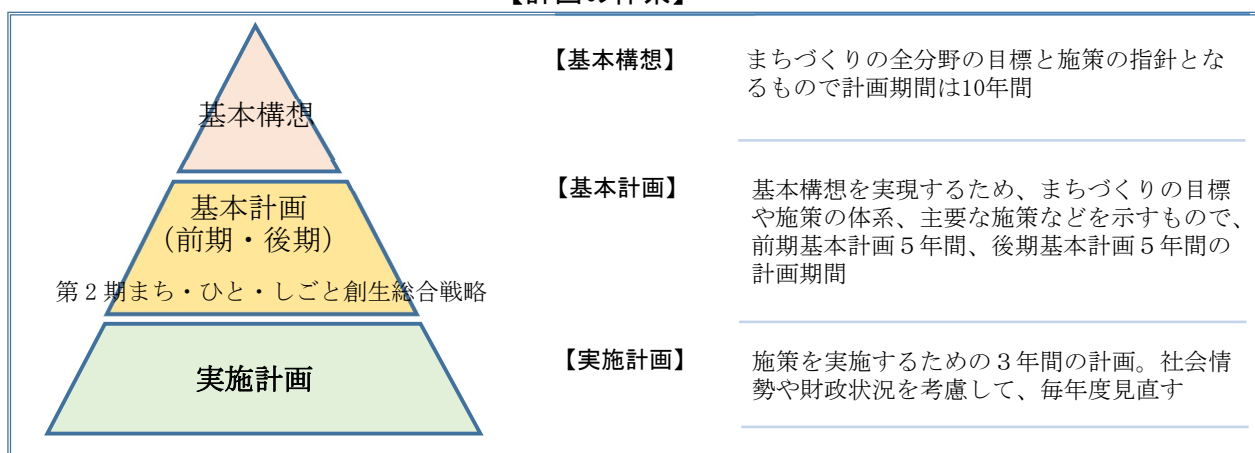
第6次総合計画は、基本構想、基本計画及び実施計画の3層で構成されています。

基本構想は、将来像をはじめ箱根町が進むべき方向性を明らかにしたまちづくりの全分野の目標と施策の指針となるもので、計画期間は、10年間（平成29〔2017〕～令和8〔2026〕年度）です。

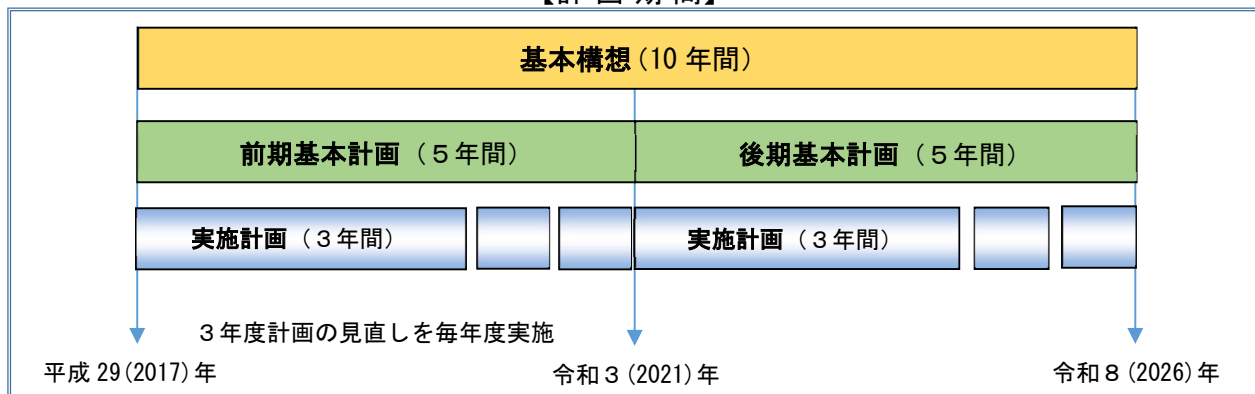
基本計画は、基本構想を実現するため、まちづくりの目標に対する現状と課題、課題解決に向けた施策の体系や方針などを示すもので、時代の変化が速い中で、中間年で施策の見直しなどの的確な対応を図れるよう、前期5年間（平成29〔2017〕～令和3〔2021〕年度）、後期5年間（令和4〔2022〕～令和8〔2026〕年度）をそれぞれ計画期間とします。

また、実施計画は、基本計画で定めた施策を実施するための3年間の具体的計画であり、社会経済状況の変化や町民生活を取り巻く環境の変化に柔軟に対応できるように、毎年度見直します。

### 【計画の体系】



### 【計画期間】



## (2) 総合計画で目指す将来像

### やすらぎとおもてなしのあふれる町ー箱根

「やすらぎ」とは、箱根の誇る美しい自然環境の保全を図っていき、住む人、訪れる人すべてが癒しを感じられる町を目指していくとともに、火山対策をはじめ防災対策の強化を図って、安全・安心が確保される町を目指すことを意味します。

「おもてなし」とは、町民同士が相手を思いやる気持ちを持って日々ふれあうことのできる町を目指すことで、地域コミュニティの維持向上につなげるとともに、国内外から訪れるすべての人々に対してもおもてなしの心が伝わる町になることを意味します。

## (3) 基本目標と施策

将来像の実現に向けて、6つの基本目標（保健・医療・福祉、教育・文化、生活環境、自然環境・安全、観光産業、行財政・協働の各分野）を定めるとともに、その目的を達成するために具体的に取り組むべき36の施策を設定しています。

基本目標	施策
基本目標 1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり	施策1 健康づくりの推進
	施策2 子育て支援の充実
	施策3 地域福祉の充実
	施策4 高齢者福祉の充実
	施策5 障がい者福祉の充実
	施策6 社会保障の充実
	施策7 ワーク・ライフ・バランスの実現
基本目標 2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり	施策8 学校教育の充実
	施策9 生涯学習の推進
	施策10 文化・芸術活動の推進
	施策11 家庭教育の充実
	施策12 青少年の健全育成
	施策13 文化財の保護と活用
	施策14 スポーツ活動の推進
	施策15 男女共同参画・人権尊重の推進
	施策16 多文化交流の実現

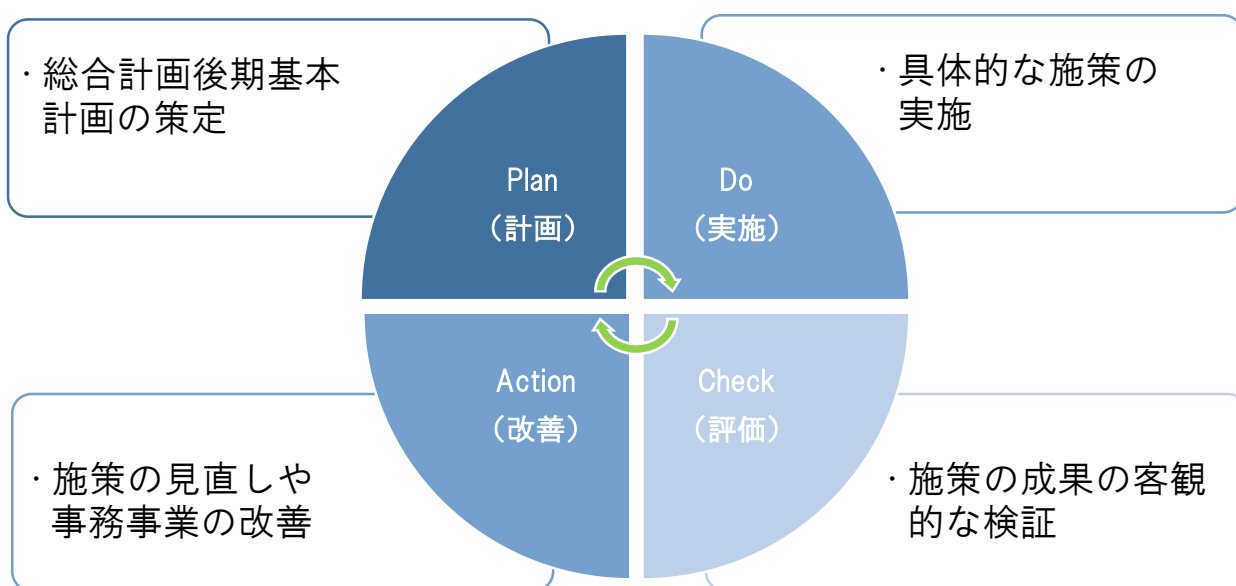
基本目標	施 策
基本目標 3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり	施策 17 道路・交通網の充実
	施策 18 住環境の整備
	施策 19 生活環境の整備
	施策 20 上下水道の整備
	施策 21 地域交通の利便性の確保
基本目標 4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり	施策 22 循環型社会の形成
	施策 23 自然環境の保全
	施策 24 景観の保全・形成
	施策 25 防災対策の推進
	施策 26 消防・救急対策の充実
	施策 27 交通安全・防犯の充実
基本目標 5 癒しと文化を提供する観光産業づくり	施策 28 観光資源の開発と活用
	施策 29 観光拠点整備と魅力向上
	施策 30 多様な観光資源と活用した誘客と受入態勢の整備
	施策 31 箱根ジオパークの推進
	施策 32 伝統産業や観光行事の振興
基本目標 6 行政の効率的経営と官民協働体制の強化	施策 33 協働のまちづくりの推進
	施策 34 計画的な行財政運営
	施策 35 S D G s の推進
	施策 36 コロナ対策の推進

## 2 総合計画の進行管理・評価

### (1) 進行管理の考え方

施策ごとに設定した目標となる指標の毎年度の達成状況の把握とともに、施策の定性的なデータも含めた総合的な検証を行い、その結果を箱根町総合計画審議会に報告し、その意見を聞いて翌年度からの施策の推進に活かします。

また、この総合的な検証結果と審議会からの意見、町の対応方策等はわかりやすく町民等へ公表します。



### (2) 評価の方法

実施計画の進捗状況を把握するために、毎年度、各課等に対し事業の成果と進捗状況を調査します。その後、施策ごとに設定した目標指標の実績と施策の展開の定性的なデータをもとに、部長級職員により施策を評価します。

この結果は、総合計画策定本部会議で評価結果の確認後、総合計画審議会に報告し意見を伺ったうえで公表し、次年度の予算、実施計画のローリングに活用します。



[令和4年度施策別評価者一覧]

基本目標		施策		担当課 (R4実施計画事業)	施策評価者
1	皆が支えあう、 誰もが元気な まちづくり	1	健康づくりの推進	保険健康課、生涯学習課	福祉部長
		2	子育て支援の充実	子育て支援課、都市整備課、 学校教育課、生涯学習課	福祉部長
		3	地域福祉の充実	福祉課	福祉部長
		4	高齢者福祉の充実	福祉課、保険健康課	福祉部長
		5	障がい者福祉の充実	福祉課	福祉部長
		6	社会保障の充実	福祉課、保険健康課	福祉部長
		7	ワーク・ライフ・バランスの実現	町民課、総務防災課、子育て支 援課、保険健康課、生涯学習課	福祉部長
2	未来を拓く 人材が育ち、 町民相互に 高めあう まちづくり	8	学校教育の充実	学校教育課	教育次長
		9	生涯学習の推進	生涯学習課	教育次長
		10	文化・芸術活動の推進	生涯学習課	教育次長
		11	家庭教育の充実	生涯学習課	教育次長
		12	青少年の健全育成	生涯学習課	教育次長
		13	文化財の保護と活用	生涯学習課	教育次長
		14	スポーツ活動の推進	生涯学習課	教育次長
		15	男女共同参画・人権尊重の推進	町民課、福祉課	総務部長
16	多文化交流の実現	企画課、観光課、学校教育課	企画観光部長		
3	誰もが 住みたくなる、 より良い 生活環境の まちづくり	17	道路・交通網の充実	都市整備課、観光課	環境整備部長
		18	住環境の整備	企画課、観光課、町民課、 福祉課、都市整備課	企画観光部長
		19	生活環境の整備	環境課、上下水道温泉課	環境整備部長
		20	上下水道の整備	上下水道温泉課	環境整備部長
		21	地域交通の利便性の確保	都市整備課	環境整備部長
4	環境にやさしく 安全・安心な まちづくり	22	循環型社会の形成	環境課、財務課	環境整備部長
		23	自然環境の保全	企画課、観光課、財務課、 環境課	企画観光部長
		24	景観の保全・形成	都市整備課	環境整備部長
		25	防災対策の推進	総務防災課、都市整備課、 上下水道温泉課	総務部長
		26	消防・救急対策の充実	消防本部	消防長
		27	交通安全・防犯の充実	町民課	総務部長
5	癒しと文化を 提供する 観光産業 づくり	28	観光資源の開発と活用	観光課、企画課、総務防災課、 上下水道温泉課	企画観光部長
		29	観光拠点整備と魅力向上	観光課	企画観光部長
		30	多様な観光資源を活用した誘 客と受入態勢の整備	観光課、財務課、学校教育課	企画観光部長
		31	箱根ジオパークの推進	企画課、観光課	企画観光部長
		32	伝統産業や観光行事の振興	観光課	企画観光部長
6	行政の効率的 経営と官民協働 体制の強化	33	協働のまちづくりの推進	町民課、企画課、観光課、都市 整備課	総務部長
		34	計画的な行財政運営	企画課、総務防災課、町民課、 財務課、税務課、環境課	総務部長
		35	S D G s の推進	企画課、観光課、環境課	企画観光部長
		36	コロナ対策の推進	保険健康課、観光課、総務防災課、子 育て支援課、学校教育課、消防本部	福祉部長

### 3 施策別の評価結果（まとめ）

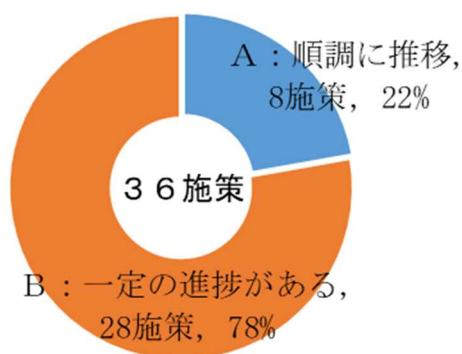
#### （1）施策の進捗状況

- ・36 施策の令和4年度における進捗状況を評価した結果、「A：順調に推移した施策」は8件（22%）、「B：一定の進捗があった施策」が28件（78%）となりました。
- ・令和4年度は後期基本計画のスタートの年として、定めた目標に向かって一定の進捗が図れましたが、新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、「A：順調に推移した施策」の割合が約2割となり、「B：一定の進捗があった施策」が約8割となりました。今後は、計画終了年度である令和8年度には、すべての施策が目標に達せられるよう「A：順調に推移した施策」の割合を増やしていく必要があります。

（図表1）基本目標別の施策の進捗状況

施策の進捗区分	基本目標						区分 合計	割合
	1	2	3	4	5	6		
A 順調に推移 (目標達成又は進捗している)	0	4	3	0	0	1	8	22%
B 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)	7	5	2	6	5	3	28	78%
C 進捗が遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)	0	0	0	0	0	0	0	0%
D 進捗が大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	0	0	0	0	0	0	0	0%
合 計	7	9	5	6	5	4	36	100%

（図表2）施策の進捗区分別の内訳



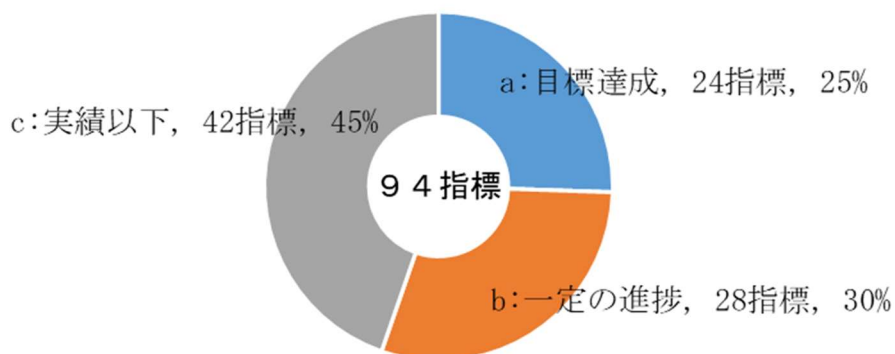
(2) 成果指標の達成状況

- ・36の施策に位置付けた成果指標は、94項目あり、そのうち令和4年度で「a 目標値に達している指標」は、24項目（25%）、「b 目標値に達していないものの計画策定時の実績値から一定の進捗が図れた指標」は、28項目（30%）、「c 計画策定時の実績値を下回った指標」は、42項目（45%）となりました。
- ・目標達成している件数と、一定の進捗が図れていた指標を合わせて50%を超えましたが、計画策定時の実績値を下回った指標が45%もありました。令和4年度は、新型コロナウイルス感染症による影響がみられた項目もありますが、引き続き、目標達成に向け新たな事態に対応しながら、改善に取り組んでいきます。

(図表3) 基本目標別の施策の成果指標の達成状況

成果指標の達成状況	基本目標						区分 合計	割合
	1	2	3	4	5	6		
a 目標達成 (目標値に達している指標)	8	6	3	6	0	1	24	25%
b 一定の進捗 (目標値に達していないものの 計画策定時の実績値から一定 程度進捗が図れている指標)	5	4	6	3	7	3	28	30%
c 実績以下 (計画策定時の実績値を下 回った指標)	9	14	4	5	5	5	42	45%
合 計	22	24	13	14	12	9	94	100%

(図表4) 成果指標の達成区分別の内訳



●成果指標の進捗状況一覧

施策番号	目標とする指標	目標値					単位	R4指標の達成状況
		R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R8 (目標)		
1	特定健康診査の受診率 (受診者数÷対象者数)	31.3	30.7	35.7	34.0	34.0	%	a:目標達成
1	がん検診の受診率	25.0	23.5	25.1	24.9	33.0	%	c:実績以下
1	温水プールの年間利用者数	13,032	9,525	14,834	14,817	27,000	人	b:一定進捗
2	認定こども園・保育所 待機児童数	0	0	0	0	0	人	a:目標達成
2	放課後児童クラブ待機児童数	0	0	0	0	0	人	a:目標達成
2	乳幼児健康診査受診率	94.4	87.9	92.2	101.6	100	%	a:目標達成
2	子育て支援講座参加者数	6	0	23	27	30	人	b:一定進捗
2	放課後子ども教室参加児童数	28	22	28	27	30	人	c:実績以下
3	ボランティア団体数	10	10	10	10	12	団体	b:一定進捗
3	住民交流会(サロン)設置 地域数及び団体数	5	5	5	5	5	地域 団体	b:一定進捗
		11	11	11	11	12		
4	ひとり暮らし老人等緊急通報 システム事業の設置世帯数	35	35	33	31	50	世帯	c:実績以下
4	長寿健康診査の受診率 (受診者数÷対象者数)	36.6	38.1	32.7	36.0	40.0	%	c:実績以下
4	配食サービス事業の年間の延べ配 食数	5,996	5,393	4,903	4,875	6,300	食	c:実績以下
4	老人クラブの会員数	593	493	436	395	565	人	c:実績以下
5	在宅障がい児の機能訓練会等への 参加者数(年間延べ人数)	218	132	178	205	230	人	c:実績以下
5	訪問系サービス利用者数 (人/月)	10	13	13	8	13	人	c:実績以下
5	施設入所者数	17	16	15	13	15	人	a:目標達成
6	国民健康保険料の収納率	80.9	81.5	85.2	86.9	83.0	%	a:目標達成
6	高齢者の健康相談件数	166	505	781	71	309	件	c:実績以下
7	認定こども園・保育所待機児童数 (再掲)	0	0	0	0	0	人	a:目標達成
7	子育て支援講座参加者数 (再掲)	6	0	21	27	30	人	b:一定進捗
7	男女共同参画講演会満足度(アン ケート)	-	-	-	100	80.0	%	a:目標達成
8	町内小・中学校児童・生徒の地域 行事への参加率	75.8	コロナによ り未実施	65.0	65.5	80.0	%	c:実績以下
8	町内小・中学校児童・生徒の読書 量が1日30分以上の割合	62.6	コロナによ り未実施	32.5	35.3	70.0	%	c:実績以下
8	それぞれの子どもが持っている自 尊感情の度合い	65.0	67.0	68.3	68.4	70.0	%	b:一定進捗
9	全公民館の年間利用者数	25,120	14,469	20,029	24,649	15,000	人	a:目標達成
9	町民一人当たりの図書貸出冊数	1.89	1.62	2.04	1.94	1.97	冊	b:一定進捗
9	自治学習出張講座の利用件数	3	2	2	3	5	件	b:一定進捗
9	生涯学習フェスティバル登録行事 数(文化系行事)	3	5	1	2	5	回	c:実績以下
10	町民文化祭の参加人数	527	428	471	475	550	人	c:実績以下
11	家庭教育講座参加者数	77	0	0	57	80	人	c:実績以下

施策番号	目標とする指標	目標値					単位	R4指標の達成状況
		R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R8 (目標)		
11	幼保小中学校での家庭教育に関する取組数	34	0	0	0	12	件	c:実績以下
11	広報等での家庭教育啓発記事数	6	6	6	6	6	件	a:目標達成
12	青少年関係事業への児童・生徒の参加率	20.0	0.0	0.0	23.3	20.0	%	a:目標達成
13	箱根関所入館者数	280,017	116,900	127,024	198,174	400,000	人	c:実績以下
13	郷土資料館利用者数	6,992	3,193	4,359	4,276	10,000	人	c:実績以下
13	文化財ボランティア数 (延人数)	54	0	0	8	100	人	c:実績以下
13	郷土資料館所蔵資料の利用点数	48	27	50	139	100	点	a:目標達成
13	箱根関所学校利用プログラム利用件数	96	43	51	67	150	件	c:実績以下
14	箱根路森林浴ウォーク町民参加者数	63	0	0	24	150	人	c:実績以下
14	箱根町総合体育館の稼働率	40.5	37.1	26.3	34.0	50.0	%	c:実績以下
14	スポーツ教室・大会等開催回数	3	0	0	1	5	回	c:実績以下
15	男女共同参画講演会満足度（アンケート）（再掲）	-	-	-	100	80.0	%	a:目標達成
15	審議会等における女性委員の割合	20.5	22.9	20.5	23.9	30.0	%	b:一定進捗
16	ホストタウン相手国との交流回数	1	0	2	1	1	回	a:目標達成
16	姉妹都市・友好都市との訪問団派遣・受入回数	0	0	0	0	1	回	c:実績以下
17	町道16路線の整備エリアの整備率	3,106 48.5	3,380 52.8	3,764 58.8	4,448 69.5	6,400 100	m %	b:一定進捗
17	橋りょう保全改修数	5 55.6	6 66.7	6 66.7	6 66.7	9 100	橋 %	b:一定進捗
18	空き家バンク登録件数（累計）	54	58	61	73.0	100	件	b:一定進捗
18	お試し移住・体験者数（年間）	3	4	5	5	20	件	b:一定進捗
19	花いっぱい運動参加団体数	23	23	26	28	25	団体	a:目標達成
19	美化清掃参加団体数	30	29	32	28	35	団体	c:実績以下
19	不法投棄パトロール回数	25	23	31	33	30	回	a:目標達成
19	有害野生鳥獣（猪）捕獲数 （3か年平均）	73	71	73	59	70	頭	c:実績以下
20	水道事業における有収水量率	84.9	84.1	83.9	84.1	85.9	%	c:実績以下
20	第1号公共下水道整備率	89.8	90.4	90.5	90.5	98.6	%	b:一定進捗
20	第2号公共下水道整備率	78.7	78.9	78.9	78.9	88.6	%	b:一定進捗
21	パークアンドサイクルの年間利用件数	4,466	3,708	3,237	4,874	4,500	件	a:目標達成
22	ごみの資源化率	5.8	6.7	5.9	5.4	12.0	%	c:実績以下
22	ごみの焼却処理量	13,956	10,828	11,118	12,199	13,100	トン	a:目標達成
23	資源保全基金の年間寄付金額	4,799	2,683	2,062	4,150	6,000	千円	c:実績以下
23	豊かな森林づくり（水源かん養）の実施面積（実施町有地の延面積）	145	176	212	249	499	ha	b:一定進捗
23	間伐材搬出促進事業に係る搬出実施面積（累計）	86	93	99	106	104	ha	a:目標達成

施策番号	目標とする指標	目標値					単位	R4指標の達成状況
		R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R8 (目標)		
24	景観まちづくり協力店の認定件数(累計)	15	15	15	15	30	件	b:一定進捗
25	神奈川県西部地震の被害想定に基づく、避難者及び帰宅困難者のための食料備蓄率	100	100	100	100	100	%	a:目標達成
25	防災講演、出前出張講座等の依頼数に対する講演会等の実施回数	2	0	20	22	5	回	a:目標達成
25	木造住宅耐震診断費に対する年間助成件数	2	0	1	2	5	件	b:一定進捗
26	応急手当の普及啓発受講者数	602	7	121	408	750	人	c:実績以下
26	消防団員数	327	325	309	306	370	人	c:実績以下
27	町立小学校及び認定こども園・幼稚園・保育所での交通安全教室開催回数	7	7	7	7	7	回	a:目標達成
27	町内高齢者(65歳以上)へのドライビングスクールの参加者数	15	0	0	0	15	人	c:実績以下
27	消費生活に関する相談件数	44	53	31	41	50	件	c:実績以下
27	交通安全施設の重点点検	0	1	2	2	2	回	a:目標達成
28	観光協会ホームページのアクセス数	296	219	265	297	300	万回	b:一定進捗
29	森のふれあい館の入館者数	14,208	11,428	14,014	15,178	18,000	人	b:一定進捗
29	箱根ジオミュージアムの入館者数	56,780	68,735	81,724	123,648	153,000	人	b:一定進捗
29	箱根湿生花園の入館者数	78,369	52,823	59,751	65,925	92,000	人	c:実績以下
30	年間入込客数	1,896	1,257	1,350	1,736	2,000	万人	c:実績以下
30	観光産業融資利子補給事業の利用件数	4	0	0	0	10	件	c:実績以下
30	外国人宿泊観光客数	576,183	40,038	4,028	41,564	400,000	人	c:実績以下
30	箱根DMO公認観光ガイド	-	0	0	48	60	人	b:一定進捗
31	箱根ジオパークサポーター登録者数	36	40	48	58	100	人	b:一定進捗
31	箱根ジオミュージアム入館者アンケートにおける箱根ジオパークの認知度	22.5	コロナにより未実施	コロナにより未実施	コロナにより未実施	80.0	%	c:実績以下
32	畑宿寄木会館来館者数	9,947	4,549	7,422	9,695	13,000	人	b:一定進捗
32	寄木細工専用ホームページアクセス数	-	0	0	93,166	100,000	回	b:一定進捗
33	活力あるまちづくり新規補助件数	1	1	0	4	3	団体	a:目標達成
33	町政モニター延べ回答者数	31	127	164	110	240	人	b:一定進捗
34	行財政改革アクションプランの進捗率	33.0	29.0	37.0	37.0	100	%	b:一定進捗
34	町税徴収率(3か年平均)	94.9	93.9	93.8	93.8	95.2	%	c:実績以下
35	町民のSDGs認知度の向上	40.0	未実施	未実施	未実施	80.0	%	c:実績以下
35	箱根町SDGs推進計画(仮称)の策定	-	-	-	策定中	策定済	-	b:一定進捗
36	新型コロナウイルス感染者数	-	24	315	1,493	0	人	c:実績以下

施策番号	目標とする指標	目標値					単位	R4指標の達成状況
		R1 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R8 (目標)		
36	クラスター発生数	-	-	-	-	0	件	c:実績以下
36	避難所における新型コロナウイルス感染症新規感染者数	-	-	-	-	0	人	c:実績以下

(凡例)

a:目標達成（目標値に達している指標）

b:一定の進捗（目標値に達していないものの計画策定時の実績値から一定程度進捗が図れている指標）

c:実績以下（計画策定時の実績値を下回った指標）

※ 評価は、R4年度実績とR1実績・R8目標を比較して評価したものであり、R2及びR3は、経年の状況を見るために記載しているもの。

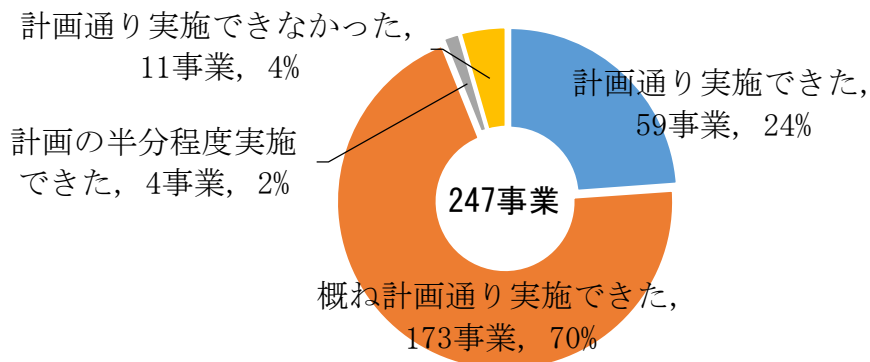
### (3) 事業の進捗状況

- ・36の施策の展開に資する事業として令和4年度に位置付けた247事業のうち、「計画通り実施できた」ものが59事業(24%)、「概ね計画通り実施できた」ものが173事業(70%)となりました。一方、「計画の半分程度実施できた」ものは4事業(2%)あり、「計画通り実施できなかった」ものは11事業(4%)となりました。
- ・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症などの影響もあり、一部の事業に影響が見られましたが、今後は、それらを踏まえ必要な見直しを行いつつ、計画通りの進捗が図れるように進めていく必要があります。

(図表5) 基本目標別の事業の進捗状況

事業の進捗区分	基本目標						区分 合計	割合
	1	2	3	4	5	6		
計画通り実施できた	29	5	7	12	1	5	59	24%
概ね計画通り実施できた	35	35	30	23	34	16	173	70%
計画の半分程度実施できた	2	0	1	0	1	0	4	2%
計画通り実施できなかった	0	2	3	5	1	0	11	4%
合 計	66	42	41	40	37	21	247	100%

(図表6) 施策の進捗区分別の内訳







## 4 施策別の評価シート

### (1) 施策別の評価シートの見かた

施策別評価シートは、施策評価のツールとして、36の施策ごとに、施策の取組方針や成果指標に対して、施策の展開に資する事務事業の実施により、どのような成果が得られたか等について施策担当課が作成し、その結果をもとに施策責任者が施策の達成状況について評価したものです。

施策別評価シートと記載内容の見かたは、次のとおりです。

第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策3		
総合計画上の位置付け 基本目標、施策、重点施策の有無を示しています。	基本目標	1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり		
	施策	3 地域福祉の充実		
	重点施策	分野1 防災力の強化〔施策の展開 1-3-4が該当〕 分野3 健康生活の推進〔施策の展開 1-3-3, 1-3-6, 1-3-7が該当〕 分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 1-3-3が該当〕		
今後の取組方針	◇ 町民自らが福祉に取組む地域福祉のまちづくりを目指し、地域による見守り体制の構築に努めます。 ◇ 複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築し、重層的支援を行えるよう努めます。 ◇ 住み慣れた地域で安全・安心な生活が持続できるよう、ともに生きる地域福祉体制の構築を図り、共生社会を目指します。			
施策の展開 施策の展開項目と施策担当課、施策責任者を示しています。	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	1-3-1	福祉意識の向上	福祉課	福祉部長
	1-3-2	地域で取り組む認知症対策の推進		
	1-3-3	見守り活動・福祉活動への理解促進		
	1-3-4	安全対策の充実		
	1-3-5	健康づくり・介護予防の充実		
	1-3-6	地域交流・異世代交流の推進		
	1-3-7	ボランティア活動の推進		
	1-3-8	情報提供・相談体制の充実		
	1-3-9	各種サービスの充実		
1-3-10	社会福祉協議会への支援			
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-37～	実施計画 P-25～	ロジック・モデル P-167	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析		実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）						単位	
目標指標	その他指標	その他定性的な成果	指標等の成果分析	元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	8年度(目標)	
				5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)			
1 ボランティア団体数	住民交流会（サロン） 設置地域数	住民交流会（サロン） 設置団体数		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	団体
				5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	団体
				11.0	11.0	11.0	11.0	11.0	団体
									12
1	民生委員・児童委員の充足率 (年度末現員数/定員数*100)			97.7	97.7	97.7	100.0	%	
2									
その他定性的な成果 (取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)		・ボランティア団体等における地域での積極的な活動により、地域福祉体制におけるボランティアやサロンの必要性について、理解が広がりがつつあります。							
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)		・民生委員・児童委員の充足率については、昨年12月の一斉改選時には定員割れをしていましたが、3月に補充することができ現在の充足率は100%となっています。高齢化等に伴い、各地域において後任の推薦が難しくなっていることが今後の課題です。							

### 事務事業名、目的

事務事業の名称と目的を示しています。

### 事業の進捗度 課題の有無 今後の方向性

事業の進捗度や課題の有無、今後の方向性を方向性を示しています。

#### ※事業の進捗度

- ・計画通り実施できた
- ・概ね計画通り実施できた
- ・計画の半分程度実施できた
- ・計画通り実施できなかった

#### ※課題の有無

具体的内容は、別添実施計画事業一覧に記載しています

#### ※今後の方向性

- ・計画通り実施(予定)
- ・計画を変更し実施(予定)
- ・廃止
- ・休止

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	認知症見守り支援事業	認知症の方を介護する家族の心理的・経済的負担を軽減するため、徘徊高齢者を地域で見守る仕組みを構築する	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	生活支援体制整備事業(介護保険特別会計)	介護予防・日常生活支援総合事業の充実を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	介護予防普及啓発事業(介護保険特別会計)	高齢者の自立を促し、介護予防の推進を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	保健福祉サービス調整機構運営事業	高齢者で保健福祉サービスを必要とする人々に対して最も適したサービスの種類、方法の検討及び調整を行う	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	箱根町社会福祉協議会運営補助事業	地域社会の福祉の向上と増進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
6	地域支え合い推進事業	「箱根町地域福祉計画」及び「箱根町災害時要援護者避難支援計画」の推進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
7	臨時特別給付金給付事業	コロナウイルス感染症影響による困窮世帯支援措置強化のため	概ね計画通り実施できた	なし	廃止
8	特別支援給付金給付事業	国の住民税非課税世帯給付金対象外の世帯を町独自の施策で救済するため	概ね計画通り実施できた	なし	廃止
9	緊急支援給付金給付事業	電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響が大きい世帯への救済のため	概ね計画通り実施できた	なし	廃止

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」107ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A: 順調に推移 (目標達成又は進捗している)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア団体数、及び、サロン団体数ともに現状維持の状況となっていますが、サロンは全地域に設置できているなど、地域福祉を充実していくためのボランティアや住民交流会(サロン)の必要性について、理解が広がりつつあります。</li> <li>・民生委員・児童委員については、令和4年12月の一斉改選時には欠員もありましたが、年度末には欠員を全て補充することができました。</li> </ul>
B: 一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)		
C: 進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)		
D: 進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)		

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

### 施策の達成状況

指標等の成果を中心に施策を構成する事務事業の評価等から総合的に評価した、施策の達成状況結果を示しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①: 現状のまま継続する (効果的な事業構成である)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民交流会(サロン)は、団体の維持や新規加入者の増加が難しい状況にあり、今後、活動を維持させていくためには新たな担い手の確保やリーダーの育成などが課題となりますので、箱根町社会福祉協議会とさらなる連携を図っていきます。</li> <li>・民生委員・児童委員は、高齢化等に伴い、各地域で後任の推薦が難しくなっています。自治会と連携し、民生委員・児童委員の確保に向けた対策の取組みに繋げていきます。</li> </ul>
②: 一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)		
③: 見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)		
④: 抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)		

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

### 今後の方向性

施策の成果等とともに上記の構成事業を踏まえ、実施計画のローリングに向けて、事業の見直し等を行う必要があるか等を検討した結果をもとに今後の方向性を示しています。

[施策の進捗状況区分]

記号	区 分	内 容
A	順調に推移した (目標達成又は進捗している)	施策に設定した成果指標が目標値に達している又は目標値に向かって進捗しており、施策の展開に資する事務事業が順調に推移した施策
B	一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)	施策に設定した成果指標の多くが計画策定時の実績値から目標値に向かって一定の進捗があり、施策の展開に資する事務事業が概ね順調に推移した施策
C	進捗が遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)	施策に設定した成果指標のうち、計画策定時の実績値を下回る指標が多い施策や、施策の展開に資する事務事業のうち複数の事業が遅れた施策
D	進捗が大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	施策に設定した成果指標のうち、計画策定時の実績値を大幅に下回る指標が多い施策や、施策の展開に資する事務事業のうち複数の事業が大幅に遅れた施策

[今後の方向性の区分]

記号	区 分	内 容
①	現状のまま継続する (効果的な事業構成である)	効果的な事業構成であり、現状のまま継続すれば目標年次 (R8) に成果指標や定性的な成果が見込まれる施策
②	一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)	概ね効果的な事業構成であるものの、目標年次 (R8) に成果指標や定性的な成果を得るためには、事業の一部で見直しが必要な施策
③	見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)	あまり効果的な事業構成ではないため、目標年次 (R8) に成果指標や定性的な成果を得るためには、事業の多くで見直しが必要な施策
④	抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	事業構成に問題があるため、目標年次 (R8) に成果指標や定性的な成果を得ることが困難であり、構成事業の抜本の見直しが必要な施策

(2) 施策評価結果一覧・施策別評価シート

施 策		評価結果		施策別 評価シート のページ
		施策の 進捗状況	今後の 方向性	
1	健康づくりの推進	B	②	18
2	子育て支援の充実	B	②	22
3	地域福祉の充実	B	②	26
4	高齢者福祉の充実	B	②	28
5	障がい者福祉の充実	B	②	32
6	社会保障の充実	B	②	34
7	ワーク・ライフ・バランスの実現	B	②	36
8	学校教育の充実	A	①	38
9	生涯学習の推進	A	②	42
10	文化・芸術活動の推進	A	①	44
11	家庭教育の充実	B	②	46
12	青少年の健全育成	A	①	48
13	文化財の保護と活用	B	①	50
14	スポーツ活動の推進	B	①	52
15	男女共同参画・人権尊重の推進	B	①	54
16	多文化交流の実現	B	②	56
17	道路・交通網の充実	A	①	58
18	住環境の整備	B	②	62
19	生活環境の整備	A	①	64
20	上下水道の整備	B	②	66
21	地域交通の利便性の確保	A	①	68
22	循環型社会の形成	B	②	70
23	自然環境の保全	B	②	72
24	景観の保全・形成	B	②	74
25	防災対策の推進	B	①	76
26	消防・救急対策の充実	B	①	78
27	交通安全・防犯の充実	B	①	80
28	観光資源の開発と活用	B	②	82
29	観光拠点整備と魅力向上	B	②	84
30	多様な観光資源を活用した誘客と受入態勢の整備	B	①	86
31	箱根ジオパークの推進	B	②	90
32	伝統産業や観光行事の振興	B	②	92
33	協働のまちづくりの推進	B	①	94
34	計画的な行財政運営	B	①	96
35	SDGsの推進	B	①	98
36	コロナ対策の推進	A	②	100

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策1		
総合計画上の位置付け	基本目標	1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり		
	施策	1 健康づくりの推進		
	重点施策	分野3 健康生活の推進〔施策の展開 1-1-1, 1-1-2, 1-1-7が該当〕		
今後の取組方針	<p>◇ 町民一人ひとりの健康づくりを支援するため、健康診査の受診勧奨及び周知徹底を図り、特定保健指導についても積極的な支援を図っていきます。また、人間ドックの補助金制度についても実施できるよう努めます。</p> <p>◇ 町内における一次医療機関※の充実とかかりつけ医の推進を図るとともに、救急医療や災害時医療体制の整備・充実を推進します。</p>			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	1-1-1	健康づくり・食育の推進	保険健康課  生涯学習課	福祉部長
1-1-2	健康づくり・食育の支援			
1-1-3	がん検診・成人歯科検診の受診促進			
1-1-4	感染症対策の推進			
1-1-5	特定健康診査、特定保健指導の促進			
1-1-6	健康づくり・食育関係団体との協働			
1-1-7	未病センターの充実			
1-1-8	地域医療の充実			
1-1-9	救急医療・災害時医療体制の整備・充実			
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-30～	実施計画 P-13～	ロジック・モデル P-164	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
実施計画に位置付けた目標とする指標及びその他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)	
目標指標	1 特定健康診査の受診率 (受診者数÷対象者数)	31.3	30.7	35.7	34.0	%
	2 がん検診の受診率 (受診者数÷対象者数)	25.0	23.5	25.1	24.9	
	3 温水プールの年間利用者数	13,032	9,525	14,834	14,817	人
その他指標	1 健康づくり関係団体との共催イベント数	49	8	29	31	件
	2 食育サポートメイト養成数 (食育サポートメイト養成講座の修了者数)	2	コロナで事業中止	1	1	人
<b>その他定性的な成果</b> <small>(取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)</small>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・さくら館温水プールの活用や各種健康づくり団体の活動により健康づくりの場を提供することができています。</li> <li>・年1回の受診により、自身の健康状態を把握してもらっていますが、受診率の向上対策として、不定期受診者や未受診者を対象に勧奨通知等による受診勧奨を実施しました。また、受診機会を年間を通して確保するため、総合健(検)診(全がん検診と特定健診を同時受診)の日程を年度末にも設けるとともに、若年層を対象に、健康福祉フェスティバルにおいて超音波検査による乳がん検診に加え、子宮頸がん検診を実施し、検診に関する意識向上を図りました。</li> </ul>				
<b>指標等の成果分析</b> <small>(指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)</small>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診は目標を達成し、がん検診に関しては県内でも比較的高い受診率を達成しているものの依然として目標値との乖離が大きい状況です。</li> <li>・検診項目によっては取扱医療機関に限られることに加え、令和4年末で町内医療機関が1減となったことから、令和4年度においては受診率が低下しており、受診機会の拡充および効果的な受診勧奨が課題です。</li> <li>・さくら館温水プールの利用状況に関しては、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が減少しましたが、今後利用者の呼び戻しや新たな利用者の掘り起しが課題です。</li> </ul>				

### 3 施策を構成する実施計画事業の評価

番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	健康づくり推進事業	町民の健康保持・増進を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
2	総合保健福祉センター整備事業	さくら館を適切に管理・運営するために必要な整備を行う	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	総合保健福祉センター利用促進事業	総合保健福祉センターの利用を促進することで町民の健康づくりを増進する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	特定健康診査等事業(国民健康保険特別会計)	生活習慣病の早期発見、早期治療により医療費の抑制を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	生活習慣病予防推進事業	生活習慣病のうち特にがんの早期発見を図ることにより早期治療につなげ、これらに起因する死亡を減少させる	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
6	女性特有のがん検診推進事業	女性特有のがんの早期発見、早期治療を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
7	子宮頸がんワクチン接種事業	予防接種の積極的勧奨の差し控えにより、公的な接種機会を逃したものに対して公平性を確保する観点から接種費用の助成を行う	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
8	風しん対策事業	先天性風しん症候群の発症を防止する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
9	地域医療体制推進事業	地域住民及び観光客の安心と安全を守るために、医療体制を確保する	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
10	医療機関燃料価格高騰対策支援事業	町民の医療の確保及び健康の管理を図る。	計画通り実施できた	なし	廃止
11	医療機関光熱水費高騰対策支援事業	町民の医療の確保及び健康の管理を図る。	計画通り実施できた	なし	廃止
12	地震等災害医療対策事業	発災時に必要な医療資機材の備蓄および管理を行う	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
13	休日急患救急医療推進事業	休日に安心して必要な医療を受けられるよう急病患者の一次救急医療を確保する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」103ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査及びがん検診については、県内では比較的高い受診率を達成しておりますが、がん検診については目標値との乖離が大きい状況であるとともに、検診項目によっては取扱医療機関に限られることに加え、町内医療機関の閉院などから受診率が低下しており、受診機会の拡充および効果的な受診勧奨が課題です。</li> <li>・さくら館温水プールの活用や各種健康づくり団体の活動により、健康づくりの場を提供することができています。プールについては、コロナ禍以前と比べると減少傾向にあり、利用者の呼び戻しや新たな利用者の掘り起しが課題です。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査及びがん検診の受診率については、未受診者などを対象に勧奨通知等による受診勧奨を実施しました。また、総合健(検)診の日程を年度末にも設けるとともに、若年層を対象に健康福祉フェスティバルにおいて超音波検査による乳がん検診に加え、子宮頸がん検診を実施してきておりますが、今後も、受診しやすい日程等の工夫を引き続き進めていきます。</li> <li>・医療体制(休日急患診療含む)の確保については、医師の高齢化等の問題を考慮し、将来を見据えた効果的な施策について町内の医師と共に、調査研究をしていきます。</li> <li>・さくら館温水プールは、新たな利用者の掘り起こし策として、水泳教室の充実等、利用しやすい環境を創出できるよう、プールの管理運営を委託する業者と相談しながら調査研究をしていきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。





第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策2		
総合計画上の位置付け	基本目標	1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり		
	施策	2 子育て支援の充実		
	重点施策	分野2 若者定住の促進〔施策の展開 1-2-3, 1-2-9が該当〕		
今後の取組方針	◇ 「箱根町第2次子ども・子育て支援事業計画」に基づき、総合的に各種施策を推進し、子育て支援制度の周知と利用促進を図ります。 ◇ 子育ての課題に応じた施策に総合的に取組むことで、子どもの最善の利益※の確保や少子化対策を推進していきます。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	1-2-1	子育て相談・支援体制の充実	子育て支援課 都市整備課 学校教育課 生涯学習課	福祉部長
	1-2-2	母子等の健康の確保及び増進		
	1-2-3	地域における子育ての支援		
	1-2-4	保育サービスと放課後児童対策の充実		
	1-2-5	質の高い教育・保育の推進		
	1-2-6	子どもの人権擁護の推進		
	1-2-7	ひとり親家庭等への支援		
	1-2-8	子どもの貧困対策の推進		
	1-2-9	子育てしやすい住環境づくり		
	1-2-10	子育て世代への負担軽減		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-33～	実施計画 P-18～	ロジック・モデル P-165	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
実施計画に位置付けた目標とする指標及びその他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
	5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)		
目標指標	1 認定こども園・保育所待機児童数	0	0	0	0	人
	2 放課後児童クラブ待機児童数	0	0	0	0	人
	3 乳幼児健康診査受診率	94.4	87.9	92.2	101.6	%
	4 子育て支援講座参加者数	6.0	0.0	23.0	27.0	%
	5 放課後子ども教室参加児童数	28	22	28	27	人
その他指標	1 シェアコンシェルジュ登録人数	0	0	0	9	人
その他定性的な成果 (取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)	・認定こども園、保育所へ保育を必要とする児を待機なく受入れできたことで、男女ともに仕事と家庭等バランスを取りながら働くことができる環境の整備ができました。 ・放課後児童クラブの運営により、働きながら子育てができる環境を提供し、小学生の健全な育成に繋げることができています。 ・令和4年度から「子育てシェアタウン推進事業」を開始し、子育て世帯の交流と相互の助け合いの機会を創出することで安心して子育てができる環境づくりを進めることができました。 ・令和5年2月から、すべての妊婦、子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう出産・子育て応援交付金の給付と伴走型支援を開始し一体的な支援を行うことができました。					
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)	・保育を希望し始める年齢が低年齢化しているため、0～2歳児の待機を出さないように保育士の確保等に努め待機児童ゼロを継続している。 ・放課後児童クラブは、令和2年10月から公設民営とし、運営を外部委託したことから、質の向上と安定的な運営を図ることができた。令和4年4月からは運営内容を拡充し、子どもの健全育成と子育て家庭の更なる支援を図ることができました。 ・乳幼児健康診査の受診率は、対象者の一時帰国や転出等で受診率の変動があるが、引き続き、集団健診を毎月行い受診しやすい体制を継続しながら、未受診者へは受診勧奨を行い受診率の向上につなげていく。 ・令和5年4月から小児医療費の助成対象を中学生から高校生までに拡大し、子育て世帯の更なる負担軽減を図ることができました。 ・子育てシェアタウンの担い手となるシェアコンシェルジュの発掘・育成やイベントの開催、アプリの普及を継続して行い、町全体で子育てをする意識醸成を図りながら、安心して子育てを続けられる環境構築につなげていきます。					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	子育て支援センター等運営事業	少子化・核家族化に伴う育児不安解消、育児支援及び親子での遊びの場の提供	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	箱根っこわくわくふれあい事業	自立心や思いやりを育むなど、子どもたちの健全育成を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	子育て世代包括支援事業	妊娠を望んだときから子育て期まですべての子どもが健康やかに育つよう切れ目のない支援を行う	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	乳幼児保育等利用費補助事業	国の無償化の対象外の費用について、保育料等の補助を行い、幼児教育・保育に関する経済的負担を軽減し子育て支援の充実を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
5	子育てシェアタウン推進事業	地域における育児の相互援助活動を推進するとともに、早朝・夜間等の緊急時の預かりや、ひとり親家庭等の支援をはじめ、モノ・コトの共有など多様なニーズへの対応を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
6	小児医療費助成事業	小児保健の受診の向上と小児家庭の生活の安定を支援する	計画通り実施できた	あり	計画変更し実施(予定)
7	新生児聴覚検査費助成事業	新生児の聴覚検査費用を助成することで、その経済的負担を軽減し、音声言語発達等への影響を最小限に抑える	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
8	母子保健活動推進事業	妊娠期から幼児期までの母親と子どもの健康の保持と増進を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
9	放課後子ども教室運営事業	児童が放課後を安全・安心に過ごす居場所を提供する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
10	認定こども園整備事業	認定こども園の安全で快適な保育環境等を確保する	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
11	箱根保育教育推進事業	のびのびと心温かい箱根の子どもを育成する(人間関係づくりや人間性、社会性の育成)	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
12	子育て家庭応援事業	法規定に基づき、支援を要するすべての子を視野に入れた総合的支援体制を整備し、児童福祉の向上を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
13	産婦健康診査費助成事業	産後間もない産婦の身体と心の回復状態を確認するための健診費用を助成することにより、産後うつ等の予防や子育て支援の充実を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
14	放課後児童健全育成事業	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童の健全育成を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
15	こども宅食サービス事業	児童の生活の安定、見守りを含む子育て機能の向上・充実を図る	計画通り実施できた	あり	計画変更し実施(予定)
16	子育て世帯臨時特別給付金給付事業	18歳以下の児童を養育する者に対し、臨時特別給付金(児童1人当たり100,000円)を支給する	計画通り実施できた	なし	廃止
17	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	低所得の子育て世帯に対し特別給付金(児童1人当たり50,000円)を支給する	計画通り実施できた	なし	廃止

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」105ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
<p>A：順調に推移 (目標達成又は進捗している)</p> <p>B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)</p> <p>C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)</p> <p>D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園、保育所へ保育を必要とする児を待機なく受け入れできたことで、男女ともに仕事と家庭等バランスを取りながら働くことができる環境の整備ができています。また、放課後児童クラブの運営により、働きながら子育てができる環境を提供し、小学生の健全な育成に繋げることができました。</li> <li>・令和4年度から開始した「子育てシェアタウン推進事業」により、子育て世帯の交流と相互の助け合いの機会を創出することで安心して子育てができる環境づくりを進めることができました。</li> <li>・令和5年2月から、すべての妊婦、子育て世帯が安心して出産・子育てができるよう出産・子育て応援交付金の給付と伴走型支援を開始したことにより、一体的な支援を行うことができました。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
<p>①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である)</p> <p>②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)</p> <p>③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)</p> <p>④：抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)</p>	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育希望開始が低年齢化の傾向にあるため、0～2歳児の待機を出さないように保育士の確保等に努め待機児童ゼロを継続していきます。</li> <li>・放課後児童クラブは、令和4年4月から運営内容を拡充し、子どもの健全育成と子育て家庭の更なる支援を図ることができますので、今後もニーズの把握に努め、充実した支援を行っていきます。</li> <li>・乳幼児健康診査の受診率は、引き続き、集団健診を毎月行い受診しやすい体制を継続しながら、未受診者へは受診勧奨を行い受診率の向上につなげていきます。</li> <li>・子育てシェアタウン推進事業により、子育ての担い手となるシェアコンシェルジュの発掘や育成やイベントの開催、アプリの普及を継続して行い、町全体で子育てをする意識醸成を図りながら、安心して子育てを続けられる環境構築につなげていきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策3		
総合計画上の位置付け	基本目標	1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり		
	施策	3 地域福祉の充実		
	重点施策	分野1 防災力の強化〔施策の展開 1-3-4が該当〕 分野3 健康生活の推進〔施策の展開 1-3-3, 1-3-6, 1-3-7が該当〕 分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 1-3-3が該当〕		
今後の取組方針	◇ 町民自らが福祉に取組む地域福祉のまちづくりを目指し、地域による見守り体制の構築に努めます。 ◇ 複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築し、重層的支援を行えるよう努めます。 ◇ 住み慣れた地域で安全・安心な生活が持続できるよう、ともに生きる地域福祉体制の構築を図り、共生社会を目指します。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	1-3-1 福祉意識の向上 1-3-2 地域で取り組む認知症対策の推進 1-3-3 見守り活動・福祉活動への理解促進 1-3-4 安全対策の充実 1-3-5 健康づくり・介護予防の充実 1-3-6 地域交流・異世代交流の推進 1-3-7 ボランティア活動の推進 1-3-8 情報提供・相談体制の充実 1-3-9 各種サービスの充実 1-3-10 社会福祉協議会への支援	福祉課	福祉部長	
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-37～	実施計画 P-25～	ロジック・モデル P-167	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		←5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→8年度(目標)		
目標指標	1	ボランティア団体数	10.0	10.0	10.0	10.0	団体
			12				
	2	住民交流会（サロン） 設置地域数	5.0	5.0	5.0	5.0	団体
			5				
2	住民交流会（サロン） 設置団体数	11.0	11.0	11.0	11.0	団体	
		12					
その他指標	1	民生委員・児童委員の充足率 (年度末現員数/定員数*100)	97.7	97.7	97.7	100	%
その他	定性的な成果 (取組みを進めたことで 発現した効果など について記載)	・ボランティア団体等における地域での積極的な活動により、地域福祉体制におけるボランティアやサロンの必要性について、理解が広がりつつあります。					
		指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を含 めて記載)	・民生委員・児童委員の充足率については、昨年12月の一斉改選時には定員割れをしていましたが、3月に補充することができ現在の充足率は100%となっています。高齢化等に伴い、各地域において後任の推薦が難しくなっていることが今後の課題です。				

### 3 施策を構成する実施計画事業の評価

番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	認知症見守り支援事業	認知症の方を介護する家族の心理的・経済的負担を軽減するため、徘徊高齢者を地域で見守る仕組みを構築する	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	生活支援体制整備事業(介護保険特別会計)	介護予防・日常生活支援総合事業の充実を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	介護予防普及啓発事業(介護保険特別会計)	高齢者の自立を促し、介護予防の推進を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	保健福祉サービス調整機構運営事業	高齢者で保健福祉サービスを必要とする人々に対して最も適したサービスの種類、方法の検討及び調整を行う	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	箱根町社会福祉協議会運営補助事業	地域社会の福祉の向上と増進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
6	地域支え合い推進事業	「箱根町地域福祉計画」及び「箱根町災害時要援護者避難支援計画」の推進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
7	臨時特別給付金給付事業	コロナウイルス感染症影響による困窮世帯支援措置強化のため	概ね計画通り実施できた	なし	廃止
8	特別支援給付金給付事業	国の住民税非課税世帯給付金対象外の世帯を町独自の施策で救済するため	概ね計画通り実施できた	なし	廃止
9	緊急支援給付金給付事業	電力・ガス・食料品等の価格高騰の影響が大きい世帯への救済のため	概ね計画通り実施できた	なし	廃止

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」107ページのとおり。

### 4 施策の進捗状況

区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	・ボランティア団体数、及び、サロン団体数ともに現状維持の状況となっておりますが、サロンは全地域に設置できているなど、地域福祉を充実していくためのボランティアや住民交流会(サロン)の必要性について、理解が広がりつつあります。 ・民生委員・児童委員については、令和4年12月の一斉改選時には欠員もありましたが、年度末には欠員を全て補充することができました。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

### 5 今後の方向性

区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	・住民交流会(サロン)は、団体の維持や新規加入者の増加が難しい状況にあり、今後、活動を維持させていくためには新たな担い手の確保やリーダーの育成などが課題となりますので、箱根町社会福祉協議会とさらなる連携を図っていきます。 ・民生委員・児童委員は、高齢化等に伴い、各地域で後任の推薦が難しくなっています。自治会と連携し、民生委員・児童委員の確保に向けた対策の取組みに繋げていきます。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策4		
総合計画上の位置付け	基本目標	1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり		
	施 策	4 高齢者福祉の充実		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 高齢者が住み慣れた地域で尊厳を保持し、自立生活の支援の目的のもとで、いつまでも暮らし続けられるよう、地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの深化を目指します。</li> <li>◇ 老人クラブでの活動、外出支援策、介護予防体操などを通じて、高齢者の社会参加などの取組みを促進します。</li> <li>◇ 令和3（2021）年3月に更新した「第8期箱根町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、保健・医療・福祉の連携を図りながら、健康づくりや介護サービスの円滑な実施に努めます。</li> <li>◇ 継続的に長寿健康診査を受診してもらえよう効果的な受診勧奨の実施に努めます。</li> </ul>			
施策の展開	施 策 の 展 開		施策担当課	施策責任者
	1-4-1	地域包括ケアシステムの構築	福 祉 課 保険健康課	福祉部長
	1-4-2	地域支援事業の充実		
	1-4-3	在宅福祉サービスの充実		
	1-4-4	地域包括支援センターの機能強化		
	1-4-5	高齢者の生きがい・やりがいづくりの推進		
	1-4-6	長寿健康診査受診率の向上		
	1-4-7	高齢者の健康増進対策		
	1-4-8	権利擁護の推進		
	1-4-9	高齢者サポート施策の実施		
	1-4-10	保険と介護予防の一体化事業の推進		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-41～	実施計画 P-28～	ロジック・モデル P-168	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及びその他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)		
目標指標	1	ひとり暮らし老人緊急通報システム事業の設置世帯数	35	35	33	31 50	世帯
	2	長寿健康診査の受診率 (受診者数÷対象者数)	36.6	38.1	32.7	36.0 40.0	%
	3	配食サービス事業の年間延べ配食数	5,996	5,393	4,903	4,875 6,300	食
	4	老人クラブの会員数	593	493	436	395 565	人
その他指標	1						
	2						
その他定性的な成果 (取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年1回の受診により、自身の健康状態を把握してもらうことができます。</li> <li>・高齢者の安心・安全な暮らしを支える見守りや高齢者の生きがいややりがいにつながる活動を推進することができました。また、介護保険制度のサービスや認知症について理解を深め、実際に介護をする立場になった際の介護技術を学ぶ教室をコロナ禍で中止になったものもあったが、年7回開催することができました。</li> </ul>						
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿健診に関しては県内でも比較的高い受診率を達成しているものの、依然として目標値との乖離が大きい状況です。</li> <li>・高齢者は増加していますが、老人クラブの会員数は依然として減少傾向にあります。理由としては、ある程度の年齢になっても、就業を希望する高齢者が多いことから、余暇活動となる老人クラブの活動まで時間が取れないことが考えられます。今後は、ウィズコロナの観点で着実に事業を実施し、高齢者の生きがい・やりがいづくりを行うなど、加入促進に向けて積極的に周知していく必要があります。</li> </ul>						



3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	地域包括支援センター運営事業(介護保険特別会計)	地域包括支援センターの円滑な運営を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	介護保険事業所燃料価格高騰対策支援事業	介護保険事業所の安定的な介護サービスの維持を図る	計画通り実施できた	なし	廃止
3	介護保険事業所光熱水費等高騰対策支援事業	介護保険事業所の光熱水費高騰分の負担軽減を図る	計画通り実施できた	なし	廃止
4	成年後見制度利用支援事業(介護保険特別会計)	認知症等の高齢者の財産管理と施設入所の手続き等を実施する成年後見人等の申し立てを行い本人の権利を擁護し生活を支援する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	老人生きがい対策事業	高齢者の生きがいややりの高揚と相互交流を図る	計画の半分程度実施できた	あり	計画通り実施(予定)
6	高齢者サポート事業	高齢者の多様な暮らし方の実現や自立の支援を図るとともに、町民による相互の支えあいである地域包括ケアシステムの構築を推進する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
7	地域住民移動支援促進事業	事業を通じて高齢者等の外出活動の維持増進を行い、個人の健康増進とQOL(生活の質)の向上および地域コミュニティの強化を図る。	概ね計画通り実施できた	あり	休止
8	ねんりんピック開催事業	ねんりんピックを通して高齢者の生きがいや健康増進を図る	概ね計画通り実施できた	なし	廃止
9	箱根町シルバー人材センター運営補助事業	高齢者の就労の場の確保のためシルバー人材センターの円滑な運営と事業の拡大を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
10	認知症施策推進事業(介護保険特別会計)	認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、必要な医療、介護及び生活支援サービスを効果的に行える体制を構築するとともに、認知症ケアの普及啓発を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
11	在宅医療介護連携推進事業(介護保険特別会計)	高齢者が、医療と介護を必要な状態になっても住み慣れた地域で暮らすことができるように在宅医療と介護の連携強化を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
12	介護サービス利用者支援事業	在宅重度要介護高齢者を介護している家族の経済的負担を軽減する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
13	家族介護教室開催事業	町民が介護保険制度や認知症について理解を深め、実際介護する立場になった際の介護技術について学ぶ	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
14	地域自立生活支援事業(介護保険特別会計)	家庭内の事故等への対応の体制整備に資する事業として、ひとり暮らし老人等の緊急時に対する不安を解消し、日常生活の安全確保を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
15	後期高齢者保健事業	健康診査を実施し、後期高齢者の健康保持・増進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
16	保健と介護予防の一体化事業	虚弱状態(フレイル)の方に対する健康づくりと介護予防を一体的に実施することで高齢者の健康増進を図る	計画の半分程度実施できた	あり	計画通り実施(予定)
17	老人福祉センターやまなみ荘整備事業	利用者の利便の確保、安全対策、施設の維持管理を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
18	配食サービス事業	食事の調理が困難なひとり暮らし老人等の自宅に食事を提供することにより、健康の保持と食の自立を促し併せて、孤独感の解消及び健康状態の確認を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
19	はり・きゅう・マッサージサービス事業	老人福祉の増進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
20	敬老祝金支給事業	多年にわたり、社会の進展に寄与してきた老人に敬愛の意を表し、その長寿を祝う	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」110ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している)  B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)  C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)  D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らし老人や高齢者世帯の緊急事態に対する不安を解消するため、緊急通報システムを設置し日常生活の安全確保を図られています。</li> <li>・長寿健康診査の受診率は、コロナ禍前の状況への回復傾向にあり、年1回の受診により自身の健康状態を把握する良い機会としてもらうことができました。</li> <li>・配食サービス事業は、高齢者の見守りも兼ねており、その役目を果たしています。配食数は、デイサービスと併用される方の増加や、利用者の施設入所などの影響などから、減少傾向にあります。</li> <li>・老人クラブについては、クラブ数及び会員数ともに、減少傾向にあります。要因としては、ある程度の年齢になっても就業を希望する高齢者が多いことから、余暇活動となる老人クラブの活動まで時間が取れないことなどが考えられます。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である)  ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)  ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)  ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひとり暮らし老人や高齢者世帯に対する緊急通報システム事業は、高齢者の緊急事態の不安を解消するために、今後も引き続き実施していきます。</li> <li>・長寿健康診査は、引き続き受診率向上の取組みを図っていきます。</li> <li>・老人クラブについては、高齢者が増加傾向にあるにも関わらず、老人クラブの新規加入者より退会者の方が多く、全体の人数が減少しています。生きがい対策事業を有効に活用し、引き続き加入促進に向けて積極的に周知を行いながら、今後のあり方を検討していきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策5		
総合計画上の位置付け	基本目標	1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり		
	施策	5 障がい者福祉の充実		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<p>◇ 障がいのある方もない方も住み慣れた地域でその人らしく自立し、安心して暮らしたいいきと社会参加できるまちを目指します。</p> <p>◇ 障がいのある方の地域生活への支援、社会参加の促進、人にやさしいまちづくりの推進を図り、ライフステージに応じた切れ目のない包括的な支援の充実を図ります。</p>			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	1-5-1	サービスの充実	福祉課	福祉部長
	1-5-2	権利擁護のための施策の充実		
	1-5-3	差別の解消		
	1-5-4	地域生活支援の促進		
	1-5-5	発達障がい者等に対する支援		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-43～	実施計画 P-35～	ロジック・モデル P-170	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
	実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		←5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→8年度(目標)	
目標指標	1 在宅障がい児の機能訓練会等への参加者数（年間延べ人数）	218	132	178	205 230	人
	2 訪問系サービス利用者数（人／月）	10	13	13	8 13	人
	3 施設入所者数	17	16	15	13 15	人
	4					
その他指標	1					
	2					
その他定性的な成果 （取組みを進めたことで発現した効果などについて記載）	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携を図りながら機能訓練会への参加を呼びかけ、参加していただくことにより、専門的な支援が必要なお子さんには障がい福祉サービスにつなげることができました。</li> <li>機能訓練会は、小学校入学とともに終了となりますが、理学療法士の訓練を希望される方には、学校の理解と協力を得ながら訓練を継続することができました。</li> </ul>					
指標等の成果分析 （指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載）	<ul style="list-style-type: none"> <li>機能訓練会への参加人数は、年々増加傾向にあります。訓練会への参加をきっかけに障がい福祉サービスの利用にもつながっています。</li> <li>訪問系のサービスに関しては、新規に利用する方もいますが年齢により介護保険サービスに移行する方や転出等から減少傾向にあります。</li> <li>施設入所者の地域生活への移行に向けた支援の充実を図ることとしていますが、他の施設へ入所等で減少傾向にあります。</li> </ul>					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	在宅重度障がい者等支援事業	身体障がい者等の社会活動への参加を促進するとともに、通院及び日常生活の利便を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	心身障がい者福祉等推進事業	在宅の身体・知的・精神障がい児・者の機能回復や社会参加等を促し、障がい福祉の充実を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	地域活動支援センター事業	地域活動支援センターを開設し、障がい者等の地域生活支援の促進を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」114ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 <small>(目標達成又は進捗している)</small> B：一定の進捗がある <small>(目標達成に向け一定の進捗がある)</small> C：進捗は遅れている <small>(目標達成が遅れる可能性がある)</small> D：進捗は大幅に遅れている <small>(目標達成が難しい可能性がある)</small>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関と連携を図りながら機能訓練会への参加を呼びかけ、専門的な支援が必要なお子さんには障がい福祉サービスにつなげることができました。機能訓練会は、小学校入学とともに終了となりますが、理学療法士の訓練を希望される方には、学校の理解と協力を得ながら訓練を継続することができています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する <small>(効果的な事業構成である)</small> ②：一部見直し等の余地がある <small>(概ね効果的な事業構成である)</small> ③：見直し等の余地は大きい <small>(あまり効果的な事業構成ではない)</small> ④：抜本的見直し等が必要 <small>(事業構成に問題がある)</small>	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅重度障がい者等支援事業は、重度障がい者の社会参加や通院などの日常生活の利便性に寄与しているため、引き続き事業の推進を図ります。</li> <li>心身障がい者福祉等推進事業は、児童に対しての早期療育が提供できる体制を維持し、療育の必要な児童が適切な訓練等を受けられるように関係機関と連携を図り参加を促していきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要			施策6	
総合計画上の位置付け	基本目標	1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり		
	施策	6 社会保障の充実		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 適正な保険料の決定と収納率の向上、保険給付の適正化に努め、国民健康保険・介護財政の安定化を図ります。 ◇ 一層の高齢社会に備えるため、安定した基盤の構築を進めます。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	1-6-1	医療費の適正化	福祉課 保険健康課	福祉部長
	1-6-2	保険料率の見直し		
	1-6-3	収納率の向上		
	1-6-4	介護保険の適正運営		
	1-6-5	介護従事者の確保と資質の向上		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-46～	実施計画 P-37～	ロジック・モデル P-171	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)		
目標指標	1	国民健康保険料の収納率	80.9	81.5	85.2	86.9 83.0	%
	2	高齢者の健康相談件数	166	505	781	71 309	件
	3						
その他指標	1						
	2						
その他 定性的な成果 <small>（取組みを進めたことで発現した効果などについて記載）</small>	・介護保険サービスの必要量の確保が図られ、高齢者が住み慣れた地域で安心して介護保険サービス等を利用する環境を整えることができました。 ・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を推進し、高齢者のニーズにあった福祉施策や介護保険サービスを取入れ、高齢者が暮らしやすい地域包括ケアシステムの構築を目指していきます。						
指標等の 成果分析 <small>（指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載）</small>	・国民健康保険料、後期高齢者医療保険料および介護保険料の収納率について、口座振替の勧奨、コンビニエンスストア収納の周知および夜間催告により対前年で収納率は増加しています。しかし、低所得者や転出後連絡が取れない方等の滞納整理が進まない事案の解決が今後の収納率向上に向けた課題です。 ・高齢者の健康相談の件数は、令和2、3年度については新型コロナウイルスワクチン接種の際にアンケート調査を実施している関係で大きく増となっており、各年度の相談件数に差が生じています。今後は、相談会の開催日数や開催時間の変更など、相談会の効率的な開催を検討していく考えです。						

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	国民健康保険特別会計繰出金	制度の継続的安定的運営を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	後期高齢者医療特別会計繰出金	制度の継続的安定的運営を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
3	介護保険特別会計繰出金	制度の継続的安定的運営を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
4	介護従事者等支援事業	町内の介護事業所における介護人材の確保及び充実等を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」115ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している)  B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)  C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)  D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険料、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の収納対策は、口座振替の勧奨、コンビニエンスストアの収納の周知、夜間催告により徴収率は増加傾向にありますが、低所得者や転出後連絡がとれない方等の滞納整理に課題があります。</li> <li>・国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険特別会計は、適正な保険料の算定及び収納率の向上を図る取組みなどにより、制度の安定的運営が図れています。</li> <li>・介護保険サービスの必要量の確保が図られ、高齢者が住み慣れた地域で安心して介護保険サービス等を利用する環境を整えることができています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である)  ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)  ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)  ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計及び介護保険特別会計は、引き続き適正な保険料の算定及び収納率の向上を図る取組みなどにより、安定的な運営を行っています。</li> <li>・収納率向上のため、3保険料ともコンビニエンス収納や夜間催告などを継続して実施していきます。</li> <li>・高齢者の健康相談は、内容が介護サービスのことから権利擁護、生活相談など多岐にわたってきており、今後ますます様々な対応についての検討が必要になると考えます。</li> <li>・高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を推進し、高齢者のニーズにあった福祉施策や介護保険サービスを取入れ、高齢者が暮らしやすい地域包括ケアシステムの構築を目指していきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策7		
総合計画上の位置付け	基本目標	1 皆が支えあう、誰もが元気なまちづくり		
	施策	7 ワーク・ライフ・バランスの充実		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ ワーク・ライフ・バランスの実現に向け、男女ともに家庭や地域活動に参画し、生きがいをもって生活していくために、長時間労働の是正や多様な働き方のできる就業環境づくりを推進していきます。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	1-7-1	情報提供及び普及啓発	町民課 総務防災課 子育て支援課 保険健康課 生涯学習課	福祉部長
	1-7-2	育児休暇取得の推進		
	1-7-3	健診受診率の向上		
	1-7-4	スポーツイベント、教室の開催		
	1-7-5	家族等で共に子育てする意識の醸成		
	1-7-6	保育サービス等の充実		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-48～	実施計画 P-40～	ロジック・モデル P-172	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		←5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→8年度(目標)	
目標指標	1 認定こども園・保育所待機児童数 (再掲)	0.0	0.0	0.0	0.0 0	人
	2 子育て支援講座参加者数 (再掲)	6	0	21	27 30	人
	3 男女共同参画講演会満足度 (アンケート)	-	-	-	100 80.0	%
	4					
その他指標	1					
	2					
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画講演会を通じて、多世代の町民に向けて、ワークライフバランスの大切さを啓発することができました。</li> <li>認定こども園、保育所へ保育を必要とする児を待機なく受け入れできたことで、男女ともに仕事と家庭等バランスを取りながら働くことができる環境の整備ができました。</li> <li>子育て支援講座では、受講していただくことで子育てについての手法などを周知することによって育児力の向上を図ることができました。</li> <li>20～30歳代の若年および子育て世代の女性が受診しやすいよう、「若い世代のがん検診」として乳がん検診(超音波検査)・子宮頸がん検診を託児付で実施した。</li> <li>就労している方がより受診しやすいよう、平日に加え休日にも集団健(検)診を実施した。</li> </ul>					
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を含めて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>講演会とミニコンサートを合わせて実施することで、普段講演会に出向かない層を取り込むとともに、参加者満足度が高い結果となりました。</li> <li>保育を必要とし始める児の年齢が低年齢化してきているため、0～2歳児の待機を出さないよう今後対応が必要になる可能性があります。</li> <li>子育て支援講座については、気軽に参加できる場を提供していくため、開催場所や開催方法を検討し、参加者数の増を図ります。</li> <li>託児付の集団健(検)診については、現在は「若い世代のがん検診」として実施している半日のみであり、対象者は20～30歳代に限定していることから、より幅広い子育て世代が受診しやすい体制を今後検討していきたい。</li> </ul>					



3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1					

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 <small>(目標達成又は進捗している)</small>  B：一定の進捗がある <small>(目標達成に向け一定の進捗がある)</small>  C：進捗は遅れている <small>(目標達成が遅れる可能性がある)</small>  D：進捗は大幅に遅れている <small>(目標達成が難しい可能性がある)</small>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画講演会を通じて、多世代の町民に向けて、ワークライフバランスの大切さを啓発することができました。</li> <li>・子育て支援講座は、受講していただくことで、子育て中の父母が力を合わせて育てていく育児力の向上を図ることができました。また、子育てイベントを開催することにより、親子の交流機会を創出することができています。</li> <li>・20～30歳代の若年および子育て世代の女性が受診しやすいよう、「若い世代のがん検診」として乳がん検診・子宮頸がん検診を託児付で実施しています。</li> <li>・就労している方がより受診しやすいよう、平日に加え休日にも集団健(検)診を実施しています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する <small>(効果的な事業構成である)</small>  ②：一部見直し等の余地がある <small>(概ね効果的な事業構成である)</small>  ③：見直し等の余地は大きい <small>(あまり効果的な事業構成ではない)</small>  ④：抜本の見直し等が必要 <small>(事業構成に問題がある)</small>	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演会とミニコンサートを合わせて実施することで、普段講演会に出向かない層を取り込むことができましたので、今後も参加者の満足度が高い結果とるように努めていきます。</li> <li>・子育て支援講座については、気軽に参加できる場を提供していくため、開催場所や開催方法を検討し、参加者数の増を図ります。</li> <li>・託児付の集団健(検)診については、現在は「若い世代のがん検診」として実施している半日のみであり、対象者は20～30歳代に限定していることから、より幅広い子育て世代が受診しやすい体制を今後検討していきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策8		
総合計画上の位置付け	基本目標	2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり		
	施 策	8 学校教育の充実		
	重点施策	分野2 若者定住の促進〔施策の展開 2-8-1が該当〕		
今後の取組方針	◇ 先人から文化・伝統・歴史を受け継ぎ、未来に大きな理想と明るい希望を持って、健康で豊かな生活を目指し、箱根を愛し、貢献できる人を育む「箱根教育」をさらに深化・推進し、各園・学校が共通して「箱根教育」に取り組むとともに、各園・学校の特色を活かした教育にも取り組み、「園・小・中一貫教育（分離型）」を推進します。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	2-8-1	園・小・中学校一貫教育（分離型）の推進	学校教育課	教育次長
	2-8-2	箱根を知り、箱根を語れる子どもの育成～箱育～		
	2-8-3	確かな学力を身に付けた子どもの育成～知育～		
	2-8-4	心豊かでより良い人間関係を築ける子どもの育成～徳育～		
	2-8-5	健康で意欲的に挑戦できる子どもの育成～体育～		
	2-8-6	地域の特徴を活かした学校づくり		
	2-8-7	特別支援教育の充実		
	2-8-8	教育環境の整備		
	2-8-9	通学支援制度等の維持		
	2-8-10	学校給食費の一律無償化		
2-8-11	学習機会の提供			
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-51～	実施計画 P-42～	ロジック・モデル P-173	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
	実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		←5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→8年度(目標)	
目標指標	1 町内小・中学校児童・生徒の地域行事への参加率	75.8	コロナにより未実施	65.0	65.5 80.0	%
	2 町内小・中学校児童・生徒の読書量が1日30分以上の割合	62.6	コロナにより未実施	32.5	35.3 70.0	%
	3 それぞれの子どもが持っている自尊感情（自分が大切な存在であると感じること）の度合い	65.0	67.0	68.3	68.4 70.0	%
その他指標	1 英語検定受験料の補助人数	79	101	109	96	人
	2					
その他定性的な成果 <small>（取組みを進めたことで発現した効果などについて記載）</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各園・小・中学校の校長等で組織する「箱根一貫教育推進運営委員会」を始めとした各種プロジェクトで研究・協議しながら、園・小・中一貫教育（分離型）に取り組んだことで、各学校・園の教職員が一貫教育に対する共通理解を深めることができました。</li> <li>・令和元年度から箱根町教育振興基本計画の第3期基盤整備として、「コミュニケーション能力向上を柱とした基盤整備」に取り組み、小学校における教科担任制の実践研究や、各小学校への通信指導教室「スマイル」の開設など、学校教育の充実を図ることができました。</li> </ul>					
指標等の成果分析 <small>（指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載）</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の地域行事への参加率は、コロナ禍でほとんどの地域行事が中止となったことが影響し、目標を達成できませんでした。</li> <li>・児童生徒の読書量は、各学校で読書週間、朝読書、図書ボランティアによる読み聞かせなどに取り組んできましたが、目標値との乖離が大きい状況であり、児童生徒が読書週間を身に付けるためには、学校だけではなく、家庭の協力も必要です。</li> <li>・子どもの自尊感情は、心の教育である「箱根ハートフルプログラム」に幼児期から中学校卒業までの12年間の発達段階に応じて取り組んできたことで、目標値に近づくことができました。</li> </ul>					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	箱根教育推進事業	園・小・中一貫教育(分離型)で箱根教育を推進するための環境整備とともに、学力の向上を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	環境学習推進事業	植物の栽培や河川水質検査等を通じて、児童・生徒の環境学習の推進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	ICT活用教育推進事業	教育に必要なICT機器等を整備し、児童・生徒の学習環境の向上とともに、教職員の校務処理の効率化を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	生きた英語教育事業	国際性豊かな児童・生徒の育成とともに、英語力の向上を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	英語検定取得促進事業(教育総務費)	外国人におもてなしの心を持って接することができる人材の育成とともに、児童・生徒の英語力の向上を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
6	箱根土曜塾運営事業	高等学校入学試験の受験対策として学習支援の場を提供することにより、学習意欲の向上及び学力の定着を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
7	教育相談センター事業	不登校児童・生徒の学校復帰に向けた支援体制の充実とともに、児童・生徒一人ひとりの特性に応じたきめ細やかな支援・教育の推進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
8	子どものための図書推進事業	家庭や学校、地域等様々な場所で、日常的に読書に親しむことができる環境づくりを推進し、児童・生徒の読書習慣の定着を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
9	スクールマネジメント事業	各地域の自然・歴史・文化等を活かした特色ある学校づくりの推進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
10	学校給食無償化事業	町民の暮らし第一のまちづくりの一環として、各小・中学校の給食費を無償化し、保護者の経済的負担の軽減を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
11	小学校校舎等整備事業	校舎等施設の補修工事を行い、施設の維持管理に努め、教育環境の充実を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
12	小学校教育設備整備事業	学校運営上、必要な管理用備品や教育指導方法の多様化に対応するために必要な備品を整備し、教育環境の充実を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
13	中学校校舎等整備事業	校舎等施設の補修工事を行い、施設の維持管理に努め、教育環境の充実を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
14	幼稚園園舎等整備事業	園舎等施設の補修工事を行い、施設の維持管理に努め、教育環境の充実を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
15	高等学校等通学費補助事業	町民の暮らし第一のまちづくりの一環として、高等学校等への通学を補助し、保護者の経済的負担の軽減を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」116ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 <small>(目標達成又は進捗している)</small> B：一定の進捗がある <small>(目標達成に向け一定の進捗がある)</small> C：進捗は遅れている <small>(目標達成が遅れる可能性がある)</small> D：進捗は大幅に遅れている <small>(目標達成が難しい可能性がある)</small>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業を計画どおり実施したことにより、箱根町教育振興基本計画に掲げた内容を推進することができ、「箱根一貫教育推進運営委員会」をはじめとする各種のプロジェクトを通じて、各園・学校の教職員が共通理解のもと学校教育の充実を図ることができました。</li> <li>・目標指数の達成には至っていませんが、自尊感情や地域行事への参加率が微増していることから、子どもたちの自己肯定感や自己有用感にはコロナ禍にあっても大きく変化することなく、心豊かな人間関係の構築や意欲的に挑戦する心が育まれているものと捉えています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する <small>(効果的な事業構成である)</small> ②：一部見直し等の余地がある <small>(概ね効果的な事業構成である)</small> ③：見直し等の余地は大きい <small>(あまり効果的な事業構成ではない)</small> ④：抜本的見直し等が必要 <small>(事業構成に問題がある)</small>	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育については、箱根教育の基本方針である「先人から文化・伝統・歴史を受け継ぎ、未来に大きな理想と明るい希望を持って、健康で豊かな生活を目指し、箱根の郷土を愛し、貢献できる子どもの育成」に向けて、引き続き、箱育(地域教育)・知育(学力)・徳育(心の教育)・体育(体力づくり)を4つの柱とした園・小・中一貫教育を推進していくとともに、それぞれの園・学校が地域や団体等と連携しながら特色ある取り組みを展開し、教育活動の充実に向けて努めていきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策9		
総合計画上の位置付け	基本目標	2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり		
	施策	9 生涯学習の推進		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 箱根教育の合言葉である「箱根を愛し、かしこく、やさしく、たくましく」を具現化するため、生涯学習の目標を「箱根を知り、箱根を語れる人づくり、輪づくり」とし、生涯学習の推進を図ります。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	2-9-1	箱根教育における生涯学習の推進	生涯学習課	教育次長
	2-9-2	生涯学習機会の充実		
	2-9-3	生涯学習における情報の提供及び活動の支援		
	2-9-4	生涯学習施設の維持管理		
	2-9-5	図書サービスの向上		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-55～	実施計画 P-50～	ロジック・モデル P-175	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)		
目標指標	1	全公民館の年間利用者数	25,120	14,469	20,029	24,649 15,000	人
	2	町民一人当たりの図書貸出冊数	1.9	1.6	2.0	1.9 2	冊
	3	自治学習出張講座の利用件数	3	2	2	3 5	件
	4	生涯学習フェスティバル登録行事数 (文化系行事)	3	5	1	2 5	回
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館利用者数は、コロナ禍による前年度までの利用者の大幅な減少から回復傾向にあり、公民館定期利用団体による活動や各種イベント等も平時の状況に戻りつつあります。</li> <li>コロナ禍により2年ぶりに開講したHAKONE大学については、「箱根ジオパーク」が認定から10年を迎えた中、これまでのあゆみとこれに関連付けた「自然環境」「伝統芸能」「箱根観光」といった多岐にわたる内容を展開しました。</li> <li>図書については、前年度と比較して、移動図書館の貸出冊数が減少しましたが、社会教育センター図書室の貸出冊数は微増となりました。貸出・予約の多いジャンルや著者の本を充実させる等、利用者の要望を選書に反映しました。</li> </ul>						
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を 含めて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>公民館利用者数が、平時の状況に戻りつつある中、文化団体連絡協議会や公民館定期利用団体との連携、町民のニーズを的確に捉えた講座の運営等により、更なる利用者増に努めていきます。</li> <li>移動図書館における貸出冊数の減少は、コロナ禍により休止していた園・学校行事等が再開したことで、移動図書館の巡回日と重複することが増え、子どもたちの利用機会が減ったことが要因と考えられます。各園・学校と更に細かな調整を行い、巡回回数確保に努めていきます。</li> </ul>						

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	公民館学習・文化事業	様々な学習機会の場を提供し、生涯学習活動の実践、生活文化の向上を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	英語検定取得促進事業(社会教育費)	国際観光地として外国人観光客に対し英語で接することができるよう、英検受検の機会を提供する	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	公民館整備事業	各公民館の安全で円滑な管理・運営を図るとともに、利用者の利便性を高める	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	移動図書館運営事業	町内全域で本に親しむことのできる環境を提供し、生涯学習活動を支援する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	ブックスタート運動推進事業	絵本を介した親子のふれあいの大切さを保護者に伝え、小・中学校新入生に本に親しむ機会を提供するとともに、子どもの読書活動の推進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
6	公民館図書整備事業	利用者が必要とする図書等の資料を提供し、生涯学習活動の支援を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」118ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの町民の生涯学習活動への取り組みも再開され、公民館利用者数や自治学習出張講座の利用も回復の兆しが見られ、目標達成に向けて一定の進捗があったものと捉えています。</li> <li>町民一人当たりの図書貸出し冊数は微減となりましたが、その原因は明らかであり、対応策を講じながら、引き続き町民が求める図書等の資料の整備に努め、読書活動の推進に取り組んでいきます。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少や少子高齢化に加え、新型コロナウイルス感染症の出現は、町民の生涯学習活動の実践やその支援にも大きな影響を及ぼしましたが、感染症の落ち着きとともに徐々に様々な活動が再開されていく中、改めて高齢化やライフスタイルの変化等今日的な課題を考慮しながら、学習内容やその機会の提供方法を検討し、学びや交流から始まる「人づくり」の方策を検討していく必要があると考えています。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策10		
総合計画上の位置付け	基本目標	2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり		
	施策	10 文化・芸術活動の推進		
	重点施策	分野3 健康生活の推進〔施策の展開 2-10-1が該当〕		
今後の取組方針	◇ 地域に根ざした文化・芸術活動を育成・支援します。 ◇ 優れた芸術作品に触れることで、文化・芸術活動に関心を高められるような機会の提供に努めます。 ◇ 文化・芸術活動を通じて多世代交流ができる機会の創設などを研究します。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	2-10-1	地域に根ざした文化・芸術活動の支援	生涯学習課	教育次長
	2-10-2	文化・芸術活動の支援及び鑑賞機会の充実		
	2-10-3	文化・芸術を通じた多世代間交流の促進		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-57～	実施計画 P-54～	ロジック・モデル P-176	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	→ 2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		← 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)		
目標指標	1	町民文化祭の参加人数	527	428	471	475 550	人
	2						
	3						
	4						
その他指標	1						
	2						
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民文化祭については、文化団体連絡協議会や公民館で活動する定期利用団体のほか、一般町民や私立を含む町内小・中学校からの出展により、展示作品は充実していました。</li> <li>町民文化祭に合わせ、寄贈のあった町内在住の女流書道家の作品をギャラリーに展示し、優れた芸術作品を間近で鑑賞する機会の創設を図りました。</li> </ul>						
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を含めて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>町民文化祭については、目標値を下回ったものの、前年度の来館者数を僅かながら上回る盛況な状況であり、町民一人ひとりの日頃の活動の成果を発表し、またそれを鑑賞してもらおう場を提供することで、町民の文化・芸術に対する意識の高揚と生涯学習の振興に寄与することができました。</li> <li>定期利用団体は、会員の高齢化等により、団体数が減少傾向にあることから、団体の存続や会員数の確保を図るためのプチ講座や体験教室の開催等を行い、持続可能な公民館利用の促進に引続き努めていきます。</li> </ul>						



### 3 施策を構成する実施計画事業の評価

番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	生涯学習フェスティバル開催事業	生涯学習に対する関心を高め、意識の高揚を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」120ページのとおり。

### 4 施策の進捗状況

区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民文化祭の開催は、コロナ禍で停滞気味であった文化・芸術活動を再開する契機となり、目標指標としている参加者数の達成に向けて順調に推移しているものと捉えています。</li> <li>・10月・11月を「生涯学習推進月間」と定めており、感染対策を講じながら集中的に文化・芸術・スポーツに関連した各種の事業を開催したことで、町民の生涯学習に対する意識の高揚を図ることができたと考えています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

### 5 今後の方向性

区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き町民の文化・芸術活動を支援するとともに、日ごろの活動の成果を発表する機会の充実に努め、鑑賞・参加する機会を通じて生涯学習活動に取り組む意識が醸成されるよう努めていきます。</li> <li>・町民文化祭への出品は、公民館を定期的に利用している団体の方々の作品が大半を占めていますが、団体会員の高齢化に伴い出品点数が少なくなっています。今回のように、町内の女流書道家の作品を町民文化祭の開催にあわせて展示するなど、新たな取り組みも検討していきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策11		
総合計画上の位置付け	基本目標	2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり		
	施策	11 家庭教育の充実		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 子どもの成長期に大きな影響を及ぼす「家庭教育」について、新しい生活様式に即し啓発の実施や研修機会を提供します。 ◇ 新しい生活様式に即した関係団体等との連携、親子でのふれあいの機会の提供など、家庭教育の充実を図ります。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	2-11-1	箱根教育における家庭教育の推進	生涯学習課	教育次長
	2-11-2	講演会・研修会の実施		
	2-11-3	関連機関・協力団体との連携		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-59～	実施計画 P-56～	ロジック・モデル P-177	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
	実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		← 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)	
目標指標	1 家庭教育講座参加者数	77	0	0	57	人
					80	
	2 幼保小中学校での家庭教育に関する取組数	34	0	0	0	件
					12	
3 広報等での家庭教育啓発記事数	6	6	6	6	件	
				6		
4						
その他指標	1					
	2					
その他定性的な成果 (取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)	・家庭教育講座では寄木細工体験や陶芸教室といった、親子で参加できるイベントにより保護者へ学びの場を提供し、家庭教育力の向上を図りました。 ・啓発記事については、前年と同様、「広報はこね」に家庭教育に関するコラムを掲載することで、その取組みを啓発することができました。					
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)	・新型コロナウイルス感染症の影響により参加者数が目標値から遠のいてしまいました。が、家庭教育講座を3年ぶりに開催することができ、一定の効果は得られたと考えます。今後は、家庭での困りごとや子どもたちを取り巻く社会環境、児童・生徒に身に付けさせたいことなど、身近な問題解決につながる内容で講座を行い、引き続き家庭教育の充実を図っていきます。					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	家庭教育推進事業	箱根教育における家庭教育の推進に向け、関係機関と連携を取りながら家庭教育力の向上を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」120ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症を考慮し規模を制限せざるを得ませんでした。保護者が参加する小・中学校の行事にあわせて親子でふれあいながら取り組む内容で実施したことにより、指標の達成に向けて一定の進捗があったものと捉えています。</li> <li>・「広報はこね」に家庭教育に関するコラムを掲載することが定例化したため、新たな広報媒体への拡充を目指していくことを検討しています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育講座は、子どもに身に付けさせたいことなど家庭における子育てに関する悩みや困りごと等をテーマとして取り上げ、保護者が相互に共有しながら解決策を考えるなど、本来の目的である家庭の教育力の向上を目指した内容で実施できるよう、引き続き各小・中学校PTAと連携しながら実施していきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策12		
総合計画上の位置付け	基本目標	2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり		
	施策	12 青少年の健全育成		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 町の未来を拓く人材である青少年の健全な育成に取り組むとともに、全町的な環境づくりを推進します。 ◇ 地域を担う人材の育成を図るため、全町的な多世代交流の機会提供に努めます。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	2-12-1	青少年の健全育成事業の推進	生涯学習課	教育次長
	2-12-2	青少年の意欲と協調性の育成		
	2-12-3	健全育成の環境づくり		
	2-12-4	人材の育成		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-61～	実施計画 P-58～	ロジック・モデル P-178	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	→ 2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		↔ 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)		
目標指標	1	青少年関係事業への児童・生徒の参加率	20.0	0.0	0.0	23.3 20.0	%
	2						
	3						
	4						
その他指標	1						
	2						
その他定性的な成果 (取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)	・withコロナにおける多世代間のふれあいや交流の促進に加え、地域防災力の向上という2点の目的達成に向けて青少年指導員と協議を重ね、小中学校を対象とした「防災活動体験会」を実施し、青少年の健全育成に寄与することができました。						
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)	・新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント等が開催できず目標値から遠のいてしまいましたが、関係団体と今後の対応等について協議していますので、引き続き関係団体と協働し青少年の健全育成を図っていきます。						

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1					

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 <small>(目標達成又は進捗している)</small> B：一定の進捗がある <small>(目標達成に向け一定の進捗がある)</small> C：進捗は遅れている <small>(目標達成が遅れる可能性がある)</small> D：進捗は大幅に遅れている <small>(目標達成が難しい可能性がある)</small>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にあっても感染症対策を講じながら、子ども会指導者や青少年指導員が各種の事業等を実施し、目標としている指標を上回る数値となりました。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する <small>(効果的な事業構成である)</small> ②：一部見直し等の余地がある <small>(概ね効果的な事業構成である)</small> ③：見直し等の余地は大きい <small>(あまり効果的な事業構成ではない)</small> ④：抜本の見直し等が必要 <small>(事業構成に問題がある)</small>	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少や少子化の影響により一部の子ども会が活動を休止してしまいましたが、指導者の中から地域横断的に交流機会を設定しようとする動きが見られていますので、引き続き指導者への支援を行っていきます。</li> <li>・青少年の健全育成の推進にあたっては、青少年指導員をはじめとする地域の各種団体との連携・調整が不可欠ですので、今後も良好な関係構築に努めます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策13		
総合計画上の位置付け	基本目標	2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり		
	施 策	13 文化財の保護と活用		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 箱根の歴史・文化遺産や貴重な天然記念物を未来に伝えていくため、現況を的確に把握し、適切な保護対策を実施してその継承を図ります。特に箱根旧街道や箱根関所については、計画的に維持管理や整備、改修等を実施します。</li> <li>◇ 町内の文化遺産や自然遺産についての理解を深め、文化財保護意識の醸成を図るため、インターネットや郷土資料館・箱根関所資料館の展示、印刷物等を活用した情報発信や、探訪会や体験学習などの文化財を活用したイベントの開催を積極的に進めるとともに、文化財ボランティアの育成を図ります。</li> <li>◇ 箱根の歴史や文化を学ぶことができる学習施設の機能充実などの環境整備を図ります。</li> </ul>			
施策の展開	施 策 の 展 開		施策担当課	施策責任者
	2-13-1	文化・自然遺産の保護・継承と活用	生涯学習課	教育次長
	2-13-2	文化財ボランティアの育成		
	2-13-3	箱根の歴史や文化を学ぶ学習施設の機能充実と整備		
	2-13-4	日本遺産の保全・整備		
各計画の掲載箇所		後期基本計画 P-63～	実施計画 P-59～	ロジック・モデル P-179

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	8年度(目標)	単位
				5年度(実績)		
目 標 指 標	1 箱根関所入館者数	280,017	116,900	127,024	198,174 400,000	人
	2 郷土資料館入館者数	6,992	3,193	4,359	4,276 10,000	人
	3 文化財ボランティア数 (延活動人数)	54	0	0	8 100	人
	4 郷土資料館所蔵資料の利用点数	48	27	50	139 100	点
	5 箱根関所学校利用プログラム利用件数	96	43	51	67 150	件
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館では、箱根の歴史や文化への理解を深めてもらうため、展示や各種学習事業を実施しました。また、教育普及活動として、夏季企画展「浮世絵と絵図からみる箱根七湯」や秋季企画展「国重要無形民俗文化財指定記念：箱根の湯立獅子舞」を開催したほか、体験学習として、町内小学校や町民等を対象とした「わらじ作りと箱根旧街道石畳の歩行」や「お正月飾り作り」などを実施しました。</li> <li>・関所では、誘客宣伝として首都圏等の小学校に対して関所利用促進資料「関所deできますプログラム」を送付しました。また、関所の魅力を知ってもらうため、ホームページやX(旧Twitter)などのSNSの活用や町内宿泊事業者等にパンフレットを配布して誘客に努めました。その他にガイドツアーや時代演目など各種イベントを展開して、関所の歴史や魅力をより深く学んでもらう事業を実施しました。</li> </ul>					
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を 含めて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館では、新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少や行事の中止などが要因となり、目標値から遠のいてしまいましたが、今後も常設展や企画展、探訪会等を実施し、郷土の歴史や文化、自然についての知識を深め、郷土史を学ぶ機会を提供するよう努めていきます。</li> <li>・関所では、新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少が要因となり、目標値から遠のいてしまいましたが、今後も継続して誘客宣伝を行うとともに、各種イベントを開催するなどして、関所の魅力を発信するよう努めていきます。</li> </ul>					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	郷土資料館展示開催等教育普及事業	展示活動や学習事業を通して、箱根の歴史や文化についての理解を深めてもらう	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	史跡整備事業	箱根町共有の財産である文化財を適切に保護・保存すると共に活用を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	箱根旧街道杉並木保護対策事業	杉並木をはじめとする史跡箱根旧街道を適切に保護・保存して後世に伝えるとともに、活用を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	近代化遺産調査・活用事業	町内に遺る近代化遺産の保護や活用を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
5	文化遺産情報発信事業	郷土資料館資料や町内文化財の情報を発信し、生涯学習の推進と箱根への誘客を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
6	箱根探訪推進事業	箱根の歴史や文化、自然についての理解を深めてもらう	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
7	郷土資料館整備事業	郷土資料館の安全で円滑な管理・運営を図るとともに、利用者の利便性を高める	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
8	箱根関所整備事業	箱根関所及び資料館の適正な維持管理を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
9	箱根関所歴史文化推進事業	箱根関所とその周辺史跡等の文化・歴史を広く紹介し、魅力を認識してもらう	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
10	箱根関所誘客宣伝事業	復元した箱根関所を周知するための事業を展開し、誘客宣伝や地域全体の回遊性の向上を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」121ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱根関所の入館者数は新型コロナウイルス感染症の状況に大きく影響を受けましたが、社会経済が平常を取り戻しつつある中、各種の取り組みを展開するなどし、増加に転じました。</li> <li>杉並木をはじめとする箱根旧街道や各種の文化財等の適切な保護・保存については、概ね計画どおり実施し一定の進捗が見られたものと捉えています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土資料館・箱根関所は、引き続き箱根の歴史や文化等を伝える展示や学習事業、誘客活動や各種イベントを実施して、情報提供をはじめ、歴史や文化等への理解がより一層深められるよう努めていきます。</li> <li>文化財等の保護と同時に観光振興の資源としての活用が求められています。保護や教育普及におけるボランティアの育成とともに、活用の視点に立った検討や整備を行っていく必要があります。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策14		
総合計画上の位置付け	基本目標	2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり		
	施策	14 スポーツ活動の推進		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 町民がスポーツやレクリエーション活動に親しみ、生涯を通じて心身ともに健康に暮らすことができるようにします。 ◇ スポーツイベントを通じ、全町的な多世代交流の促進に努めます。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	2-14-1	地域スポーツ活動の推進	生涯学習課	教育次長
	2-14-2	ニュースポーツの普及及び運動をとおした健康づくりの推進		
	2-14-3	スポーツ施設の機能と運営の充実		
	2-14-4	スポーツ・レクリエーション推進体制の充実及びイベントの開催		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-65～	実施計画 P-64～	ロジック・モデル P-181	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	→ 2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		← 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)		
目標指標	1	箱根路森林浴ウォーク町民参加者数	63	0	0	24 150	人
	2	箱根町総合体育館の稼働率	40.5	37.1	26.3	34.0 50.0	%
	3	スポーツ教室・大会等開催回数	3	0	0	1 5	回
	4						
その他指標	1						
	2						
<b>その他</b> 定性的な成果 (取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)		・ニュースポーツ大会の開催により、総合体育館の稼働率向上の一助となったほか、町民のスポーツ習慣向上、参加者同士の交流、心身の健全な発達に寄与しました。					
<b>指標等の成果分析</b> (指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)		・森林浴ウォークはコンディション悪化のため中止、グラウンドゴルフ大会は雨天のため中止、ソフトバレーボール大会は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、各種イベントが開催できなかったため、目標値から遠のいてしまいました。					



3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	総合体育館整備事業	安定した運営を行うため機械設備等の整備を実施し、施設の維持を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	地域スポーツ施設等整備事業	施設利用者が安心して利用できるよう、施設の維持を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	箱根町文化・スポーツ財団運営補助事業	財団の充実を図り、住民の自発的な文化・スポーツ活動を推進する	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	生涯スポーツ推進事業	健康の維持と体力の促進並びに自主活動の促進を図る	計画通り実施できなかった	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」123ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にあっても感染症対策を講じながら各種のスポーツ事業を計画しましたが、天候や感染状況により中止とした事業がありました。事業の中止はやむを得ない事情であると捉えています。目標とする指標の達成に向けて一定の進捗は見られました。</li> <li>・総合体育館の稼働率は新型コロナウイルス感染症の感染状況に大きく影響を受けますが、指定管理者の努力もあり一定の進捗があったものと捉えています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合体育館をはじめとするスポーツ施設は計画的な整備に取り組んでいるところですが、各施設とも経年による劣化・老朽化が著しいため、財政に係る負担を考慮しながら、町民が安心・安全に活用できる施設の維持に努めていく必要があります。</li> <li>・引き続き新型コロナウイルス感染症の感染状況に配慮しつつ、町民の健康維持と体力増進を効果的に推進するため、生涯にわたってスポーツ活動に取り組む意識の醸成、方策の検討が課題であると考えています。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策15		
総合計画上の位置付け	基本目標	2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり		
	施策	15 男女共同参画・人権尊重の推進		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<p>◇ 「はこね男女共同参画推進プラン（第2次）」に基づく総合的な施策の推進と町民一人ひとりが男女共同参画に関する正しい知識を深め、男女がともに自分らしい選択ができるような意識や環境づくりを進めます。</p> <p>◇ 審議会等における女性の割合増加に取り組めます。</p> <p>◇ いかなる暴力も重大な人権侵害であることを発信するなど人権尊重の意識づくりに取り組めます。</p>			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	2-15-1	男女共同参画の推進	町民課 福祉課	総務部長
	2-15-2	女性の自立支援と活躍推進		
	2-15-3	男女がともに安心して暮らせる環境づくり		
	2-15-4	人権意識啓発		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-67～	実施計画 P-67～	ロジック・モデル P-182	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
	実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		←5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→8年度(目標)	
目標指標	1 男女共同参画講演会参加者数	-	-	-	100	人
					80	
	2 審議会等における女性委員の割合	20.5	22.9	20.5	23.9	%
					30.0	
3						
4						
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	<p>・審議会等の女性比率については、年2回開催する市内男女共同参画推進リーダー会議にて、各課に積極的な取組みを呼びかけています。その結果、改選時に女性比率を考慮して推薦先に依頼するなど、男女比を意識する課が増え、比率は徐々に向上しています。</p> <p>・講演会とミニコンサートを合わせて実施することで、普段講演会に出向かない層を取り込むとともに、参加者満足度が高い結果となりました。</p> <p>・少しでも多くの方々に施策の理解を深めてもらえるように、チラシの配架や広報誌への掲載など周知に努めました。</p> <p>・一人ひとりの町民が互いに人権を尊重し、多様性を認め合い、誰もがその人らしく暮らすことのできる地域社会の実現を図るため、「パートナーシップ宣誓制度」を創設しました。</p>					
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を 含めて記載)	<p>・審議会等の推薦を依頼する団体自体に女性が少ない等の理由から、目標値には到達していないため、引き続き各課への意識付けやあらゆる分野における男女共同参画の啓発が必要です。</p> <p>・講演会の周知については広報・まちだよりや町のホームページをはじめ、町内関連団体から会員への通知、町内の各園、学校を通じた全保護者への配布などあらゆる策を講じています。しかし、依然として集客に苦慮しています。テーマに興味がない層を取り込むために、町民や町内事業所が出席する他のイベントと共同開催する等、動機づけが必要です。</p>					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	男女共同参画推進事業	町を愛するすべての男女が互いに認め合い、豊かで活力ある男女共同参画社会を箱根町において実現する	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	人権意識啓発事業	人権意識の向上及び知識の普及により差別のない町の実現を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」124ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画講演会については、講演者に合わせて、講演会とコンサートとして開催するなどの工夫をした結果、目標値を超える参加があった。講演内容も現代の生活スタイルに沿ったものであり、効果が期待できるイベントとなった。</li> <li>・4年度においては女性活躍セミナーを開催するなど、新たな取り組みにも着手した。</li> <li>・パートナーシップ宣誓制度を創設したことなどにより、施策の進捗については、一定の進捗が図られている。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会等における女性委員の割合を増やすことについては、選考時における配慮を引き続き促し、目標の達成を目指します。</li> <li>・講演会やセミナーの開催にあたっては、集客に苦慮していることから、開催方法や周知について、更なる工夫をし、男女共同参画や人権尊重の意識醸成を図ります。</li> <li>・令和5年度で第2期男女共同参画推進プランの計画期間が終了するため、現行プランの取組状況を総括したうえで、男女共同参画の現状を踏まえた、新プランを策定する。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策16		
総合計画上の位置付け	基本目標	2 未来を拓く人材が育ち、町民相互に高めあうまちづくり		
	施策	16 多文化交流の実現		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 多様な文化に触れることのできる機会を提供します。 ◇ 地域に住む人々の心に残る価値を創造し、皆がいきいきと暮らせる社会の実現を目指します。 ◇ 姉妹都市・友好都市等との交流を積極的に実施し、異文化体験をとおして双方の友好関係の向上を目指します。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	2-16-1	国際的な文化交流・ホストタウン構想の推進	企画課 観光課 学校教育課	企画観光部長
	2-16-2	国際交流の促進		
	2-16-3	姉妹都市・友好都市との交流		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-70～	実施計画 P-69～	ロジック・モデル P-183	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
	実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	→ 2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		← 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)	
目標指標	1 ホストタウン相手国との交流回数	1	0	2	1	回
	2 姉妹都市・友好都市との訪問団 派遣・受入回数	0	0	0	0	回
	3					
	4					
その他指標	1					
	2					
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナのため海外の姉妹都市・友好都市との交流は実施できなかった。</li> <li>・姉妹都市である洞爺湖町との中学生相互交流は、コロナ禍のため訪問ではなく、オンラインにより友好親善を図った。</li> <li>・箱根幼稚園にホストタウン相手国のエリトリア留学生6名を招待し、園児・保護者と交流を図った。</li> </ul>					
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を含めて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナのため海外の姉妹都市・友好都市との交流は実施できなかった。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症がまん延していたため、生徒や引率教諭の安全を確保するため姉妹都市の訪問をお互い控えた。</li> <li>・ホストタウン相手国の留学生との交流を通じて、多文化交流の機運を醸成することができた。</li> </ul>					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	ホストタウン交流事業	お互いの国への理解を深め、地域の活性化や交流の促進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	姉妹都市親善交流事業(教育費)	姉妹都市洞爺湖町との中学生相互交流により、両町の地域特性や特色ある学校教育を学び、友好親善を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
3	姉妹都市親善交流事業(観光費)	姉妹都市である洞爺湖町との交流を図る	計画通り実施できなかった	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」124ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 <small>(目標達成又は進捗している)</small> B：一定の進捗がある <small>(目標達成に向け一定の進捗がある)</small> C：進捗は遅れている <small>(目標達成が遅れる可能性がある)</small> D：進捗は大幅に遅れている <small>(目標達成が難しい可能性がある)</small>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍のため海外の姉妹都市・友好都市との訪問団派遣等直接の交流は図れませんでした。</li> <li>・一方、国内の姉妹都市：洞爺湖町との交流に関しては、オンラインによる中学生交流や、受注販売による洞爺湖町物産販売を実施しました。</li> <li>・またホストタウン交流についても、相手国の在日留学生を箱根幼稚園に招いて、園児や保護者との交流会を行いました。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する <small>(効果的な事業構成である)</small> ②：一部見直し等の余地がある <small>(概ね効果的な事業構成である)</small> ③：見直し等の余地は大きい <small>(あまり効果的な事業構成ではない)</small> ④：抜本的見直し等が必要 <small>(事業構成に問題がある)</small>	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍など世界的社会情勢も大きく影響し、疎遠になりつつある海外の姉妹都市・友好都市との交流を途絶えさせないよう、学生交換(ホームステイ)や訪問団の相互派遣等を早期に再開できるよう連絡を欠かさず取り合っていきます。</li> <li>・国内の姉妹都市等との多様な連携をさらに拡充し、多世代にわたる絆を一層深めていきます。</li> <li>・オリパラ事前キャンプに基づくホストタウンについては、オリンピックやパラリンピアンとの交流にこだわらず、幅広い相手・手段を模索し交流を継続させていく必要があります。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策17		
総合計画上の位置付け	基本目標	3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり		
	施策	17 道路・交通網の充実		
	重点施策	分野1 防災力の強化〔施策の展開 3-17-3が該当〕		
今後の取組方針	<p>◇ 国道・県道の整備促進に向け、引き続き関係機関との調整及び要望を継続し、神奈川県と協力しながら事業の円滑な進捗を目指します。</p> <p>◇ 将来の交通需要を踏まえた道路計画を検討し、道路、橋りょう及び駐車場の長寿命化を見据えた維持・管理を行うとともに、安全・快適な道路空間の形成に取り組めます。</p>			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	3-17-1	国道・県道の整備、充実	都市整備課  観光課	環境整備部長
	3-17-2	林道の通行規制緩和の要望		
	3-17-3	適切な道路の維持管理		
	3-17-4	道路後退用地の整備		
	3-17-5	橋りょうの長寿命化		
	3-17-6	駐車場の整備		
	3-17-7	安全・安心で快適な道路空間の形成		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-73～	実施計画 P-73～		

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		←5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→8年度(目標)		
目標指標	1	町道16路線の整備エリアの整備率	3,106	3,380	3,764	4,448	m
			48.5	52.8	58.8	69.5	(%)
	2	橋りょう保全改修率	5	6	6	6	橋
			55.6	66.7	66.7	66.7	(%)
その他指標	1						
その他	2						
その他の定性的な成果 (取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町道整備を推進したことにより、通行者の安心・安全が確保されました。</li> <li>・道路パトロールを定期的実施することにより、状況把握や簡易補修を迅速に実施することが可能となりました。</li> <li>・建物の建築に伴う道路後退について道路用地を取得し、住み良いまちづくりの推進に努めました。</li> <li>・橋りょう点検を計画的に実施し、その点検結果を基に橋りょう長寿命化計画を策定し、計画的な長寿命化を図りました。</li> <li>・宮ノ下駐車場の老朽度診断を実施し、長寿命化に向けた準備を進めました。</li> </ul>						
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・道路施設の整備を計画的に推進するにあたっては、特定財源を予定通り確保する必要があるため、予定通りの交付を受けることができるように関係機関等との調整を図って行きます。</li> </ul>						

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	町道湯71号線道路整備事業	安全・安心な道路環境を確保する	計画通り実施できなかった	あり	計画通り実施(予定)
2	町道温37号線道路整備事業	安全・安心な道路環境を確保する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
3	町道宮185号線道路整備事業	安全・安心な道路環境を確保する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
4	町道仙3号線道路整備事業	安全・安心な道路環境を確保する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
5	町道仙96号線道路整備事業	安全・安心な道路環境を確保に加え、サイクリングコースとしての機能を向上させることで観光振興に寄与する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
6	町道箱1号線道路整備事業	安全・安心な道路環境を確保する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
7	町道箱12号線道路整備事業	安全・安心な道路環境を確保する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
8	町道湯2号線道路改良整備事業	安全・安心な道路環境を確保する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
9	町道箱1号線道路改良整備事業	安全・安心な道路環境を確保する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
10	橋りょう長寿命化改修事業	町内の橋りょうと道路網の安全性を確保する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
11	仙石原町有道路整備事業	安全・安心な道路環境を確保する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
12	林道整備事業	利用者の安全を確保するとともに利便性の向上を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
13	道路後退用地整備事業	対象となる道路を幅員4m以上に拡幅及び整備することにより、生活環境の向上を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
14	道路施設保守点検事業	道路利用者に安心・安全な道路空間を提供する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
15	町道路面性状調査事業	町道の補修箇所を抽出する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
16	宮ノ下駐車場整備事業	駐車場利用者が安心して利用できる駐車場にする	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」125ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 <small>(目標達成又は進捗している)</small> B：一定の進捗がある <small>(目標達成に向け一定の進捗がある)</small> C：進捗は遅れている <small>(目標達成が遅れる可能性がある)</small> D：進捗は大幅に遅れている <small>(目標達成が難しい可能性がある)</small>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標としている「町道16路線の整備エリア率」は、予定していた特定財源の減額等により事業の一部計画変更が生じたものの、順調に推移しています。</li> <li>・関連施策については、指標に掲げる町道整備・橋りょう保全を始め、道路後退による道路用地取得等鋭意とりくまれています。また、宮ノ下駐車場については、老朽度診断を行い、長寿命化に向け準備を進めています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する <small>(効果的な事業構成である)</small> ②：一部見直し等の余地がある <small>(概ね効果的な事業構成である)</small> ③：見直し等の余地は大きい <small>(あまり効果的な事業構成ではない)</small> ④：抜本的見直し等が必要 <small>(事業構成に問題がある)</small>	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2つの目標指標については、目標達成に向けて今後とも計画的に取り組みます。</li> <li>・国、県道の整備充実等については、積極的に県等との調整の機会を設けます。(特に沿道の草木の伐採や交差点等の歩道整備、交通渋滞対策等)</li> <li>・町道や橋りょうの維持管理については、路線の重要度、老朽度、地域性等を踏まえ、補修・整備計画に沿って計画的に推進するとともに、整備に係る特定財源確保のため、関係機関と調整を図ります。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。





## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策18		
総合計画上の位置付け	基本目標	3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり		
	施 策	18 住環境の整備		
	重点施策	分野2 若者定住の促進〔施策の展開 3-18-1が該当〕 分野4 ブランド力の強化〔施策の展開 3-18-3が該当〕		
今後の取組方針	◇ 空き家等の情報を的確に収集し、所有者に対して空き家バンクへの登録を促し、利活用の促進を図ります。 ◇ 住環境の整備をすすめ、人口減少の抑制に向けて移住・定住を促進します。 ◇ 地籍調査事業を進めます。			
施策の展開	施 策 の 展 開		施策担当課	施策責任者
	3-18-1	空き家バンク制度の促進		企画観光部長
	3-18-2	企業・事業者への相談・支援	企 画 課	
	3-18-3	お試し居住制度の充実	観 光 課	
	3-18-4	空き家等の適切な管理の促進	町 民 課	
	3-18-5	町営住宅の適切な維持管理	福 祉 課	
	3-18-6	安心して利用できる公園の整備	都 市 整 備 課	
	3-18-7	観光街路灯維持管理における補助		
	3-18-8	土地の有効活用の促進		
	3-18-9	河川・水路の環境整備		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-75～	実施計画 P-81～	ロジック・モデル P-186	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)		
目標指標	1	空き家バンク登録件数（累計）	54	58	61	73	件
	2	お試し居住・体験者からの移住件数（累計）	3	4	5	5	件
その他指標	1						
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度から開始した空き家バンク制度は、空き家の登録件数が減っていたほか、専門的な相談の対応に苦慮していたことから、町内民間団体に空き家バンクを委託し、官民連携で事業を行いました。新制度となった空き家バンク制度の周知を図った結果、空き家所有者からこれまでにない相談があったほか、民間団体のきめ細かい対応により、空き家バンクの登録件数を増やすことができました。</li> <li>・お試し居住については、SNSなどによる情報発信により、コロナ以降、募集に対して最大10倍の応募となるなど、箱根町への移住の関心を高めることでできました。</li> <li>・道路照明灯92灯をLED灯具への交換したことにより、平成29年度と比較して電気料金が年間で約47%減少しました。</li> <li>・平成30年度に地籍調査事業を開始し、湯本地域で官民境界の確認を進めています。</li> <li>・公園施設の維持補修及び施設内の充実させることで、利用者の利便性の向上を図りました。</li> <li>・都市計画基礎調査を実施することで、土地利用や建物の用途、状況等を調査することで、都市の現況及び都市化の動向等を把握しました。</li> <li>・観光街路灯整備補助事業では、電気代高騰により令和4年度に限り、電気料の差額補助金を支出したもの（R4年度に自治会が負担した電気代とR3年度に負担した電気代の差額補助実施）。</li> </ul>						
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を含めて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お試し居住に関しては、体験した参加者の多くが箱根移住を検討したいという意向があるものの、提供できる空き家が少なく、移住につなげられていないのが課題となっているため、空き家の掘り起こしがさらに必要となっています。</li> <li>・空き家バンク登録については、相談がある空き家は放置している期間が長く、大規模な改修が必要なものが多いため、登録に時間を要しています。</li> <li>・観光街路灯整備補助事業の「箱根町観光街路灯補助金交付要綱」内の補助限度額について、物価高騰により、時代に即した補助額の設定ができるように要綱改正等を行っていくもの。</li> </ul>						

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	住みたいまち箱根推進事業	移住・定住の促進を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
2	町営住宅整備事業	維持補修等を行い、居住環境と住宅管理の向上を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	公園整備事業	公園利用者が安心して利用できる公園にする	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	観光街路灯整備補助金交付事業	地域住民や観光客の夜間時の安全・安心を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画変更し実施(予定)
5	LED街灯整備事業(観光費)	LED街路灯へ切り替えることにより環境対策並びに維持管理費の削減を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
6	LED街灯整備事業(総務費)	灯具のLED化と老朽化した支柱等の修繕に加え、町内照明灯管理の一本化を目指す	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
7	LED街灯整備事業(土木費)	道路照明灯を消費電力が少なく、二酸化炭素の排出削減効果のあるLED照明灯に取替えることで、経費削減や環境保護の推進を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
8	地籍調査事業	町民等の土地の保全と行政運営の円滑化を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
9	都市計画基礎調査事業	都市計画法第6条に基づき都市政策の企画、立案等のための調査を行う	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」127ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空き家バンクの運営を民間に委託し官民連携で事業を進めたことにより、目標指標である「登録の累計件数」を大きく伸ばせました。</li> <li>・また、トライアルステイ及びトライアルオフィスの情報発信に努め、いずれも多くの利用を促すことができ、移住及びサテライトオフィス設置の意欲向上につながられました。</li> <li>・公園施設の建物修繕や遊具の更新等とともに、公園遊具等の再配置に向けて地域との協議を行うなど、利用者の利便性の向上を図りました。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「空き家等対策の推進に関する特別措置法」の一部改正、施行を見据え、これまで以上に民間・地域・行政が連携協働して空き家等の各種対策に取り組む必要があります。</li> <li>・空き家対策の一つである空き家の掘り起こし等に努め、移住につなげ促進を図っていきます。</li> <li>・道路照明灯を含め街路灯のLED化が終了し、着実に消費電力及び二酸化炭素排出量の削減が図られています。今後も観光街路灯を官民が連携して維持・整備していけるよう、現況に即した補助対象経費・限度額等に見直ししていく必要があります。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策19		
総合計画上の位置付け	基本目標	3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり		
	施策	19 生活環境の整備		
	重点施策	分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 3-19-1が該当〕		
今後の取組方針	◇ 美しいまちを将来の世代へ引き継ぐための取組みを引き続き進めます。 ◇ 動物の保護管理の徹底、有害野生鳥獣対策を引き続き進めます。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	3-19-1	環境保全の推進	環境課 上下水道温泉課	環境整備部長
	3-19-2	浄化槽対策		
	3-19-3	環境美化の促進及び美観の保護		
	3-19-4	動物の保護管理の徹底		
	3-19-5	有害野生鳥獣の対策		
3-19-5	有害野生鳥獣の対策			
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-78～	実施計画 P-86～	ロジック・モデル P-187	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)		
目標指標	1	花いっぱい運動参加団体数	23	23	26	28	団体
	2	美化清掃参加団体数	30	29	32	28	団体
	3	不法投棄パトロール回数	25	23	31	33	回
	4	有害野生鳥獣（猪）捕獲数 （3か年平均）	73	71	73	59	頭
その他指標	1						
	2						
その他 定性的な成果 <small>（取組みを進めたこと で発現した効果など について記載）</small>	・花いっぱい運動については、毎年4回花いっぱい参加団体に花苗を配付し、主要道路沿線を中心に季節ごとの花を植えることで、1年をとおして町内の環境美化を図ることができました。 ・不法投棄パトロールや自治会等による美化清掃を継続的に実施したことで、町内がゴミの少ない状況を保持し、より良い生活環境をつくることができました。						
指標等の 成果分析 <small>（指標の目標値達成 を阻む外的要因等を 含めて記載）</small>	・花いっぱい運動参加団体数、不法投棄パトロール回数は、目標数を達成できています。 ・有害野生鳥獣（猪）捕獲数は、野生イノシシへの豚熱の感染が想定され、令和4年度の通報数及び捕獲数が減少したことから、目標を達成できていません。 ・不法投棄パトロール回数について、夏季は植物が繁茂しており、不法投棄の発見及びパトロール活動に支障をきたしている。						

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	散乱ごみ・不法投棄対策事業	自然環境の保全と環境美化の推進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	花いっぱい事業	居住環境と観光地としての美観を確保するとともに、緑化意識の高揚を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
3	合併処理浄化槽設置整備費補助事業	生活排水による公共用水域の水質の汚濁防止を推進する	計画通り実施できなかった	あり	計画通り実施(予定)
4	有害鳥獣対策事業	有害鳥獣による生活被害及び農作物等被害の防止を推進する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	スズメバチ対策事業	スズメバチの巣を駆除する際の町民負担を軽減し、町民の安全確保を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」129ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している)  B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)  C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)  D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標のうち「美化清掃参加団体数」及び「不法投棄パトロール数」は増加しています。</li> <li>・「有害野生鳥獣(猪)捕獲数」は豚熱の感染が想定され、減少しています。</li> <li>・環境美化の促進、美観保護は、散乱ごみ、不法投棄物の撤去・回収を積極的に行うとともに、不法投棄防止のための監視カメラ及び看板を継続して発生している箇所に設置し、より良い生活環境を作ることができました。</li> <li>・有害野生鳥獣対策は、関係機関、団体等との協力体制のもと積極的に行いました。</li> <li>・スズメバチ駆除に係る補助金を交付しました。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である)  ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)  ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)  ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境美化の促進、美観保護、有害野生鳥獣は、関連団体・機関と連携し、目標達成に向け取り組みます。</li> <li>・省エネルギー、地球温暖化防止は、住民、事業者積極的に情報発信し、協働した取組みを推進するとともに、庁内横断的に取り組みます。</li> <li>・浄化槽対策は、公共下水道区域外の合併浄化槽の普及に努めるとともに、浄化槽の適正管理を行います。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策20		
総合計画上の位置付け	基本目標	3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり		
	施策	20 上下水道の整備		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<p>◇ 上水道については、恒常的な安定供給と事業の健全化を目指し、箱根町水道ビジョンや箱根町水道アセットマネジメント計画によって検証した内容を踏まえて、施設・設備の維持更新を計画的に進めます。</p> <p>◇ 下水道については、事業の推進を継続していくとともに、安定経営のため施設の適正な維持管理を行いながら、箱根町下水道ストックマネジメント計画※に基づく計画的な更新を進めます。</p>			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	3-20-1	安全・安心・安定的な水道水の供給	上下水道温泉課	環境整備部長
	3-20-2	未給水地区への対応		
	3-20-3	上水道事業の健全化		
	3-20-4	水資源の保全		
	3-20-5	下水道の整備		
	3-20-6	下水道使用料の適正化		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-80～	実施計画 P-89～	ロジック・モデル P-188	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
	実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		←5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→8年度(目標)	
目標指標	1 水道事業における有収水量率	84.9	84.1	83.9	84.1	%
					85.9	
	2 第1号公共下水道整備率	89.8	90.4	90.5	90.5	%
				98.6		
その他指標	3 第2号公共下水道整備率	78.7	78.9	78.9	78.9	%
					88.6	
	1					
2						
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	<p>・(水道)コロナウイルスの蔓延により観光客数が大幅な減少となった。それにより水道施設からの総配水量も減となったが、従来の老朽化した配管からの漏水は現状のままであったので見かけ上の有収水量率は低下することとなった。令和4年度以降は回復傾向にある。</p> <p>・(下水道)未普及地区の管路施設整備工事、老朽化したポンプ場設備の改築更新工事を行いました。また、次期ストックマネジメント計画の検討に着手しました。</p>					
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を 含めて記載)	<p>・(水道)水道の改良工事としては、コロナ禍において純損失となる経営上、事業を抑制する状況となったが、精査し計上した工事箇所においても、より投資対効果を考慮し、年度途中においてもより喫緊で対応を要する工事箇所への転用を行うなど、経営努力を推進した。このような感覚での対応が数値の維持、底上げに繋がっていると考え。</p> <p>・(下水道)建設から40年近くが経過し、設備の老朽化が進行しており、今後は改築更新にかかる費用が増大することが明らかになっている。また、整備改築工事の主な財源である国交付金が、昨今、低率となっており、財政的に厳しくなっている。</p>					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	一般建設改良事業(水道事業会計)	水道水の安定した供給を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	送配水管整備事業(水道事業会計)	水道水の安定した供給を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
3	水道統合整備事業(水道事業会計)	安心・安定した水道水の供給を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	管路施設建設改良事業(公共下水道事業会計)	町民の生活環境の利便性と快適性の向上はもとより、貴重な観光資源である芦ノ湖や早川等の良好な水質を確保するなど自然環境を保全する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
5	処理場建設改良事業(公共下水道事業会計)	町民の生活環境の利便性と快適性の向上はもとより、貴重な観光資源である芦ノ湖や早川等の良好な水質を確保するなど自然環境を保全する	計画通り実施できなかった	あり	計画変更し実施(予定)
6	ポンプ場建設改良事業(公共下水道事業会計)	町民の生活環境の利便性と快適性の向上はもとより、貴重な観光資源である芦ノ湖や早川等の良好な水質を確保するなど自然環境を保全する	計画の半分程度実施できた	あり	計画変更し実施(予定)
7	第3号公共下水道事業(公共下水道事業会計)	町民の生活環境の利便性と快適性の向上はもとより、貴重な観光資源である早川等の自然環境を保全する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
8	第3号公共下水道事業面整備事業(公共下水道事業会計)	町民の生活環境の利便性と快適性の向上はもとより、貴重な観光資源である早川等の自然環境を保全する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
9	ストックマネジメント計画策定(公共下水道事業会計)	持続的な下水道機能の確保とライフサイクルコストの低減を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
10	公共下水道事業会計補助金	第1号及び第2号公共下水道の整備と事業運営の効率化を進めるとともに、第3号公共下水道の整備を進める	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」130ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道有収水量率は、前年度と比較して僅かではあるが増加しています。</li> <li>第1号・第2号公共下水道の整備率は、前年度と同数であるが、総体的には増加しています。</li> <li>第3号公共下水道については、箱根小田原幹線工事が概ね計画どおりに進んでいることから、面整備の基本計画を策定しました。</li> <li>未普及地区の管路施設整備工事、老朽化したポンプ場設備の改築更新工事を行いました。また、次期ストックマネジメント計画の検討に着手しました。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>水道事業は、計画に基づき、効果的な配水管改良工事を継続実施し、有収水量率の向上に努めるとともに、「水道ビジョン」に則り、安定した事業運営を図り、安全・安心・安定的な供給に努めます。</li> <li>下水道事業は、ストックマネジメント計画により、着実に老朽化した施設の改築更新に努めます。</li> <li>第3号公共下水道については、湯本地区の目標年次の供用開始に向け事業推進に努めます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策21		
総合計画上の位置付け	基本目標	3 誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり		
	施策	21 地域交通の利便性の確保		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 公共交通機関の利便性と駅など主な交通拠点の機能の充実を図り、町民の生活と観光客の移動手段の確保に努めます。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	3-21-1	利用しやすい公共交通サービスの提供	都市整備課	環境整備部長
	3-21-2	駅など主な交通拠点の機能充実		
	3-21-3	自然環境への負荷軽減		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-83～	実施計画 P-94～	ロジック・モデル P-189	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	→ 2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績) ↗	単位	
		↙ 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)		
目標指標	1	パークアンドサイクルの年間利用件数	4,466	3,708	3,237	4,874 4,500	件
	2						
	3						
その他指標							
<b>その他定性的な成果</b> <small>（取組みを進めたことで発現した効果などについて記載）</small>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・仙石原交差点の改良について計画の概要が決定したため、地域への説明が行われました。今後、より詳細な測量調査が行われ、土地所有者との用地買収や建物補償に関する協議が開始されることとなっています。</li> <li>・仙石原交差点周辺まちづくりについては、地域住民等が参加するワークショップを開催し、まちづくりに関する協議や情報交換を行いました。</li> <li>・公園等におけるマルシェイベントの開催が定着しつつある他、商店会と協働してまち歩きツアーを試行的に開催することで、地域内に居住する若い世代にもまちづくりの輪を広げることができました。</li> </ul>					
<b>指標等の成果分析</b> <small>（指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載）</small>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・パーク&amp;サイクルについては、芦ノ湖畔を訪れる観光客の移動手段として定着し、目標利用件数を達成しています。</li> <li>・自転車のメンテナンスや保険加入等の手続きを各貸出拠点施設で個別に行っており、統一が図られていない等の懸念事項があります。</li> </ul>					



3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	公共交通事業者燃料価格高騰対策支援事業	地域生活や経済活動を支える乗合バス事業者やタクシー事業者に燃料価格高騰分の一部を支援し、地域公共交通サービスの維持を図る	計画通り実施できた	なし	廃止
2	仙石原交差点周辺まちづくり事業(再掲)	仙石原交差点周辺の道路改良等に併せて、都市計画の視点で周辺のまちづくりを行うことで、地域の活性化や住環境の向上を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」132ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している)  B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)  C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)  D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標指標としている「パークアンドサイクルの年間利用件数」については、芦ノ湖畔訪れる観光客の移動手段として定着し、目標利用件数を達成しています。</li> <li>仙石原交差点の改良については、計画の概要が決定し、地域への説明が行われました。今後、より詳細な測量調査が行われ、土地所有者との用地買収や建物補償に関する協議が開始されることとなっています。</li> <li>仙石原交差点周辺まちづくりについては、公園等におけるマルシェの開催や、まち歩きツアーを開催することで、地域内に居住する若い世代にもまちづくりの輪を広げることができています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である)  ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)  ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)  ④：抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標指標としている「パークアンドサイクル」の促進については、目標指標は達成しているものの、運営上の課題解決について検討します。</li> <li>仙石原交差点周辺におけるまちづくりは、プラットフォームを通じて、まちづくり推進のための体制整備を行うとともに、プラットフォームで決定したまちづくりテーマやその取組事項に沿って、それぞれの役割と分担により具体的な展開を図ります。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策22		
総合計画上の位置付け	基本目標	4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり		
	施 策	22 循環型社会の形成		
	重点施策	分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 4-22-1が該当〕		
今後の取組方針	<p>◇ 廃棄物の発生抑制や資源の循環の利用を推進するため、4R（発生回避、発生抑制・再利用・再生利用）を進めます。</p> <p>◇ 箱根町環境基本計画に基づき脱炭素社会の形成を進めるとともに、ごみ処理施設・し尿処理施設の効率的活用を図ります。</p>			
施策の展開	施 策 の 展 開		施策担当課	施策責任者
	4-22-1	循環型社会の構築	環 境 課	環境整備部長
	4-22-2	カーボンニュートラル（脱炭素社会）の推進		
	4-22-3	ごみ処理施設・し尿処理施設の効率的活用		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-86～	実施計画 P-96～	ロジック・モデル P-190	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)		
目 標 指 標	1	ごみの資源化率	5.8	6.7	5.9	5.4	%
						12.0	
	2	ごみの焼却処理量	13,956	10,828	11,118	12,199	トン
						13,100	
3							
4							
そ の 他 指 標	1						
	2						
その他 定性的な成果 <small>（取組みを進めたこと で発現した効果など について記載）</small>	<p>・スマートエネルギー導入促進事業により、町民が居住する住宅への再生可能エネルギー設備等の導入を助成する制度を令和4年7月から開始した。ごみ減量化・再利用推進事業では業務用生ごみ処理機の購入補助申請が1件あったことから、当該施設の厨芥類の削減が見込まれます。</p>						
指標等の 成果分析 <small>（指標の目標値達成 を阻む外的要因等を 含めて記載）</small>	<p>ごみの資源化率は、事業系ごみについて、許可業者が環境センターを介さずに独自で資源化したものを実績に含めることができないため、数字が伸び悩んでいる状況となっています。</p> <p>ごみの焼却処理量は、新型コロナウイルス感染症の影響で観光客数の減少により大幅に減少した状況から回復しつつありますが、コロナ禍前の観光客数の水準に戻っていないことから目標値を達成しています。また、ごみ減量のための施策（事業系一般廃棄物の収集体制の見直し及びごみ処理手数料改定）が定着し、計画の推進による効果も現れているものと考えられます。</p>						

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	スマートエネルギー導入促進事業	「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、町民によるエネルギーの効率的な利用を促進するとともに、本町における一層の温室効果ガスの削減を図る	計画通り実施できなかった	あり	計画通り実施(予定)
2	ごみ減量化・再利用推進事業	ごみの発生、排出抑制及び資源化によるごみ減量化を住民・事業者・行政が一体となって総ぐるみで推進する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
3	粗大ごみ選別業務委託事業	粗大ごみ、不燃ごみの適正な処理及び資源化を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
4	ごみ処理広域化推進事業	循環型社会形成の推進を図るため、神奈川県ごみ処理広域化計画に基づき、一般廃棄物処理に関する広域的な取り組みを推進する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	清掃第1プラント運転管理事業	清掃第1プラント(焼却施設)を効率的に運転・維持管理する	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
6	清掃第1プラント施設維持管理事業	廃棄物処理を適正に実施するため施設の機能保持を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
7	最終処分場施設維持管理事業	最終処分場を適正に維持管理するとともに施設の機能保持を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
8	清掃第2プラント運転管理事業	清掃第2プラント(し尿処理施設)を効率的に運転・維持管理する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
9	清掃第2プラント施設維持管理事業	し尿・浄化槽汚泥処理を適正に実施するため施設の機能保持を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」132ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標指標である「ごみの焼却処理量」は、コロナ禍の影響で観光客数の減少により大幅に減少した状況から回復傾向にあり、昨年度より増えているが、ごみ減量化のための施策(家庭用及び事業者用生ごみ処理機購入補助)、ごみ資源再利用推進のための施策(剪定枝の一部資源化)を実施しました。</li> <li>ごみの資源化率は、事業系ごみについて、許可業者が環境センターを介さず独自で資源化したものを実績に含めることができないため、数字が伸び悩んでいる状況となっています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ごみの資源化率」の向上にむけ、先進的事例も含めさらに調査・研究し、積極的な推進を図ります。</li> <li>ごみ処理の広域化については、令和7年10月共同処理開始に向け関係市町等と調整・協議し、「可燃ごみ中継施設」及び「剪定枝等ストックヤード」の整備を着実に進めます。</li> <li>スマートエネルギー導入促進事業を令和4年7月から開始したことから、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向け、エネルギーの効率的な利用を促進し、温室効果ガスの削減を図ります。</li> <li>循環型社会の実現へ向けては、町民・事業者と協働して取り組むとともに、庁内横断的に取り組みます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策23		
総合計画上の位置付け	基本目標	4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり		
	施策	23 自然環境の保全		
	重点施策	分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 4-23-3が該当〕		
今後の取組方針	◇ 箱根トラスト制度・県交付金などの活用により森林整備を含め自然環境の保全に努めます。 ◇ 箱根トラスト制度の周知を図るとともに、町民への環境保全の意識啓発を進めます。 ◇ 「箱根町地下水保全計画（第2期）」に基づき、温泉を含めた地下水保全対策を進めます。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	4-23-1	箱根トラスト制度の充実	企 画 課	企画観光部長
	4-23-2	自然から学ぶことができる環境づくり		
	4-23-3	総合的な環境施策の推進	観 光 課	
	4-23-4	自然環境の保全	財 務 課	
	4-23-5	地下水の保全対策		
	4-23-6	森林の多面的機能の確保と森林整備の推進		
	4-23-7	仙石原湿原等におけるシカ対策の推進	環 境 課	
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-88～	実施計画 P-102～	ロジック・モデル P-192	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及びその他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		←5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→8年度(目標)		
目標指標	1	資源保全基金の年間寄付金額	4,799.0	2,683.0	2,062.0	4,150.0	千円
					6,000.0		
	2	豊かな森林づくり（水源かん養）の実施面積（実施町有地の延面積）	145	176	212	249	ha
						499	
3	間伐材搬出促進事業に係る搬出実施面積（累計）	86	93	99	106	ha	
					104		
4							
その他 定性的な成果 <small>（取組みを進めたことで発現した効果などについて記載）</small>		・コロナの影響で令和2年度～3年度と減っていた寄付額は、経済状況の回復はもとより、新規寄付企業もあり、400万円以上の寄付額となりました。 また、シンボルマークの協力金として毎年大口の寄付を実施している小田急電鉄㈱と、資源保全基金のさらなる認知度向上に向け、「夏休みジオ講座」を実施しました。 ・箱根地域におけるニホンジカ対策として、環境省主催の箱根地域ニホンジカ管理検討会に担当者が出席し、多様な主体による新たなエリアの捕獲を、令和4年度から実施することとしました。 ・町有林の整備のほか、長期施業受委託制度による森林(私有林)整備が格段に進んでいます。 ・間伐材搬出促進事業は、市場における木材利用の観点及び町が目指す針広混交林にするため、必要不可欠な事業と考えます。令和4年度においても、作業の効率化を図るため、作業道を増設しました。					
指標等の 成果分析 <small>（指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載）</small>		・資源保全基金への寄付については、継続して協力いただいている企業・団体からの寄付が大半を占めていますが、コロナなど経済状況により、大きく変動します。今後も引き続き、協力を得ることに加えて、新規協力者の開拓を図るために広報周知の方法や寄付方法の検討を進める必要があります。 ・目標とする指標のうち森林関係の目標値は、年々進捗が図れています。 ・森林整備に係る経費は、現状、神奈川県が実施する森林環境保全・再生市町村交付金(100%)で実施できていますが、県が策定した大綱では令和8年度で終了となることから、財源確保が課題となっています。					

### 3 施策を構成する実施計画事業の評価

番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	箱根トラスト推進事業	資源の保全を推進する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	豊かな森林づくり事業(総務費)	森林を整備し水源環境を保全・再生する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	豊かな森林づくり事業(農林水産業費)	荒廃が進む水源の森林エリア内の町有林及び私有林の適切な管理、整備を進め、水源かん養など森林の持つ公益的機能の高い「豊かで活力ある森林」を目指す	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
4	間伐材搬出促進事業	水源かん養など公益的機能の高い良好な森林づくりを進めるため、間伐材の搬出を促進し、有効利用を図ることにより、資源循環による森林整備を推進する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
5	森林病虫害防除対策事業	ナラ枯れ被害の拡大防止を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
6	地下水保全対策事業	地下水、温泉等の水位、水質のモニタリング調査を継続的に実施し、町内の水資源の保護を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」133ページのとおり。

### 4 施策の進捗状況

区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標である「資源保全基金への寄付」が、コロナ禍からの経済状況の回復等の効果もあり3年ぶりに回復しました。</li> <li>・町有林・私有林・財産区有林における森林整備や間伐材搬出が、県交付金などの活用により順調に進んでいます。</li> <li>・地下水に関する継続的な各種調査を実施し、調査結果を町ホームページへ掲載しました。併せて、地下水の重要性や有効活用について普及啓発活動(チラシ周知等)を行いました。</li> <li>・ニホンジカに関する会議体に参加し、新たなエリアでの捕獲活動を実施するなど、シカ対策に取り組みました。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

### 5 今後の方向性

区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源保全基金の残高が減少傾向にあるため、箱根トラスト制度について町広報等による周知のほか、関連事業(すすき草原保存事業・箱根ジオパーク推進事業など)を通じての普及啓発に努め、基金への賛同者(企業)増加を図っていきます。</li> <li>・森林整備の推進財源である県からの水源環境保全・再生市町村交付金が、現行の県計画では令和8年度で終了となることから、将来にわたって健全な森林及び地下水を保全していくため、持続可能な財源を確保していく必要があります。</li> <li>・温泉の源でもある地下水を持続的に保全していくため、要綱等の策定に向け取り組んでいきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策24		
総合計画上の位置付け	基本目標	4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり		
	施策	24 景観の保全・形成		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	<p>◇ 町民、事業者、観光客及び町が各々の役割に応じて協働し、良好な景観を守り育みながら、積極的に景観まちづくりを進めていきます。</p> <p>◇ 景観形成の目的の具現化へ向け、箱根町景観計画の各施策の推進効果を検証しその効果と実現性を考慮した質の高い独自施策を、国・神奈川県、他の自治体と協働・連携しながら展開します。</p>			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	4-24-1	箱根町景観計画の見直しと適切な進行管理	都市整備課	環境整備部長
	4-24-2	町民との協働による景観づくりの発展		
	4-24-3	町の先導的役割の遂行		
	4-24-4	景観法等に基づく施策の展開		
	4-24-5	独自施策の展開		
	4-24-6	国・神奈川県、関連自治体との連携		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-91～	実施計画 P-106～		

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
実施計画に位置付けた目標とする指標及びその他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	→ 2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績) →	単位
		← 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)	
目標指標	1 景観まちづくり協力店の認定件数(累計)	15	15	15	15 30	件
	2					
	3					
その他指標	1					
	2					
その他定性的な成果 (取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町広報・回覧での景観計画・条例の制度紹介を始め、協力店の認定や、景観フェイスブックページ・インスタグラムでの広報等により、景観計画・条例の認知度は高まってきています。</li> <li>・景観セミナーを開催し、住民及び観光事業者の景観意識の向上を図りました。</li> <li>・良好な湖水景観づくりを推進するため、芦ノ湖畔の立看板の統合・更新・撤去について、環境省、神奈川県及び関係機関との協議を行い、今後の方向性を検討しました。</li> </ul>					
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・景観を気運にしたまちづくり(※景観とまちづくりを共存させたもの)は、地元住民の意見や働きかけが必須であり、また、その場を提供することも必要であるため、アドバイザー派遣制度など、更なる広報が必要と考えます。</li> </ul>					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	景観まちづくり推進事業	町民等が町に愛着と誇りを持って住み続けられる環境を創出する 国内外の観光客がまた訪れたいと思えるような環境を創出する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」134ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している)  B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)  C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)  D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標としている「景観まちづくり協力認定店の認定件数」は、ここ数年は、伸び悩んでいます。</li> <li>・町民等のさらなる景観意識の啓発や情報提供を行うため、SNS等を積極的に活用し、利用者の増進が図られています。また、未着手であった景観セミナーを開催しました。</li> <li>・芦ノ湖の良好な景観づくり推進について、環境省、河川管理者である神奈川県及び関係機関と湖畔の立看板の統合・更新・撤去について協議し、今後の方向性を検討しました。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である)  ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)  ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)  ④：抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「景観まちづくり協力認定店の認定」は、目標値達成に向け、今後とも積極的に働きかけます。</li> <li>・一部施策(景観重点地区モデル地区検討、眺望点指定検討等)において、未だ着手されていない事項が見受けられるので、改めて計画内容を確認し、計画的に実施できるよう努めます。</li> <li>・また、必要に応じ今後の具体的施策展開等の見直しを図り、計画的・効果的な景観の保全・形成を推進します。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策25		
総合計画上の位置付け	基本目標	4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり		
	施策	25 防災対策の推進		
	重点施策	分野1 防災力の強化〔施策の展開 4-25-3, 4-25-4, 4-25-5が該当〕		
今後の取組方針	<p>◇ 地震、風水害、火山災害、雪害などに対し行政主体の防災・減災対策を推進していくとともに、SNS、アプリ等の時代に即した情報発信の多様化や自主防災活動の促進、防災意識の啓発、民間施設との連携等を通じて自助・共助による防災活動を推進し、安全・安心なまちづくりを目指します。</p> <p>◇ 地震による建築物の倒壊等から町民等の生命、生活の安全安心を守るほか、災害時に通行可能な空間を確保するため、建築物の耐震化の促進に努めます。</p>			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	4-25-1	防災対策の総合的な推進	総務防災課  都市整備課  上下水道温泉課	総務部長
	4-25-2	防災設備の充実		
	4-25-3	情報発信体制の充実		
	4-25-4	自主防災活動の促進と防災意識の啓発		
	4-25-5	火山災害対策		
	4-25-6	武力攻撃事態等の対策		
	4-25-7	緊急輸送路沿道建築物耐震化の促進		
	4-25-8	要緊急安全確認大規模建築物耐震化の促進		
	4-25-9	木造住宅耐震化の促進		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-94～	実施計画 P-108～	ロジック・モデル P-194	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及びその他数値で把握できる指標（指標の説明）			元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
			5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)	
目標指標	1	神奈川県西部地震の被害想定に基づく、避難者及び帰宅困難者のための食料備蓄率	100	100	100	100	%
	2	防災講演、出前出張講座等の依頼数に対する講演会等の実施回数	2	0	20	22	
	3	木造住宅耐震診断費に対する年間助成件数	2	0	1	2	件
その他指標	1						
	2						
<b>その他定性的な成果</b> <small>（取組みを進めたことで発現した効果などについて記載）</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地震に強いまちづくりを推進するため、町民自ら所有し居住する木造住宅や緊急輸送道路(国道1号、国道138号、県道75号線)で道路閉塞を起こす可能性が高い旧耐震基準による一定の建築物について、耐震診断及び耐震改修に要する費用の補助を行い、耐震化を促進しました。</li> <li>・耐震化への順序として、まずは居住する家屋の実情を理解してもらう必要があることから、耐震相談会への参加を促すため、広報はこねやホームページによる周知、対象物件の所有者へのダイレクトメールを送付したうえで、町内各地域で無料耐震相談会を実施し耐震化への誘導を図りました。</li> </ul>						
<b>指標等の成果分析</b> <small>（指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載）</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耐震化を促進するためには、一般診断・耐震改修に係る対象物件所有者の経済的負担を軽減すること及び町民意識の向上が大きな課題となっています。</li> </ul>						



3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	地震等災害対策事業	風水害や雪害のほか、東海地震や県西部地震等の発生時の被害軽減を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	震後建物応急判定業務整備事業	地震により多くの建築物が被災した場合、被害の状況を調査し、二次被害発生の危険を判定することで、町民の安全を確保する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	被災者生活再建支援事業	被害者生活再建支援法の適用対象外の被災者に対し町独自に支援する	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
4	災害時応急給水タンク整備	大雨・停電・地震災害等による断水に備え、応急給水手段の確保を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	水道事業会計補助金	大雨・停電・地震災害等による断水に備え、応急給水手段の確保を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
6	大涌谷火山対策事業	大涌谷を中心とした箱根山の火山活動の活発化、火山災害に備え、安全・安心の確保を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
7	緊急輸送道路沿道建築物耐震化補助事業	建築物の倒壊によって、住民等の避難、車両の通行等を妨げる恐れのある建築物の耐震化を図り、緊急輸送道路としての機能を確保する	計画通り実施できなかった	あり	計画通り実施(予定)
8	要緊急安全確認大規模建築物耐震化補助事業	不特定多数が利用し、かつ災害時の避難者受入建築物の耐震化を促進し、町民はもとより、観光客の生命を守る	計画通り実施できなかった	あり	計画通り実施(予定)
9	木造住宅耐震化補助事業	耐震性の低い旧耐震建物の耐震化を図ることにより、地震に強いまちづくりを推進する	計画通り実施できなかった	あり	計画通り実施(予定)
10	ブロック塀等撤去改修補助事業	危険なブロック塀等の撤去・改修を進めることで災害に強いまちづくりを実現する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」135ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内32カ所に土のうステーションの設置や災害時応急給水タンクを整備したほか、防災士フォローアップ研修として防災出前講座を開催するなど、防災意識の啓発や自助、共助の取り組みの意識醸成を図った。</li> <li>災害弱者に対する防災行政無線の戸別受信機の販売価格を引き下げ、災害時の情報伝達体制の充実を図った。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き自主防災組織や新たに町内宿泊業者等の中に防災士を養成するとともに、既に資格を取得した防災士に対して、スキルアップや実践経験、情報共有を目的としたフォローアップ研修を実施します。</li> <li>緊急輸送道路沿道建築物や木造住宅の耐震化、ブロック塀等撤去改修補助制度についてはPRを強化するなど、更なる事業促進に努めます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策26		
総合計画上の位置付け	基本目標	4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり		
	施策	26 消防・救急対策の充実		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 消防施設や装備、資機材等の充実に努めるとともに、消防職員一人ひとりの育成及び資質の向上を図ります。 ◇ 町民に対する防火意識の高揚や応急手当の普及啓発を引き続き推進します。 ◇ 消防団員の確保を促進するとともに処遇改善に努め、消防団組織の充実強化を図ります。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	4-26-1	消防施設・装備の充実	消防本部	消防長
	4-26-2	消防団活動の充実		
	4-26-3	消防・救助体制の充実		
	4-26-4	火災の未然防止及び被害軽減の推進		
	4-26-5	救命率の向上及び救急体制の充実		
	4-26-6	通信指令体制の充実・強化		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-98～	実施計画 P-114～		

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
	実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	→ 2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		↔ 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)	
目標指標	1 応急手当の普及啓発受講者数	602	7	121	408 750	人
	2 消防団員数	327	325	309	306 370	人
	3					
その他指標	1					
	2					
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	・応急手当普及啓発活動を通じて救命率の向上を図るため、定期的に一般公募制の救命講習を開催するとともに、消防団員、宿泊施設等事業所の従業員、保育士等に対しても救命講習を行い、応急手当の普及啓発に努めました。 ・消防団員を確保するため、入団募集広報等により継続的に入団促進を図るとともに、消防団員の「年額報酬」と「出勤報酬」を危険な災害現場での活動に見合った金額に引上げて処遇改善を図り、更に、大規模災害発生時等において地域の分団を支援する「機能別消防団員制度」を創設することにより、消防団組織の充実強化を図りました。					
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成を 阻む外的要因等を 含めて記載)	・令和4年度の応急手当普及講習会は、合計59回開催して受講者総数は408人となりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、講習会1回あたりの受講人数を制限したことが要因と考えられます。今後は、感染防止対策を徹底した上で受講人数を勘案することにより、指標の目標値達成に努めていきます。 ・令和4年度の消防団員数は、前年度と比べ3人減少し306人となりました。消防団員を確保することは、地域の消防防災体制を維持していくために重要な課題でありますので、消防団員の処遇改善の他、機能別消防団員制度の運用を開始するとともに、女性消防団員の入団促進など、引き続き消防団員の確保に努めていきます。					

### 3 施策を構成する実施計画事業の評価

番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	消防職員被服等整備事業	災害防ぎょ活動時等における消防職員の安全管理の徹底を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
2	消防車両整備事業	各種災害時における消防活動体制の充実及び機動力の強化を図る	計画通り実施できなかった	あり	計画通り実施(予定)
3	消防・救助業務推進事業	複雑多様化する消防・救助業務の充実強化を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	消防水利等整備事業	火災発生時における消防活動体制の充実を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	消防施設等整備事業	消防防災拠点となる消防施設等の適正管理を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
6	消防情報機器等整備事業	気象情報を把握して災害対応方策に活用するとともに、通信指令体制の充実強化を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
7	消防団員被服等整備事業	災害防ぎょ活動時等における消防団員の安全管理の徹底を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
8	地震等災害対応資機材整備事業(非常備消防費)	大規模地震発生時等における消防団員による消防活動体制を確保するため、資機材の充実強化を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
9	地震等災害対応資機材整備事業(常備消防費)	大規模地震等の自然災害発生に備え、迅速かつ安全な消防・救助活動体制の充実強化を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
10	救急業務高度化推進事業(常備消防費)	救急隊員(救急救命士)に対する教育の充実、救急資器材等の整備や応急手当の普及啓発を推進し、救命率の向上を図る	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
11	火災予防推進事業	幼年児から小・中学生等への防火思想の普及を図ることにより、火災を未然に防止し、火災のない町づくりを推進する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」137ページのとおり。

### 4 施策の進捗状況

区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
<b>A：順調に推移</b> (目標達成又は進捗している) <b>B：一定の進捗がある</b> (目標達成に向け一定の進捗がある) <b>C：進捗は遅れている</b> (目標達成が遅れる可能性がある) <b>D：進捗は大幅に遅れている</b> (目標達成が難しい可能性がある)	<b>B</b>	・消防職員・消防団員の被服や各種消防活動用資機材の整備、消防車両の更新、消防施設の維持・補修等を推進し、災害発生時の安全管理体制や消防力の充実・強化が図られ、災害対応力が向上しました。 ・町民をはじめ宿泊施設の従業員等に対して応急手当普及講習会を開催するとともに、救急救命士の教育や研修の受講並びに救急業務の高度化に向けた救急資器材の整備により、救急救命体制が向上しました。 ・大規模災害発生時等において地域の分団を支援する「機能別消防団員制度」を創設し、消防団組織の充実・強化を図りました。 ・幼年消防クラブの育成や町民への住宅用火災警報器の普及促進広報、宿泊施設等の各種事業所への防火指導を実施し、防火意識の向上と防火思想の普及を図りました。

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

### 5 今後の方向性

区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
<b>①：現状のまま継続する</b> (効果的な事業構成である) <b>②：一部見直し等の余地がある</b> (概ね効果的な事業構成である) <b>③：見直し等の余地は大きい</b> (あまり効果的な事業構成ではない) <b>④：抜本的見直し等が必要</b> (事業構成に問題がある)	<b>①</b>	・複雑多様化する各種災害に迅速・的確に対応するためには、最新の知識・技術の習得及び消防施設、車両、資機材、装備の充実、強化が必要なことから、消防各種事業の内容について更なる検討を行い、引き続き消防力の向上に努めていきます。 ・応急手当普及講習会の受講促進、救急救命士の資質・技術の向上並びに救急資器材の整備を図り、救急救命体制の更なる向上に努めていきます。 ・消防団員の充足率向上のため、福利厚生の実施や被服・装備などを整備するとともに箱根町消防団協力事業所表示制度の推進、更には、女性消防団員や機能別消防団員の入団促進など積極的に取り組みます。

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策27		
総合計画上の位置付け	基本目標	4 環境にやさしく、安全・安心なまちづくり		
	施策	27 交通安全・防犯の充実		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 警察を中心とした関係団体と連携を図り、交通安全への意識の高揚や適切な施設の整備、点検に努めます。 ◇ 警察や防犯関係団体等と協力し、犯罪のない地域づくりに努めます。 ◇ 消費者への相談体制を充実するとともに、情報提供等により消費者の意識啓発に努めます。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	4-27-1	交通安全意識の高揚	町民課	総務部長
	4-27-2	道路交通環境の整備		
	4-27-3	二輪車の事故防止対策		
	4-27-4	一体となった地域防犯体制の構築		
	4-27-5	防犯施設の充実		
	4-27-6	相談体制の充実と消費生活に関わる意識啓発の推進		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-101～	実施計画 P-120～		

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
	実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		←5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→8年度(目標)	
目標指標	1 町立小学校及び認定こども園・幼稚園・保育所での交通安全教室開催回数	7	7	7	7 7	回
	2 町内高齢者（65歳以上）へのドライビングスクールの参加者数	15	0	0	0 15	人
	3 消費生活に関する相談件数	44	53	31	41 50	件
	4 交通安全施設の重点点検	0	1	2	2 2	件
その他指標	1 死亡事故発生件数	0	3	3	1	人
	2					
その他定性的な成果 (取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)	・町立小学校及び認定こども園・幼稚園・保育所で交通安全教室を開催したことにより、園児や生徒の交通安全に対する知識の向上を図ることができました。 ・スクールゾーンや路面標示などの交通安全施設の点検を実施することにより、施設の維持管理、登下校児童の交通安全確保の向上を図ることができました。					
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)	・町内高齢者(65歳以上)のドライビングスクールはコロナ禍ということもあり、令和2年度から4年度の実施を見送りましたが、代替として他課で高齢者の方へ送付する通知等に啓発のチラシなどを同封し、交通安全の普及啓発を図りました。全国的に高齢運転者による事故が増加しており、高齢者へのドライビング講習の重要性が増していることから今後ドライビングスクールの再開と参加者増に向けての検討が必要です。 ・小田原消費生活センターの相談窓口を広く住民に周知したことにより相談件数も目標とする件数に近い実績で推移しているため、今後も周知を継続していきます。					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	交通安全対策推進事業	町の交通安全対策の推進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	くらしの安全推進事業	犯罪のない安心・安全なまちづくりの推進を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	消費生活相談支援事業	消費生活問題に係る相談体制の充実を図り、消費者被害の防止を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」139ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 <small>(目標達成又は進捗している)</small> B：一定の進捗がある <small>(目標達成に向け一定の進捗がある)</small> C：進捗は遅れている <small>(目標達成が遅れる可能性がある)</small> D：進捗は大幅に遅れている <small>(目標達成が難しい可能性がある)</small>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童、園児を対象とした交通安全教室の実施のほか、スクールゾーンや路面標示などの交通安全施設の点検を実施、警察署等へ改善を要望するなど、交通安全への意識の高揚や適切な施設の整備、点検を行った。</li> <li>・消費者相談窓口の周知により、振り込め詐欺などの被害防止対策を図った。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する <small>(効果的な事業構成である)</small> ②：一部見直し等の余地がある <small>(概ね効果的な事業構成である)</small> ③：見直し等の余地は大きい <small>(あまり効果的な事業構成ではない)</small> ④：抜本的見直し等が必要 <small>(事業構成に問題がある)</small>	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町立小学校及び認定こども園・幼稚園・保育所での交通安全教室を引き続き開催し、園児や生徒の交通安全に対する知識の向上を図ります。</li> <li>・全国的に高齢運転者の事故が増加しているなかで、コロナ禍で実施できなかった高齢者のドライビング講習を実施していくことや、自動車急発進防止装置等に対する補助制度をPRするなど、高齢者の交通事故防止及び安全安心なまちづくりを推進します。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策28		
総合計画上の位置付け	基本目標	5 癒しと文化を提供する観光産業づくり		
	施策	28 観光資源の開発と活用		
	重点施策	分野4 ブランド力の強化〔施策の展開 5-28-1が該当〕		
今後の取組方針	<p>◇ 周辺の自然と調和しつつ、地域の歴史や文化を活用し、保養・休養の場としてより魅力のある観光地を目指します。</p> <p>◇ 温泉事業における恒常的な安定給湯を図るため老朽化した施設の更新と町営温泉供給区域について新規加入者を獲得するためのPR活動を行っていきます。</p> <p>◇ 災害等の際、観光地箱根の生命線、大切な資源である温泉が、官民の連携により安定的に供給できるよう、取組みます。</p>			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	5-28-1	観光地のブランド化促進	観光課	企画観光部長
	5-28-2	町営温泉の安全・安心・安定的な供給体制	企画課	
	5-28-3	火山活動の影響を受けた大涌谷園地の持続可能な環境整備	総務防災課	
	5-28-4	域内滞在時間延長と周辺エリアの拡大	上下水道温泉課	
	5-28-5	箱根温泉蒸気井管理協議会との連携強化		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-105～	実施計画 P-123～	ロジック・モデル P-199	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
	実施計画に位置付けた目標とする指標及びその他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		←5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→8年度(目標)	
目標指標	1 観光協会ホームページのアクセス数	296	219	265	297 300	万回
	2					
	3					
その他指標	1					
	2					
その他定性的な成果 (取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱根温泉蒸気井管理協議会との連携強化については、研修等を通じて情報共有を図りました。</li> <li>老朽化した施設・管路等の更新により、温泉を安定的に供給することができました。</li> </ul>					
指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人別荘が多い湯之花地区の新規加入者を獲得するため、施工区間に面した土地所有者に対してPR活動を展開しましたが、電気・ガス・水道のように日常生活に必要な不可欠なライフラインと性質が異なる事から、加入には至りませんでした。</li> </ul>					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	箱根線整備事業(温泉特別会計)	安定給湯を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
2	湯之花線整備事業(温泉特別会計)	老朽化した管路の更新を行う	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」139ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>目標指標である「観光協会ホームページのアクセス数」が、コロナ禍以前の令和元年度(2019)並みに回復しました。旬な情報や観光スポットの様子をリアルタイムに発信するとともに、自然や歴史・文化など幅広い箱根の魅力を国内外へ拡散し、箱根ブランドの普及促進に努めています。</li> <li>観光地箱根に欠かせない温泉、火山の恵みである温泉資源を安定的に供給、保全できるように、町営温泉の施設整備に努めるとともに、官民の連携強化を図っています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱根DMOをはじめとする観光関連団体や事業者等と連携し、観光資源に新たな付加価値を付与するなどして箱根ブランドの向上を継続的に図る必要があります。</li> <li>第2次HOT21観光プラン実施計画の改定(後期計画策定)にあたっては、新型コロナウイルスの経験を踏まえた感染症対策のほか、SDGsや観光DXなどにも配慮する必要があります。</li> <li>最大の観光資源とも言える温泉の有効活用を図るとともに、近年増加傾向にある自然災害に強い施設及び相互支援体制の構築に官民が協働して取り組む必要があります。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策29		
総合計画上の位置付け	基本目標	5 癒しと文化を提供する観光産業づくり		
	施 策	29 観光拠点整備と魅力向上		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 観光拠点の整備を引き続き図り、魅力や利便性の向上に努めます。			
施策の展開	施 策 の 展 開		施策担当課	施策責任者
	5-29-1	町立観光施設の内容充実	観 光 課	企画観光部長
	5-29-2	公衆トイレの改修		
	5-29-3	自然の癒しを感じながら散歩できる観光地づくり		
	5-29-4	仙石原すすき草原の保全と魅力向上		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-107～	実施計画 P-125～	ロジック・モデル P-200	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	→ 2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		↔ 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)		
目 標 指 標	1	森のふれあい館の入館者数	14,208	11,428	14,014	15,178 18,000	人
	2	箱根ジオミュージアムの入館者数	56,780	68,735	81,724	123,648 153,000	人
	3	箱根湿生花園の入館者数	78,369	52,823	59,751	65,925 92,000	人
そ の 他 指 標	1						
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)		<p>・箱根湿生花園では、開園期間中に4つの企画展と3つのミニイベントを開催し、入館者へのサービスにつながりました。</p> <p>また、長年使用してきた設備の老朽化に伴う改修及び災害対策に対応した改修を行い、展示植物を解説する名札の表示板の老朽化や植物分類上の改正に対応するための更新を行いました。</p> <p>・森のふれあい館では、通常の木の実クラフトの他、冬季を中心に館内工芸室でワークショップを不定期開催し、新規入館者・リピーターの満足度向上につながりました。</p> <p>・ジオミュージアムでは、通年で企画展を開催し、好評だった企画展については一部を常設展示に移行しました。また、ドーム映像を用いたイベントをジオミュージアムはじめ、関係各所で開催し、火山や箱根の自然の魅力を伝え、集客に努めることができました。</p>					
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を含 めて記載)		<p>・箱根湿生花園では、新型コロナウイルス感染症の流行により、一度訪問先を変更した団体等呼び戻すことは困難な状況にありますが、企画展の開催や老朽化した施設の改修等を図り、6,174人の増となりました。</p> <p>・森のふれあい館では、団体で新型コロナウイルス感染症を理由にキャンセルした団体はほとんどおらず、入館者数が前年度の5,077人から5,839人へ762人増となりました。また、約6.5割が新規の団体だったため、今後リピーター団体の獲得が期待できます。</p> <p>・ジオミュージアムでは、企画展や新たなイベントの開催によって、41,924人の増となりました。今後も魅力ある企画展やイベントの継続を図り、集客に取り組んでいきます。</p>					



3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	観光施設整備事業	観光施設を適切に管理・運営するために必要な整備を行う	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
2	箱根湿生花園特別展等開催事業	入園者へのサービスと誘客の一助を目的に常設展示と併せ、年間数回の企画展等を開催し、展示の充実を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
3	箱根湿生花園整備事業	長年の使用により老朽化した設備の改修を行うとともに園内展示植物の充実を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
4	ジオミュージアム誘客宣伝事業	大涌谷及びジオミュージアムへの誘客を促進する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
5	森のふれあい館整備事業	安定した運営を行うため館内設備の整備を実施し、施設の維持を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画変更し実施(予定)
6	森のふれあい館特別展等開催事業	年度間を通じた入館者の増に向け、入館の動機づけを図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
7	やすらぎの森整備事業	入園者が快適に過ごせるようにする	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
8	森林セラピー推進事業	新しい箱根の魅力を発信するため、森のふれあい館、箱根やすらぎの森等を中心に、森林セラピー活動の普及を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
9	公衆トイレ整備事業	公衆トイレ利用者が快適に利用するための維持管理を行う	概ね計画通り実施できた	なし	計画変更し実施(予定)
10	ハイキングコース等整備事業	ハイカーの安全を確保する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
11	仙石原すすき草原保存事業	仙石原すすき草原の景観を保全しつつ、観光資源として活用を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」140ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している)  B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)  C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)  D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森のふれあい館では、感染防止対策に努めながら誘客に努め、新たな団体客等も来館した結果、入館者が増加しました。</li> <li>・箱根ジオミュージアムでは、新たな催しを周辺施設にも拡げるなどして実施したほか、コロナ禍の収束につれ大幅に入館者が増加しました。</li> <li>・箱根湿生花園では、施設・設備の老朽化に伴う改修等を行うとともに、企画展やミニイベント等を実施した結果、前年度より入館者が増えましたが、コロナ禍前の人数までには回復していません。</li> <li>・ハイキングコースや仙石原すすき草原への来訪者が快適に楽しめるように周遊環境の維持整備に努めています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である)  ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)  ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)  ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いずれの町立観光施設も、今後も魅力ある企画展等を継続的に実施し、リピーターを持続的に確保するとともに、新たな入館者や団体の獲得を図る必要があります。</li> <li>・森のふれあい館は、今後の館とやすらぎの森(森林セラピー推進事業を含む)の一体的な利活用等について、検討する必要があります。</li> <li>・ハイキングコースや仙石原すすき草原は、アドベンチャーリズムやユニバーサルリズム等の観点も取り入れ、今後の施設・環境整備について、検討する必要があります。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策30		
総合計画上の位置付け	基本目標	5 癒しと文化を提供する観光産業づくり		
	施策	30 多様な観光資源を活用した誘客と受入態勢の整備		
	重点施策	分野4 ブランド力の強化〔施策の展開 5-30-1が該当〕 分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 5-30-2が該当〕		
今後の取組方針	<p>◇ 魅力ある地域資源を活かすとともに、衛生面や感染症対策の充実など国際観光地「箱根」のさらなる振興を図っていきます。</p> <p>◇ 箱根町観光協会や箱根コンベンションビューロー、民間事業者等と連携しながら、引き続き事業を推進します。</p> <p>◇ 誰もが気軽に観光に訪れることができるようなサービス提供ができる人材育成を図るため、観光従事者等に様々な情報を提供するとともに町観光協会公認ガイドの育成など、観光教育の実施に努めます。</p>			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	5-30-1	顧客・マーケットに対応した宣伝・広報の推進	観光課 財務課 学校教育課	企画観光部長
	5-30-2	外国人観光客誘致事業の推進と外国人への情報提供の充実		
	5-30-3	観光従事者等の雇用確保・拡大		
	5-30-4	児童・生徒を対象とした観光教育の推進		
	5-30-5	森林セラピストの育成・活用		
	5-30-6	ハローワーク等との連携		
	5-30-7	事業者支援の充実		
	5-30-8	観光関連産業の振興		
	5-30-9	常設型喫煙所の整備の推進		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-109～	実施計画 P-130～	ロジック・モデル P-202	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
	実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）	元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		↔ 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)	
目標指標	1 年間入込観光客数	1,896	1,257	1,350	1,736 2,000	人
	2 観光産業融資利子補給事業の利用件数	4	0	0	0 10	件
	3 外国人宿泊観光客数	576,183	40,038	4,028	41,564 400,000	人
	4 箱根DMO公認観光ガイド	-	0	0	48 60	人
その他指標	1 中小企業等設備投資促進事業の利用件数	-	-	-	3	件
その他	定性的な成果 (取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)	アフターコロナに向けて、町内事業所のリニューアル等の設備投資に意欲的に取り組む町内事業者を支援するため、令和4年度から中小企業等設備投資促進補助金を創設しました。				
	指標等の成果分析 (指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)	事業者側の更新のタイミングや財務状況なども影響し、実績の数はあまり多くなかったですが、通常行っている周知方法に加えて、償却資産が補助対象となるため、税務課と連携し、償却資産の申告対象者への周知を図ります。				

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	誘客宣伝事業	観光客数の増加を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
2	はこね親善大使事業	親善大使の知名度を生かした誘客の促進を図る	計画の半分程度実施できた	なし	計画通り実施(予定)
3	箱根駅伝歓迎事業	正月の風物詩となっている箱根駅伝に対し積極的に協力することで観光振興を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
4	観光情報推進事業	観光客の利便性向上を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	農地実態調査事業	町内農地の現況を把握する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
6	水産業振興事業	魚族放流により釣客の増加と観光資源の充実を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
7	信用保証料補助事業	中小企業の健全経営の支援を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
8	観光産業融資利子補給事業	中小企業者の資金借入に対し経済的支援を行うことで観光産業の活性化を図る	計画通り実施できなかった	—	事業完了
9	中小企業者等アドバイザー派遣事業	中小企業者等の経営の安定及び活性化を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
10	経営安定緊急融資事業	事業者に対し支援を行うことで経営の安定化を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
11	中小企業者等災害復旧支援事業	事業者に対し支援等を行うことで経営の安定を図る	概ね計画通り実施できた	なし	廃止
12	人材確保等支援事業	町内中小企業の人材確保と求職者の町内就職を促進し、経営基盤の安定や雇用の維持・拡大を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
13	中小企業等設備投資促進事業	設備投資意欲の向上及び経営基盤強化を図るため	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
14	省エネ設備等更新促進事業	機械設備や機器をより電力や燃料等の効率が高いものに更新することを促し、高騰する電力、燃料価格への負担を軽減する	概ね計画通り実施できた	なし	廃止
15	インバウンド観光推進事業	行政機関、民間事業者が連携し、外国人観光客の一層の誘致を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
16	退職金共済制度加入奨励事業	企業の振興と従業員の雇用の安定に資するため、退職金共済制度の加入促進を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
17	勤労者生活資金融資事業	勤労者の生活の安定と向上を経済的に支援する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
18	中小企業等感染症対策事業	事業者に対し支援を行うことで経営の安定化を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
19	ふるさと納税促進事業	箱根ファンの拡大、地域活性化や産業振興に寄与するとともに、歳入(税外収入)増加を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」141ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区 分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 <small>(目標達成又は進捗している)</small> B：一定の進捗がある <small>(目標達成に向け一定の進捗がある)</small> C：進捗は遅れている <small>(目標達成が遅れる可能性がある)</small> D：進捗は大幅に遅れている <small>(目標達成が難しい可能性がある)</small>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目標指標である「年間入込観光客数」が、コロナ禍の収束につれ増加傾向にあり、令和4年(2022)はコロナ禍前の令和元年(2019)対比:約9割、台風19号前の平成30年(2018)対比:約8割にまで回復しました。</li> <li>・一方、同指標としている「外国人宿泊観光客数」は、入国規制が10月にまで及んだため、令和元年(2019)対比、平成30年(2018)対比、いずれも約7%にとどまっていますが、規制緩和以降、急激に伸び始めています。</li> <li>・感染状況の落ち着きに合わせ、官民が連携して誘客促進及び受入態勢の充実に努めています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区 分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する <small>(効果的な事業構成である)</small> ②：一部見直し等の余地がある <small>(概ね効果的な事業構成である)</small> ③：見直し等の余地は大きい <small>(あまり効果的な事業構成ではない)</small> ④：抜本的見直し等が必要 <small>(事業構成に問題がある)</small>	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外からの観光客が安心して気軽に訪れることができる持続可能な観光地を目指し、官民が連携して、人材育成から受入態勢の整備まで、第2次HOT21観光プランの実施計画に基づく多様な施策を推進する必要があります。</li> <li>・アフターコロナを見据え、町内の観光事業者への支援を継続的に実施し、事業の継続や経営の安定、雇用の確保等を図っていく必要があります。</li> <li>・観光情報の提供方法等、観光DXの視点も含め時代に即したサービスのあり方について、検討する必要があります。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策31		
総合計画上の位置付け	基本目標	5 癒しと文化を提供する観光産業づくり		
	施策	31 箱根ジオパークの推進		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ ジオパークとして何を指して活動していくかの検討を行い、箱根ジオパークのビジョンを策定し、関係者間で共有します。そのうえで、ビジョン実現のための具体的な取組みを行動計画に定めることにより、ジオパーク活動のさらなる充実を図ります。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	5-31-1	ジオパーク活動の充実	企画課 観光課	企画観光部長
	5-31-2	箱根ジオパーク推進協議会の財源確保		
	5-31-3	箱根ジオパークのビジョン策定		
	5-31-4	オンラインコンテンツの拡充		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-113～	実施計画 P-138～	ロジック・モデル P-205	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析						
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	→ 2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位
		↔ 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)	
目標指標	1 箱根ジオパークサポーター登録者数	36	40	48	58	人
					100	
	2 箱根ジオミュージアム入館者アンケートにおける箱根ジオミュージアムの認知度	22.5	コロナにより未実施	コロナにより未実施	コロナにより未実施	80.0
3						
その他指標	1 箱根ジオミュージアム来館者数	56,780	68,735	81,724	123,648	人
	2					
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	<p>・ジオサイトにおける解説板の多言語化などの環境整備を進めるとともに、「フォトコンテスト」や「オンラインジオツアー」、「サポーター講座」など、様々な普及活動を推進したことにより、微増ではありますがサポーターの数は増加傾向にあり、また、フォトコンテストにおいても過去最多の応募数となるなど、徐々にジオパークの普及を進めることができています。</p> <p>・「箱根ジオパークとして目指す姿ービジョン」を策定するにあたり、地域課題等のヒアリングや意見交換会などを進めるなかで、改めて、この地域が持つ「自然や景観、文化や歴史などの魅力」と「その資源を守り、価値を地域内外に伝えることの大切さ」を、関係者間で再確認することができました。また、ビジョンが明確になったことにより、個々のジオパーク活動の効果を明確に見据え、推進していくことが可能となりました。</p>					
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を 含めて記載)	<p>・サポーター登録者は微増ながら、着実に増加しています。令和4年度は、「登山道の補修活動」、「親子向け工作とジオ絵本読み聞かせ」、「地域で育まれる農産物とジオの繋がりを学ぶ」ものまで幅広いテーマでサポーター講座を実施しました。仙石原湿原やジオサイトでの保全活動など、サポーター講座の枠にとらわれず、声かけをすることで様々な活動へ参画いただくことで、参加者の増加に繋がります。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症により、箱根ジオミュージアム来館者アンケートは実施できなかったものの、箱根ジオパークプロモーション映像などの紹介動画のオンライン配信や、東京ビッグサイトで開催されるギフトショーで認定特産品のブース出展をするなど、広く普及に努めるほか、1番の拠点施設である箱根ジオミュージアムでの体験型展示を増やしたり、プラネタリウムや昆虫観察会など親子で参加できるイベントを企画したりするなど、様々な手法で普及に取り組んでいます。</p>					

### 3 施策を構成する実施計画事業の評価

番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	箱根ジオパーク推進事業	箱根ジオパーク普及啓発とともに活動の充実を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」145ページのとおり。

### 4 施策の進捗状況

区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジオパーク認定10周年を迎え、構成エリア2市3町における地域課題等を関係者間で再認識し合い、「箱根ジオパークとして目指す姿=ビジョン」を策定したことにより、ジオパーク活動の進むべき方向性等について改めて共有することができました。</li> <li>・普及活動のバロメーターの一つであり、総合計画の目標指標にも位置付けている「サポーター登録者数」については、微増ですが増加傾向にあります。</li> <li>・箱根ジオパークの拠点施設である箱根ジオミュージアムでは、新たな催しを実施するなど普及に取り組んでいます。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

### 5 今後の方向性

区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10周年の記念行事として実施した「夏休み子どもジオ講座」への町内児童の参加率が低い状況等にあることから、町内におけるジオパークの普及活動により一層努めていきます。</li> <li>・「箱根ジオパークとして目指す姿=ビジョン」に沿って、これまで以上に2市3町及び県等関係団体が連携して、ジオパーク活動をより効果的に広域で推進していく必要があります。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策32		
総合計画上の位置付け	基本目標	5 癒しと文化を提供する観光産業づくり		
	施策	32 伝統産業や観光行事の振興		
	重点施策	該当なし		
今後の取組方針	◇ 伝統文化・産業を伝承している団体等に引き続き事業や活動に対する支援を行うとともに知名度向上のためのPRを行い、伝統文化等の保存・ブランド力の向上・伝承を強く推進していきます。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	5-32-1	伝統工芸のブランド力の向上及び後継者確保	観 光 課	企画観光部長
	5-32-2	伝統工芸品産業団体への支援		
	5-32-3	伝統文化の継承		
	5-32-4	地域観光行事の振興及び活用		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-115～	実施計画 P-140～	ロジック・モデル P-206	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	→ 2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		← 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)		
目標指標	1	畑宿寄木会館来館者数	9,947	4,549	7,422	9,695	人
						13,000	
	2	寄木細工専用ホームページ アクセス数	-	0	0	93,166	回
						100,000	
その他指標	1						
	2						
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	・寄木細工について理解を深めてもらうため、歴史や製作工程など寄木細工に関することを紹介したHPを開設しました。また、令和元年度に刷新した寄木細工のパンフレットにHPのQRコードを貼り、より理解してもらえよう整備しました。既に閲覧数が目標指標に届くほどであり、好評を得ています。						
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等を含 めて記載)	・旅行需要喚起策の効果や水際対策の大幅な緩和により、国内外の観光客が増え、前年度に比べ寄木会館の入館者が増加しました。						



3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	箱根物産振興事業	箱根寄木細工の振興及び伝統技術の保存を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
2	伝統文化継承事業	日本の貴重な伝統文化の一つである古典芸能の邦楽や邦舞の保存・伝承及び後継者の育成並びに振興を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
3	大名行列衣装等整備事業	箱根大名行列衣装等を更新し、箱根大名行列の継続的な実施を補助することによって文化の保存を図るとともに、観光振興の一助とする	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	地域観光行事特別助成事業	主要観光行事に対する特別助成を行い誘客を図る	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」145ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
<b>A：順調に推移</b> <small>(目標達成又は進捗している)</small> <b>B：一定の進捗がある</b> <small>(目標達成に向け一定の進捗がある)</small> <b>C：進捗は遅れている</b> <small>(目標達成が遅れる可能性がある)</small> <b>D：進捗は大幅に遅れている</b> <small>(目標達成が難しい可能性がある)</small>	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統工芸専用のホームページ及び紹介動画を作成し、町の公式情報として発信を開始し、寄木製品をPRするとともに、寄木細工そのものへの興味・関心を高めることで文化の伝承・後継者対策等へつなげていくよう取り組んでいます。</li> <li>・伝統的工芸品の団体や古典芸能の振興団体の事業等を助成し、活動を支援しました。</li> <li>・箱根大名行列やその他の地域観光行事を助成し、各地域の観光振興を図っています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
<b>①：現状のまま継続する</b> <small>(効果的な事業構成である)</small> <b>②：一部見直し等の余地がある</b> <small>(概ね効果的な事業構成である)</small> <b>③：見直し等の余地は大きい</b> <small>(あまり効果的な事業構成ではない)</small> <b>④：抜本的見直し等が必要</b> <small>(事業構成に問題がある)</small>	<b>②</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統文化及び産業の伝承には町の支援は不可欠であり、今後も支援策を実施していきます。併せて、関連団体等とともに人材の確保、育成について検討を進め、連携して対策を講じる必要があります。</li> <li>・地域の観光行事を引き続き助成し、誘客を促進する有効な観光資源として充実が図られるよう支援していきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策33		
総合計画上の位置付け	基本目標	6 行政の効率的運営と官民協働体制の強化		
	施策	33 協働のまちづくりの推進		
	重点施策	分野3 健康生活の推進〔施策の展開 6-33-4が該当〕		
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 情報公開制度をもとに、引き続き積極的に情報の共有化を図ります。</li> <li>◇ 計画の段階から町民の意見を取り入れ、町民と行政が官民連携し協働のまちづくりの推進に努めます。</li> <li>◇ 町と町民のパイプ役となる町自治会連絡協議会の活動の充実を図ります。</li> <li>◇ 自治会や各種団体の自主的な地域活動を支援し、地域コミュニティの育成に努めます。</li> <li>◇ 地域の資源や特性を活かしながら、官民連携によるまちづくりを推進します。</li> <li>◇ 第2次箱根町HOT21観光プラン実施計画に掲げている各種計画を着実に推進するため、箱根DMOとさらなる連携を図ります。</li> </ul>			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	6-33-1	まちづくりに関する広報・広聴機会の充実	町民課 企画課 観光課 都市整備課	総務部長
	6-33-2	町自治会連絡協議会の支援		
	6-33-3	集会所等の施設整備		
	6-33-4	地域コミュニティ活動の支援		
	6-33-5	自主的・主体的活動の促進		
	6-33-6	HOT21観光プラン推進委員会による進行管理		
	6-33-7	箱根DMOとの連携・協働		
	6-33-8	官民連携によるまちづくりの推進		
	6-33-9	民間事業者・大学等との連携強化		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-118～	実施計画 P-144～	ロジック・モデル P-207	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)		
目標指標	1	活力あるまちづくり新規補助件数	1	1	0	4	団体
	2	町政モニター延べ回答者数	31	127	164	110	
	3						
	4						
その他 定性的な成果 <small>（取組みを進めたこと で発現した効果など について記載）</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活力あるまちづくり支援事業は、新規4件、継続1件を支援し、団体の自主的・主体的な活動を推進しました。</li> <li>・仙石原交差点周辺まちづくりについては、地域住民等が参加するワークショップを開催し、まちづくりに関する協議や情報交換を行いました。</li> <li>・公園等におけるマルシェイベントの開催が定着しつつある他、商店会と協働してまち歩きツアーを試行的に開催することで、地域内に居住する若い世代にもまちづくりの輪を広げることができました。</li> </ul>						
指標等の 成果分析 <small>（指標の目標値達成 を阻む外的要因等を含めて記載）</small>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活力あるまちづくり支援事業は、平成30年度に対象事業を第6次総合計画前期基本計画の4つの重点施策分野に寄与する取組みに特化し、対象団体を新設だけでなく既存団体でも先駆的な取組みであれば可とした結果、例年1件の応募にとどまっていた新規応募団体が4件に増加しました。</li> </ul>						

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗度	課題の有無	今後の方向性
1	箱根DMO支援事業	箱根DMOのリサーチ・マーケティング部門に係る事業活動を補助することで、町の観光産業の振興・発展を図り、観光経済のさらなる拡大化につなげる	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	集会所等整備事業	町民によるコミュニティ活動の更なる推進と防災拠点にもなる施設の整備を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	コミュニティ助成事業	地域・団体等のコミュニティ活動の活性化を図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
4	活力あるまちづくり支援事業	将来にわたって地域に活力を与え、魅力あふれるまちづくりの推進に結びつける	計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
5	大学連携推進事業	大学の持つ知見を活かし、地域課題の解決に結びつける	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
6	町政モニター事業	気軽に町政への評価や意見を把握し、施策立案や事務改善に活用する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
7	仙石原交差点周辺まちづくり事業	仙石原交差点周辺の道路改良等に併せて、都市計画の視点で周辺のまちづくりを行うことで、地域の活性化や住環境の向上を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」146ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>活力あるまちづくり支援事業は、新規4件、継続1件に補助を行い、団体の自主的・主体的な活動を推進した。</li> <li>仙石原交差点周辺まちづくりについては、地域住民等が参加するワークショップの開催のほか、公園等におけるマルシェイベントの開催、商店会と協働したまち歩きツアーの試行的開催など、地域内に居住する若い世代にもまちづくりの輪を広げることができた。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>「第2次箱根町HOT21観光プラン実施計画」に掲げる施策の実施については、引き続き箱根DMOと連携し官民協働で取り組んでいく。</li> <li>仙石原交差点周辺まちづくりについては、引き続き町民と行政との協働のまちづくりの推進に努めます。</li> <li>活力あるまちづくり事業においては、制度の周知を引き続き行い、団体等の自主的、主体的な活動の支援を通じて、地域コミュニティの育成を図ります。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策34	
総合計画上の位置付け	基本目標	6 行政の効率的運営と官民協働体制の強化	
	施策	34 計画的な行財政運営	
	重点施策	該当なし	
今後の取組方針	<p>◇ 将来にわたって安定した行政サービスを提供するために、財政調整基金及び歳入の確保を行いながら、自然災害等にも迅速に対応できる、健全な財政運営を目指します。</p> <p>◇ 将来世代に負担を先送りせず、地方債の発行と償還のバランス保持などにより、過大な負担を残さないよう持続可能な財政構造への転換を図ります。</p>		
施策の展開	施策の展開	施策担当課 施策責任者	
	6-34-1 財源の確保	企画課 総務防災課 町民課 財務課 税務課 環境課	総務部長
	6-34-2 民間活力の活用		
	6-34-3 行財政改革の推進		
	6-34-4 財政リスクへの備え		
	6-34-5 事業の精査		
	6-34-6 税収の確保		
	6-34-7 公共施設等の総合管理と適正配置		
	6-34-8 広域行政の推進		
	6-34-9 交流圏拡大による活性化		
	6-34-10 デジタルトランスフォーメーションの推進		
	6-34-11 情報漏えい対策の強化		
	6-34-12 町村情報システム共同化の推進		
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-121～	実施計画 P-148～	ロジック・モデル P-209

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及びその他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		↔ 5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	→ 8年度(目標)		
目標指標	1	行財政改革アクションプランの進捗率	33.0	29.0	37.0	37.0	%
						100	
目標指標	2	町税徴収率 (3か年平均)	94.9	93.9	93.8	93.8	%
						95.2	
<b>その他定性的な成果</b> <small>(取組みを進めたことで発現した効果などについて記載)</small>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・償却資産実態調査事業により、認知度が低く申告要否の判断も複雑な償却資産への固定資産課税に係る書面調査及び実態調査を行い、申告漏れ資産を捕捉することで公平公正な賦課となり、調定増にもつながった。また、アドバイザーの助言指導による職員のスキルアップも図られました。</li> <li>・箱根町可燃ごみ中継施設等整備・運営事業者選定委員会を開催し、事業者の公募を行い、参加資格審査、競争的対話、提案審査を実施することにより、令和5年度の優先交渉権者の選定に向け進捗が図られました。</li> </ul>					
<b>指標等の成果分析</b> <small>(指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載)</small>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画期間が令和4年度までとなっている第1期行財政改革アクションプランは目標を達成できる見通しとなりましたが、税収の減少や公共施設の老朽化に伴う大規模建設事業の実施により、固定資産税の超過課税を今のまま継続したとしても、現在のサービスの維持が困難となることを見込まれます。このため、第1期アクションプランを改定し、未達成の項目に加え、新たな取組みを計画に位置付け、更なる行財政改革を推進することとし、令和4年度に第2期のアクションプランを策定しました。</li> <li>・動産・不動産公売や預金・給料の差押、電話・訪問催告などにより、滞納整理を強化しました。また、徴収を取り巻く状況として、ゆるやかではあるがコロナの影響からの回復を見せていること、引き続き県OB職員の雇用を行い徴収ノウハウの継承に努めたこと、県との職員交流を実施し町職員の徴収スキル向上を図ったことなどが、徴収率の向上の要因と考えられます。</li> </ul>					

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗状況	課題の有無	今後の方向性
1	地方公会計整備事業	財務書類を作成することにより財政の透明性の向上、資産・債務の適切な管理を図り、今後の財政運営に活用する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
2	デジタル化推進事業	デジタル技術を活用し、町民の利便性向上と行政の効率化を図り、次世代に繋ぐため、具体的な施策について、計画を作成する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
3	電子計算処理推進事業	事務処理の合理化、効率化を図り、町民サービスの安定した提供と品質を確保する	概ね計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
4	償却資産実態調査事業	固定資産税(償却資産)の公平公正な賦課と職員の償却資産調査のスキルアップを図る	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
5	個人情報保護推進事業	個人情報の保護に関する法律が改正され、令和5年4月から国、民間事業者及び地方公共団体の法体系が一本化されることに伴い、法改正に対応した個人情報保護制度を運用する体制を構築する。	概ね計画通り実施できた	なし	廃止
6	庁舎施設等整備事業	本庁舎・分庁舎等施設の適切な維持管理を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
7	出張所整備事業	出張所機能の維持を図るため施設の整備を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
8	公共施設等総合管理計画策定事業	平成28年度に策定した「公共施設等総合管理計画」を改定する	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
9	箱エールクーポン券事業	新型コロナウイルス感染症に加え、物価高騰等の影響を受けている町民生活を支援するとともに、地域経済の回復を図る。	概ね計画通り実施できた	なし	廃止

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」147ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している)  B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)  C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)  D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革アクションプランについては、財政健全効果額の実績は14億5,813万円となり、見込額を1億5,590万円上回る事ができたが、目標値である推進項目の進捗率は新型コロナの影響で進捗が図れた項目と、進捗が遅れた項目があったため、目標値を下回る結果となった。</li> <li>・中長期的な財源確保策について、コロナ禍における観光経済への影響を鑑み、「観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議」の開催を見送った。</li> <li>・固定資産税のうち償却資産について、書面調査及び実態調査を行い、申告漏れ資産を捕捉したほか、アドバイザーの助言指導による職員のスキルアップを図った。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である)  ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)  ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)  ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行財政改革アクションプランについては、令和5年度からの第2期計画を着実に推進していきます。</li> <li>・「観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議」については5年10月から再開し、専門的かつ幅広い見地から中長期的な財源確保策について検討のうえ、健全な財政運営を目指します。</li> <li>・引き続き専門知識のある県OB職員を雇用することで、滞納整理を強化し、町職員の更なる徴収スキルアップを図るとともに、電子決済による収納等により町税の徴収率の向上に努めます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策35		
総合計画上の位置付け	基本目標	6 行政の効率的運営と官民協働体制の強化		
	施策	35 SDGsの推進		
	重点施策	分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 6-35-1, 6-35-2, 6-35-3が該当〕		
今後の取組方針	◇ 町民への周知を実施していきます。 ◇ SDGsの推進に向けて地域が直面する課題の洗い出しや課題解決に向け取組めます。 ◇ 箱根町SDGs推進計画（仮称）を策定して国内外へアピールし、多様なステークホルダーとの連携のもと、一層の観光客誘致につなげます。			
施策の展開	施策の展開		施策担当課	施策責任者
	6-35-1	箱根町SDGs推進計画（仮称）の策定	企画課	企画観光部長
	6-35-2	重点的取組みの推進（環境先進観光地箱根）	観光課	
	6-35-3	重点的取組みの推進（国際観光地箱根）	環境課	
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-125～	実施計画 P-153～	ロジック・モデル P-211	

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及び その他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)		
目標指標	1	町民のSDGs認知度の向上	40.0	未実施	未実施	未実施	%
					80.0		
	2	箱根町SDGs推進計画（仮称）の策定	-	-	-	策定中	
	3						
その他指標	1						
	2						
その他 定性的な成果 (取組みを進めたこと で発現した効果など について記載)	・町の基本方針や行政・町民・事業者・観光客の具体的な取組みを明確にした「箱根町SDGs推進計画」の策定に向けて、SDGsアドバイザーのアドバイスを受けたほか、職員研修などを行い、SDGsの意識向上を図りました。 ・第2次箱根町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)を令和5年3月に策定するとともに、箱根町地球温暖化対策実行計画(区域施策編詳細版)を作成することで、脱炭素社会の実現に向けた取組を推進するための整備を図った。						
指標等の 成果分析 (指標の目標値達成 を阻む外的要因等 を含めて記載)	「箱根町SDGs推進計画」を中心に、町民、事業者にSDGsの周知を進めるほか、行政のみの取組みだけでなく、事業者と連携した取組みを進めていく必要があります。						

3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗状況	課題の有無	今後の方向性
1	SDGs推進事業	SDGsの目標達成のため「我々の世界を変革する:持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中の国際目標です。全世界協力のもと、令和12年までに17のゴールを達成しようとするもので、町民にもSDGsを理解してもらい目標達成に努める。	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」148ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している)  B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある)  C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある)  D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第6次総合計画後期基本計画における新規の重点施策分野「持続可能なまちづくり」を進める中心的施策として新設した「SDGsの推進」では、国際目標である17ゴールの達成目標年次2030年に向け、行政だけではなく町民や事業者にもSDGsを理解してもらおうための取り組みを始めました。</li> <li>・令和4年度は、「箱根町SDGs推進計画(仮称)」の策定に向け、庁内におけるSDGsの意識醸成を図りました。</li> <li>・脱炭素社会の実現に向けて「第2次箱根町地球温暖化対策実行計画(事務事業編)(区域施策編詳細版)」を策定するなど、町が掲げる環境先進観光地箱根の取り組みを推進しています。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である)  ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である)  ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない)  ④：抜本的見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	①	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGsの目標達成に向けては、オール箱根で推進する必要があります。町民・事業者にもSDGsの周知を進めるほか、箱根DMOをはじめとする町内事業者と連携した取り組みが重要です。</li> <li>・町民・事業者等への効果的な周知方法について検討する必要があります。</li> <li>・SDGsを通じて、環境先進観光地箱根や国際観光地箱根を国内外へ広くPRしていきます。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。

## 第6次総合計画 施策別評価シート（令和4年度）

1 施策の概要		施策36	
総合計画上の位置付け	基本目標	6 行政の効率的運営と官民協働体制の強化	
	施 策	36 コロナ対策の推進	
	重点施策	分野5 持続可能なまちづくり〔施策の展開 6-36-2, 6-36-10が該当〕	
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 状況に応じた経済対策を実施し、持続可能な地域経済を目指します。</li> <li>◇ 国・県・関係団体が示す感染症対策について引き続き町民、事業者、観光客に啓発していきます。</li> <li>◇ ワクチン接種については、引き続き接種対象となる町民が接種できるよう体制確保を図ります。</li> <li>◇ 各種イベント、教室、会議、打ち合わせ等の開催方法や施設の運営方法を検討し、ウィズコロナ時代においても執行できる事業のあり方を検討します。</li> <li>◇ 感染防止衣、感染防止用資器材及び消毒用資器材の整備と救急隊員等への二次感染防止に継続的に取組みます。</li> <li>◇ 消防職団員が安全・安心に業務を遂行できるよう消防施設の感染防止対策に向けた環境整備に取り組めます。</li> <li>◇ 避難所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、避難者のソーシャルディスタンスの確保や健康管理を推進します。</li> </ul>		
施策の展開	施策の展開	施策担当課	施策責任者
	6-36-1 「新しい生活様式」の定着 <b>6-36-2 ワクチン接種の推進</b> 6-36-3 正しい情報の迅速な提供 6-36-4 オンライン配信の積極的な利用 6-36-5 会議等における感染拡大防止のための書面開催 6-36-6 所管施設における感染防止対策の徹底 6-36-7 各種イベントにおける感染防止対策の実施 6-36-8 学校・園における感染防止対策の実施 6-36-9 事業者支援 <b>6-36-10 町内経済活性化促進</b> 6-36-11 感染症防止用資器材等の整備 6-36-12 救急隊員等の健康管理 6-36-13 消防施設の感染防止対策 6-36-14 避難所における感染症対策の推進 6-36-15 自宅療養者への支援の推進	保険健康課  観 光 課  総務防災課  子育て支援課  学校教育課  消防本部	福祉部長
各計画の掲載箇所	後期基本計画 P-127～	実施計画 P-155～	ロジック・モデル P-212

2 目標指標やその他成果などの状況と成果の分析							
実施計画に位置付けた目標とする指標及びその他数値で把握できる指標（指標の説明）		元年度(基準)	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(実績)	単位	
		5年度(実績)	6年度(実績)	7年度(実績)	8年度(目標)		
目標指標	1	新型コロナウイルス感染者数	-	24	315	1,493	人
	2	クラスター発生数	-	-	-	0	件
	3	避難所における新型コロナウイルス感染症新規感染者数	-	-	-	0	人
その他定性的な成果 <small>（取組みを進めたことで発現した効果などについて記載）</small>	認定こども園、保育園においては、保育士が定期的に抗原検査を実施することで、保護者が安心して子どもを預けることができる体制を整備することができました。 ・新型コロナウイルスワクチン接種を集団接種、各医療機関での個別接種により実施した。 事業者支援として、令和元年度から実施している新型コロナウイルス感染症の流行に対しての融資実績としては、融資件数が66件、融資額2億4,548万円の実績があり、信用保証料は89件、744万4,500円の補助、利子補給については305件、1,044万1,000円の補助を行いました。						
指標等の成果分析 <small>（指標の目標値達成を阻む外的要因等を含めて記載）</small>	・計画的に接種体制を構築し、希望する方に接種が行えた。						



3 施策を構成する実施計画事業の評価					
番号	事務事業名	事務事業の目的	事業の進捗状況	課題の有無	今後の方向性
1	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	町民の安心した生活や経済活動のため、国の示す接種方針に基づき新型コロナウイルスワクチンの接種を実施する。	計画通り実施できた	なし	計画通り実施(予定)
2	新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業	自宅療養中に支援が受けられない方も安心して自宅療養できるようにする	計画通り実施できた	なし	廃止
3	新型コロナウイルス感染症緊急対策事業(教育総務費)	各小・中学校における新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を図る	概ね計画通り実施できた	あり	計画通り実施(予定)
4	町内経済活性化事業	観光により町内経済の活性化を図る	概ね計画通り実施できた	—	廃止

※評価の詳細は、「(別添)令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧」148ページのとおり。

4 施策の進捗状況		
区分	選択区分	進捗状況区分を選択した理由
A：順調に推移 (目標達成又は進捗している) B：一定の進捗がある (目標達成に向け一定の進捗がある) C：進捗は遅れている (目標達成が遅れる可能性がある) D：進捗は大幅に遅れている (目標達成が難しい可能性がある)	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍において、町内経済活性化事業(箱いこクーポン・箱ぴたクーポン)、箱エールクーポン券事業、経営安定緊急融資事業、中小企業等感染症対策事業(利子補給)等、状況に応じた経済対策を実施しました。</li> <li>・認定こども園、保育園においては、保育士が定期的に抗原検査を実施することで、保護者が安心して子どもを預けることができる体制を整備することができました。</li> <li>・新型コロナウイルスワクチン接種体制を確保し、集団接種、各医療機関での個別接種により実施しました。</li> </ul>

※指標等の成果を中心に施策を構成する実施計画事業の評価等から総合的に評価しています。

5 今後の方向性		
区分	選択区分	「今後の方向性」及び「事業構成の妥当性」を選択した理由
①：現状のまま継続する (効果的な事業構成である) ②：一部見直し等の余地がある (概ね効果的な事業構成である) ③：見直し等の余地は大きい (あまり効果的な事業構成ではない) ④：抜本の見直し等が必要 (事業構成に問題がある)	②	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年5月より、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類となったことから、ウイズコロナからアフターコロナを見据え、各種事業者支援を引き続き実施し、持続可能な地域経済を目指します。</li> <li>・新型コロナウイルスワクチンの接種については、令和5年度末までは国による特定接種となりますが、令和6年度以降は今後の国の動向を注視しながら接種体制を検討していく必要があります。</li> </ul>

※これまでの評価結果を踏まえて、施策の今後の方向性として事業の構成や手法などが妥当か評価しています。



第6次総合計画（後期基本計画）実施計画 令和4年度施策別評価結果  
【別冊】令和4年度実施計画事業の進捗評価一覧

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
1	1	健康づくり推進事業	保険健康課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の健康増進を図るため「温水プール水泳教室」「はつらつ町民健康教室」「食育事業」などを行った。</li> <li>・健康福祉フェスティバルにおいて若年層を対象にした乳がん及び子宮がん検診を実施した。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
1	2	総合保健福祉センター整備事業	保険健康課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経年劣化により不具合等が生じている建築・機械設備の改修・交換等を行った。</li> </ul>	建築から22年が経過し、屋根の劣化、機械設備の不具合が発生しており、更新・改修費用が今後増大する。	計画通り実施(予定)
1	3	総合保健福祉センター利用促進事業	保険健康課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巡回バスを運行し、町内各地のさくら館利用者を送迎した。</li> </ul>	利用促進に向けた新たな取組みを検討する必要がある。また、巡回バスの利用者は年々減少しており、新規利用者の確保を検討する必要がある。	計画通り実施(予定)
1	4	特定健康診査等事業(国民健康保険特別会計)	保険健康課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診査について、集団健診は5ヶ所、個別健診は医療機関で行った。</li> <li>・不定期受診者や未受診者に対して、勧奨通知を送るなど受診勧奨に努めた。</li> </ul>	受診率が低迷しており、未受診者に対する効果的・効率的な受診勧奨を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
1	5	生活習慣病予防推進事業	保険健康課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活保護受給世帯等を対象とする一般健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検診、成人歯科健診を実施し、がんや生活習慣病の早期発見・早期治療を図るとともに、検診結果に基づく生活習慣の改善指導を行った。</li> <li>・集団検診については、受診率向上のため5会場のうち4会場で特定健診と全がん検診が同時受診可能な「総合健(検)診」の体制で実施した。</li> <li>・令和4年9月から胃がん内視鏡検診を導入した。</li> </ul>	令和4年12月末に町内医療機関が1箇所閉院したことにより、コロナ渦から回復した受診率が再び低下しており、受診率回復のため検診体制の整備を検討する必要がある。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
1	6	女性特有のがん検診推進事業	保険健康課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度から対象年齢を拡大し実施した。(子宮:20歳・30歳・35歳・40歳、乳:40歳に達した女性)</li> <li>未受診者に対してリコール(はがき)を行うとともに、電話による受診勧奨を行った。</li> </ul>	女性が罹患するがんの1位が乳がんであるが、国基準の5がんのうち、子宮・乳がんの受診率は特に低い状況であり、受診しやすい検診体制やより効果的な受診勧奨体制を整備する必要がある。	計画通り実施(予定)
1	7	子宮頸がんワクチン接種事業	保険健康課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	広報及び郵送により対象者に情報提供を実施した。	任意接種のため対象者のうちの何人が接種を受けていたか不明であり、本事業の本来の対象者の把握が困難である点。	計画通り実施(予定)
1	8	風しん対策事業	保険健康課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	抗体保有率の低い世代(昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生れの男性)に対して無料クーポン券を発行し、抗体検査および予防接種を実施した。	実施率が低下しており、制度の周知を改めて行う必要がある。	計画通り実施(予定)
1	9	地域医療体制推進事業	保険健康課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱根地域で開院の医師に対し、運営補助を行った。</li> <li>町内医療機関に対し、医療機器の購入等に要する経費の一部を補助し、医療水準の向上を図った。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
1	10	医療機関燃料価格高騰対策支援事業	保険健康課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	箱根町介護保険事業所・医療機関燃料価格高騰対策支援金交付要綱に基づき15,700円を1医療機関に補助した。	特になし	廃止
1	11	医療機関光熱水費高騰対策支援事業	保険健康課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	箱根町介護保険事業所・医療機関光熱水費等価格高騰対策支援金交付要綱に基づき50,000円を10医療機関に補助した。	特になし	廃止
1	12	地震等災害医療対策事業	保険健康課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	地震等の災害に備え、医薬品(10品目)、衛生材料(1品目)の更新を行った。	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
1	13	休日急患救急医療推進事業	保険健康課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・町内7医療機関の輪番により日曜日等休日の急病患者に対する一次医療体制の確保を図った。	従事する医師への負担が大きいため、実施体制の検討が必要である。	計画通り実施(予定)
2	1	子育て支援センター等運営事業	子育て支援課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	親子での遊びの場、さらに相談指導及び情報交換の場として、子育て支援センター1か所と子育てサロン2か所を開設した。	利用促進を図るため、利用者の拡大等検討する。	計画通り実施(予定)
2	2	箱根っこわくわくふれあい事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・チャレンジクラブ:湯本小学校区 年間14回実施 延べ144名参加 ・ごっこの会:仙石原小学校 年間17回開催 延べ113名参加 主な内容:工作やスポーツ、自然観察など	指導者の後継者不足が懸念される。	計画通り実施(予定)
2	3	子育て世代包括支援事業	子育て支援課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	妊娠期から子育て期の家庭を対し、総合的相談支援を行った。また、世代間の子育てギャップ解消のため祖父母手帳を配布した。 新たに、妊娠の届出を行った妊婦・子育て世帯に対し、伴走型相談支援と経済的支援の出産・子育て応援交付金の給付を一体的に行った。	令和5年度に子ども家庭総合支援拠点との組織を見直し、子ども家庭センターの設立について検討する必要がある。	計画通り実施(予定)
2	4	乳幼児保育等利用費補助事業	子育て支援課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	町外や認可外の保育・教育施設を利用しているために、保育料、給食費を負担している家庭に対し、保育料と給食費の補助を行った。	特になし	計画通り実施(予定)
2	5	子育てシェアタウン推進事業	子育て支援課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	関係団体ヒアリング ニーズ調査 シェアコンシェルジュ発掘・育成 交流イベント開催 アプリ導入、周知	様々な層が交流できるようなテーマや目的を持たせたイベント開催を検討する。	計画通り実施(予定)
2	6	小児医療費助成事業	子育て支援課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	小児保健の受診の向上と小児家庭の生活の安定を支援するため、医療費の自己負担額の助成を行った。 (対象者:中学校卒業までの者)	全国的な制度設計となるよう引き続き国・県へ要望していく。	計画変更し実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	2	7	新生児聴覚検査費助成事業	子育て支援課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	新生児の聴覚検査費用を助成することで、その経済的負担を軽減するため、出生後初回の検査に要する費用を助成した。	母子保健推進事業に統合する。	計画通り実施(予定)
	2	8	母子保健活動推進事業	子育て支援課	法定受託事務	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦健康診査費用・不妊不妊治療費・産後ケア専門家利用費用の補助を行った。</li> <li>・妊婦健康診査及び乳幼児健康診査を実施した。</li> <li>・各教室や健康診査、個別訪問等で育児相談・指導を実施した。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
	2	9	放課後子ども教室運営事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後子ども教室「ゆもと楽習塾」を運営した。コロナの影響で1回休講としている。</li> <li>【児童概ね27名/回 年間29回(1回45分)】※延べ780名参加</li> </ul>	実施地域の拡充に向けた人材の確保が難しい。	計画通り実施(予定)
	2	10	認定こども園整備事業	子育て支援課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<p>【仙石原】厨房機器補修、雨樋清掃、テーブル・殺菌保管庫・消火器購入、門扉交換、中庭外壁補修、洗面台木部塗装、ホールカーテン設置、誘導灯交換、テラス幕板補修、手洗器交換を実施した。</p> <p>【湯本】雨樋清掃、三輪車・ピクニックガーデン購入、更衣室床補修、2歳児保育室ゆか張替・空气中化学物質調査、外柱塗装を実施した。</p>	建設後年数が経過し、設備の故障や施設の傷みへの対応が必要となってきたため、計画的に補修や設備の更新を行っていく必要がある。	計画通り実施(予定)
	2	11	箱根保育教育推進事業	子育て支援課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	子どもたちの社会性や他者との豊かな心の育成を図り、ハートフルプログラムの充実と、園で育まれた資質・能力を小学校教育に繋げることができた。	特になし	計画通り実施(予定)
	2	12	子育て家庭応援事業	子育て支援課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児家庭全戸訪問 助産師23件、保健師6件訪問実施。</li> <li>・養育支援訪問 助産師4件訪問実施</li> <li>・子ども家庭総合支援拠点を開設し子ども家庭支援全般にかかる相談対応を一体的に行なった。</li> </ul>	令和5年度に子育て世代包括支援センターと子ども家庭総合支援拠点の組織を見直し、こども家庭センターの設立の検討をする必要がある。児童相談、虐待に対応する社会福祉士、保健師、心理士などの専門職の異動や人材不足の課題がある。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
2	13	産婦健康診査費助成事業	子育て支援課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	産後2週間と1か月の産婦健康診査の費用を助成した。	母子保健推進事業へ統合する。	計画通り実施(予定)
2	14	放課後児童健全育成事業	子育て支援課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	放課後児童クラブを開設し、放課後に保護者の適切な保護を受けることができない小学生の健全な育成を図った。 湯本こどもクラブ(湯本小学校区) 箱根こどもクラブ(箱根の森小学校区) きんときクラブ(仙石原小学校区)	令和6年度の箱根幼稚園での放課後児童クラブ開設に向けての調整や準備を行う。	計画通り実施(予定)
2	15	こども宅食サービス事業	子育て支援課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	夏休みなどの長期休暇中の平日に、昼間就労等の事情で、子どもの見守りを必要としている家庭に栄養管理された弁当の提供を行い、子育て支援の充実を図った。また、物価高騰等の影響を鑑み、夏休み以降年度末までの利用料を無償として提供した。	利用料については、従来どおり保護者負担を設け実施する。	計画変更し実施(予定)
2	16	子育て世帯臨時特別給付金給付事業	子育て支援課	法定受託事務	計画通り実施できた	支給対象6人(対象児童6人)に対し給付金を支給し、子育て支援を図った。 ※令和3年度中に支出ができなかった世帯に対する支給(令和3~4年度事業)	特になし	廃止
2	17	子育て世帯生活支援特別給付金給付事業	子育て支援課	法定受託事務	計画通り実施できた	支給対象50人(対象児童79人)に対し給付金を支給し、子育て支援を図った。	特になし	廃止
3	1	認知症見守り支援事業	福祉課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・認知症等行方不明SOSネットワーク加入者個人賠償責任保険 ・認知症高齢者等発見GPSシステム運用委託	認知症高齢者等発見GPSシステムを利用者がより使いやすいものにしていく必要がある。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	3	2	生活支援体制整備事業(介護保険特別会計)	福祉課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活支援・介護予防体制整備推進協議会の開催</li> <li>生活支援コーディネーターの配置</li> </ul>	生活支援・介護予防体制整備推進協議会における協議を進めるとともに、生活支援コーディネーターを十分に活用し、生活支援ボランティアの育成と既存団体のフォローを効果的に実施していく必要がある。	計画通り実施(予定)
	3	3	介護予防普及啓発事業(介護保険特別会計)	福祉課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>にこにこ運動教室やゆっくりゆったり教室を定期的に開催し、高齢者の運動機能の向上や体力維持等を図り、介護予防の推進を図った。</li> <li>脳と体の若返り教室を開催し、認知症予防に効果があると言われているコグニサイズを取り入れた運動を実施するとともに、参加者に対し介護予防への取り組みの大切さを周知し、意識の高揚を図った。</li> </ul>	いずれの介護予防教室も運動機能や筋力等の維持・向上に一定の効果が確認されたが、本来、介護予防は、継続してはじめて大きな成果につながる性質があることから、引き続き、高齢者の健康維持や介護予防の推進に努めていく必要がある。	計画通り実施(予定)
	3	4	保健福祉サービス調整機構運営事業	福祉課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者に対する保健福祉サービスの内容、方針等を検討するとともに第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進捗の管理を的確に行った。</li> </ul>	第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(計画期間:令和3年度から令和5年度)の進捗管理を図り、計画目標の達成状況や事業の効果を検証し、今後の施策展開に反映させていく必要がある。	計画通り実施(予定)
	3	5	箱根町社会福祉協議会運営補助事業	福祉課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助の実施により、サロン活動や地域を話し合う会などの活動の充実を促進し、地域福祉の増進が図られた。</li> <li>社会福祉協議会が行う地域活動についての広報等を窓口で配架するなど、情報発信に努めた。</li> </ul>	引き続き、経営の自立に向けて介護保険事業以外に独自で収入が得られる方策について協議を重ね、地域福祉の充実に向けて、さらなる活動の活性化を図ることができるよう支援していく必要がある。	計画通り実施(予定)



施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
	3 6	地域支え合い推進事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉計画については、地域福祉推進委員会書面会議を実施し、各計画の進捗状況の定期的な点検・把握等の進行管理を行った。</li> <li>・災害時要援護者については、情報管理の更なる適正化の為、システム改修の検討をし、令和5年度での改修を決定した。</li> </ul>	<p>第3次地域福祉計画は、令和7年度が計画期間の最終年度にあたるため、次期計画に向けて進捗状況等を点検するとともに、引き続き関係機関と連携し次期計画に向けて調整していく必要がある。</p> <p>災害時要援護者名簿については、常に最新の情報を確保できるように事務を改善する必要があることから令和5年度にシステム改修を実施し、名簿記載者の管理強化を図る。また、防災担当との調整や、自治会、民生委員など援護する側の理解と協力を得ながら周知徹底を図っていきたい。</p>	計画通り実施(予定)
	3 7	臨時特別給付金給付事業	福祉課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	令和4年度住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり10万円の現金を給付した。	特になし	廃止
	3 8	特別支援給付金給付事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	令和3年度または令和4年度住民税均等割のみ課税世帯に対して、箱根町独自に1世帯あたり5万円の現金を給付した。	特になし	廃止
	3 9	緊急支援給付金給付事業	福祉課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	令和4年度住民税非課税世帯に対し、1世帯あたり5万円の現金を給付した。	特になし	廃止

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
4	1	地域包括支援センター運営事業(介護保険特別会計)	福祉課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括支援センターに専門職を配置し、高齢者の日常生活や保健・医療・福祉に関する総合的な相談窓口として電話や訪問、来所などにより年間340件の相談に対応した。</li> <li>・年間7回の地域ケア会議を開催し、地域における支援対応困難事例を地域の方や医師、歯科医師、介護支援専門員など多職種で検討し、地域課題の解決に向けた取組みを実施した。</li> <li>・要支援1・2の方や介護予防・日常生活支援総合事業対象者の方に対し、それぞれ必要と思われる介護サービスを利用していただけるよう適切な介護予防ケアプランの作成に努めるとともに対象者の自立支援に寄与した。</li> </ul>	地域包括支援センターの職員の資質の向上を図り、高齢者の増加に併せた対応能力のアップや支援業務の効率的な実施を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
4	2	介護保険事業所燃料価格高騰対策支援事業	福祉課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の介護保険事業所のうち、通所又は訪問介護等において使用している車両に対し、稼働日数に応じて燃料価格高騰分の一部を助成した。</li> </ul>	特になし	廃止
4	3	介護保険事業所光熱水費等高騰対策支援事業	福祉課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の介護保険事業所に対し、光熱水費等高騰分の一部を助成することで、介護保険事業所の負担軽減を図ることができた。</li> </ul>	特になし	廃止

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
4	4	成年後見制度利用支援事業(介護保険特別会計)	福祉課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症が進行し施設入所などの手続き行為ができなかったり、金銭管理ができなくなったりした方の権利を守るため、成年後見人制度に基づく、町長申立てを3件実施し、対象者の権利擁護を図った。</li> <li>・過去に町長申立てを実施し、成年後見人等となった方に対し、被成年後見人等が生活保護世帯等の際に、本人に代わって報酬助成(6件)を行った。</li> <li>・地域連携ネットワーク中核機関の運営を地域包括支援センターとともに実施し、成年後見制度利用促進協議会を年1回開催した。</li> </ul>	成年後見人制度は、本人の財産や必要な介護サービスにつなげるために必要不可欠な制度であることから、今後も引き続き、本制度の利用促進を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
4	5	老人生きがい対策事業	福祉課	自治事務(任意)	計画の半分程度実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者を対象に、老人グラウンドゴルフ大会などの体を動かすイベントのほか、知識や教養を身に付ける老人大学ややまなみ趣味の教室を開催し、多くの方の参加を促した。</li> <li>・高齢者の趣味や技能の発表の場として、やまなみ文化作品展を開催し、高齢者の生きがいややりの高揚を図った。</li> </ul>	老人クラブなどを活用した生きがい対策を今後も推進していくが、高齢者が増加しているにも関わらず、老人クラブの加入者数が減少していることから、加入するメリットなどがあるような取り組みを一層、検討していく必要がある。また、コロナ過でのイベント開催のあり方について引き続き検討していく必要がある。	計画通り実施(予定)
4	6	高齢者サポート事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要支援、要介護認定者のごみ出し支援の実施</li> <li>・高齢者への自動車急発進防止装置等設置費補助の実施</li> <li>・高齢者の引きこもり防止を目的とした、ツアー型買い物支援サービスの実施</li> <li>・高齢者バス回数券購入費助成の実施</li> </ul>	利用実績の少ない自動車急発進防止装置等設置費補助や、ツアー型買い物支援サービスについて、事業周知を図り、利用者数の増を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
4	7	地域住民移動支援促進事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	宮城野地域と仙石原地域を結ぶ「路線定期運行」と「エリアデマンド運行」の2パターンの移動支援のための実証実験を行い、効果検証を実施した。	令和4年度に実施した実証実験の結果を踏まえ、今後の方向性を検討していく必要がある。	休止

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
4	8	ねんりんピック開催事業	福祉課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	11月12日～15日にねんりんピックを開催し、実行委員会としてゴルフ競技を主催した。	特になし(各県の持ち回りで実施しているもの。)	廃止
4	9	箱根町シルバー人材センター運営補助事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営費を補助することで、シルバー人材センターの健全な運営を支援した。</li> <li>・高齢者の就労の場を確保したり、シルバー人材センターの会員数を増やすための周知活動を支援した。</li> </ul>	シルバー人材センターの会員数が伸び悩んでいることや民間企業からの受託事業が減少していることに加え、会員の平均年齢も上昇していることから、今まで以上にシルバー人材センターの健全な運営や就業機会の拡充を図れるよう支援していく必要がある。	計画通り実施(予定)
4	10	認知症施策推進事業(介護保険特別会計)	福祉課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症地域支援推進員2名を箱根町地域包括支援センター内に配置した。</li> <li>・認知症に対する正しい知識の普及啓発や認知症の方、その家族の支援者となる認知症サポーターを養成する講座を4回開催し、98名の認知症サポーターを育成した。</li> <li>・認知症相談や認知症の家族をもつ方の支援活動を実施した。</li> </ul>	認知症の方を地域で見守る機運の醸成を図る必要がある。また、認知症サポーターは着実に増加しているが、その後のフォローアップをもっと充実させ、チームオレンジの創設に向けた準備を行を行う必要がある。	計画通り実施(予定)
4	11	在宅医療介護連携推進事業(介護保険特別会計)	福祉課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師や介護支援専門員、薬剤師、行政職員などによる多職種共同研修を1市3町、小田原医師会との連携により年4回、開催した。</li> <li>・小田原医師会地域医療連携室が行っている地域医療の推進と併せて在宅医療・介護の連携窓口としての機能を持たせるため、1市3町で連携して運営補助を実施した(箱根町からの相談件数は、年間606件あった)。</li> <li>・老人大学の開催に併せて、在宅医療・介護連携推進講演会を開催した。</li> </ul>	・在宅医療と介護の連携において実施している多職種協働研修の参加者がマンネリ化してきている。今後も広く参加を呼びかけ、顔の見える関係の構築が必要である。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
4	12	介護サービス利用者支援事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・要介護4、5の方を在宅で介護している住民税非課税世帯の方に対し、紙おむつの支給を実施し、経済的負担の軽減を図った。	重度の要介護高齢者を介護している低所得世帯の経済的負担を軽減するための制度であり、引き続き、利用促進を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
4	13	家族介護教室開催事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・介護保険制度のサービスや認知症について理解を深め、また、実際に介護をする立場になった際の介護技術を学ぶ教室等を開催した。コロナ禍で中止になったものもあったが、年7回開催することができた。	事業開催にあたり、参加者を増やすことが課題であるため、他の行事との同時開催や内容の充実・広報等改善の必要がある。	計画通り実施(予定)
4	14	地域自立生活支援事業(介護保険特別会計)	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・ひとり暮らし老人や高齢者世帯の緊急事態に対する不安を解消するため、緊急通報システムを31世帯(年間平均利用世帯数)に設置した。 ・利用実績として、緊急通報3件のうち3件とも救急車の要請に至ったが命には別状なかった。そのほか、健康相談が34件、安否確認を兼ねた本人の健康状況確認を370件実施した。	特になし	計画通り実施(予定)
4	15	後期高齢者保健事業	保険健康課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・健康診査について、集団健診は5ヶ所、個別健診は医療機関で行った。 ・未受診者へ電話による受診勧奨等を行った。	受診率が低いことから、受診勧奨を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
4	16	保健と介護予防の一体化事業	福祉課	自治事務(義務)	計画の半分程度実施できた	運動指導と口腔指導の集団指導については、それぞれ5回、4回実施し、ほぼ当初予定の回数を実施できたが、個別指導については、口腔指導、栄養指導とも対象者が1名となり、当初予定していた対象者の10名を大幅に下回った。	国保データベースシステムを活用し、健康状態にハイリスクがある虚弱状態(フレイル)の方を適切に抽出し改善指導を行うものであるが、対象者の選定を行っても事業対象に結びつかないなどの課題がある。	計画通り実施(予定)
4	17	老人福祉センターやまなみ荘整備事業	福祉課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	男女浴室の改修工事を実施し、利用者の利便性を図るとともに、老朽化した給湯設備の改修工事に向けた設計業務委託を行った。	男女浴室の改修工事にあたっては、男女交互に実施し、利用者にと支障のない形で工事を実施することができた。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
4	18	配食サービス事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・配食サービスを年間延べ4,875食実施し、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯に対する食生活の改善を図ると同時に安否確認を実施した。	今後も高齢者が増加する中では、高齢者の見守りや栄養改善を必要とする方も増えるため、継続していく必要があると考えている。	計画通り実施(予定)
4	19	はり・きゅう・マッサージサービス事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・申請のあった142人の方にはり・きゅう・マッサージのサービス券を1人につき、3枚、合計426枚を発行した。 ・そのうち実際に使用された枚数は268枚であり、利用率は62.9%であった。	はり・きゅう・マッサージサービスの利用数が減少しているため、利用促進を図り、サービス券を有効活用することで、高齢者の健康増進を支援する必要がある。	計画通り実施(予定)
4	20	敬老祝金支給事業	福祉課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・対象者の長寿を祝い、100歳の方に20,000円、90歳の方に10,000円、80歳の方に5,000円を敬老祝い金として支給した。 ・対象者は、100歳が4名、90歳が67名、80歳が164名、計235名であった。	永年にわたり、町の発展や地域の活性化に尽力を尽くした高齢者に対する敬意と長寿を祝う事業であるため、引き続き、実施する必要がある。	計画通り実施(予定)
5	1	在宅重度障がい者等支援事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	在宅の重度障がい者等に対し、タクシー利用券・自動車燃料助成券の交付及び燃料価格高騰相当分として自動車燃料助成券を追加交付を行い、障がい者等の社会活動への参加促進と通院及び日常生活の利便性の向上が図られた。	重度障害者の社会参加や通院などの日常生活の利便性の向上に寄与しているため、引き続き現所の助成を維持していく必要がある。	計画通り実施(予定)
5	2	心身障がい者福祉等推進事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・障がい児・者の機能回復や社会参加を促進するため、「在宅心身障がい児地域訓練会(なでしこ教室)」「児童言語訓練会(ことばの教室)」「生活教室」を実施するとともに、施設通所者に対し通所時の交通費を扶助した。	児童に対して早期療育が提供できる体制を維持し、療育の必要な児童が適切な訓練等を受けられるように関係機関と連携を図り、参加を促していくことが課題である。	計画通り実施(予定)
5	3	地域活動支援センター事業	福祉課	自治事務(義務)	計画通り実施できた	・地域活動支援センターの運営を(福)箱根町社会福祉協議会に委託した。	・支援員の急な退職による支援員不足が課題となっている。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
6	1	国民健康保険特別会計繰出金	保険健康課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民健康保険特別会計の運営費に、一般会計からの繰出しを充てた。</li> <li>・医療費の抑制及び適正化を図るため、医療費通知、レセプト点検、後発医薬品の推奨のほか、不定期受診者や未受診者へ勧奨通知等特定健診の受診勧奨に取り組むとともに、収納率向上に努めた。</li> </ul>	県が示す国保運営方針及び標準保険料率を参考に納付金を納めるための適正な保険料率の算定を行う必要がある。	計画通り実施(予定)
6	2	後期高齢者医療特別会計繰出金	保険健康課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後期高齢者医療特別会計の運営費に、一般会計からの繰出しを充てた。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
6	3	介護保険特別会計繰出金	福祉課	自治事務(義務)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険事業の運営に充てるため、一般会計から介護保険特別会計へ繰出しを行った。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
6	4	介護従事者等支援事業	福祉課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護職員初任者研修受講料の補助及び介護を題材にした川柳の募集並びに、日帰り温泉入浴施設利用券を交付することで、介護職員の定着等支援を図った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募者の偏りが生じないように、エピソードコンクールの内容を毎年変更する。</li> <li>・初任者研修受講料補助は、ここ数年申請があるものの、利用率は低い状況のため、引き続き利用促進を図り、利用者増に努めていく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
8	1	箱根教育推進事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・箱根ハートフルプログラムについて、園・小・中学校の12年間の連続した学びの中で、子どもたちの社会性や他者との豊かな関係、集団との積極的なかかわりを作り出すコミュニケーション能力の育成を目指したプログラムを実践した。</li> <li>・総合学力調査について、児童・生徒一人ひとりの正答率や苦手な単元等、学習状況を把握し、日常の指導に活かすことができた。</li> <li>・特別支援学級合同キャンプや演劇等鑑賞会について、各学校と園の教職員で協議しながら実施し、園・小・中で一貫して箱根教育を推進した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町教育振興基本計画を令和5年度から第4期計画とするため、取組内容を本事業を中心に予算化し、箱根教育を推進していく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)
8	2	環境学習推進事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花の種・苗・植物栽培セット等を購入し、各小・中学校・幼稚園に配付した(栽培等は子どもたちが行った)。</li> <li>・早川河川等水質検査を中学校に委託した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>本事業は令和5年度から第4期箱根町教育振興基本計画のスタートに合わせ、箱根教育推進事業に整理・統合し、箱根教育の取組項目の1つとして、継続して取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)
8	3	ICT活用教育推進事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度から計画的に教職員用タブレットパソコン、大型ディスプレイ、校務用パソコン、校務支援システム、パソコン教室のパソコン、教育用タブレットパソコン等をリースにより整備を行い、学校のICT環境の充実を図った。</li> <li>・ICTを活用して児童生徒の学力向上につなげるため、学習支援ソフト【ベネッセミライシードドリルパーク】を導入した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成29年度から令和元年度までに整備した機器のリースが順次満了するため、教職員のニーズを把握し、計画的に機器を更新していく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)
8	4	生きた英語教育事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小・中学校に外国人講師を1名配置した。</li> <li>・中学2・3年生を対象に、英語技能測定(GTEC for STUDENTS)を実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語教育の充実のため、引き続き実施していく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)



施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
8	5	英語検定取得促進事業(教育総務費)	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内在住の小・中学生を対象とし、実用英語技能検定料を補助した。</li> <li>・箱根中学校の生徒について、星槎箱根キャンパスを準会場とし、英語検定受験機会を提供した。</li> <li>・英検3級合格対策講座を令和2年度から継続して実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の英語力向上だけでなく、英語検定に合格することが児童生徒の自信にもつながるため、引き続き実施していく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)
8	6	箱根土曜塾運営事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内在住の中学3年生を対象に高等学校入学試験(英語・数学・社会・理科)の受験対策を目的として、公営の塾を運営し、学習支援の場を提供した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に進学塾がなく、町外への通塾に時間が掛かる状況を踏まえ、高等学校入学試験に向けた学習支援の場を提供していく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)
8	7	教育相談センター事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育支援員3名とスクールソーシャルワーカー1名を雇用し、県費負担教職員・学校教育指導員・スクールカウンセラーの各1名を合わせた体制で、教育相談センターを運営した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒、保護者、教職員からの様々な教育相談に対応するとともに、不登校や学校生活に不応を起している状況の児童生徒の特性に合わせ、適切な支援を行うため、引き続き相談・支援体制を維持していく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)
8	8	子どものための図書推進事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒の積極的な読書活動を推進するため、「学校図書教育推進委員会」に委託した。</li> <li>・各園・小・中学校に園児・児童・生徒用の図書を購入した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動は箱根教育の4つの柱の1つである「知育」の取組項目であり、引き続き実施していく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)
8	9	スクールマネジメント事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園・小・中一貫教育を推進するため、「箱根一貫教育推進運営委員会」に委託した。</li> <li>・町教育委員会が指定する項目の中から、小・中学校及び園長会が自主的に選択した事業を小・中学校及び園長会に委託した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園・小・中一貫教育だけでなく、各小・中学校、園長会が自主的な取り組みを推進することができていること、引き続き実施していく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
8	10	学校給食無償化事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・町内在住の児童生徒の町立小・中学校の給食費を一律無償化し、保護者の経済的負担の軽減を図った。	・保護者の経済的負担を軽減し、定住化につなげるため、給食の質と量を確保しつつ、引き続き実施していく必要がある。	計画通り実施(予定)
8	11	小学校校舎等整備事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・学校からの要望や施設点検時指摘事項等を踏まえ、校舎内外補修工事等を実施した。 ・湯本小学校の校舎等の長寿命化に向けて、基本設計を実施した。	・令和6年度に実施予定の湯本小学校の校舎等長寿命化改良工事ははじめ、良好な教育環境を維持していくため、学校施設の長寿命化計画に基づき、計画的に整備していく必要がある。	計画通り実施(予定)
8	12	小学校教育設備整備事業	学校教育課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	○(湯本小学校) ・除湿器 1台 ○(箱根の森小学校) ・防水はかり 1台 ・冷凍冷蔵庫 1台	・良好な教育環境を維持していくため、学校備品を計画的に整備していく必要がある。	計画通り実施(予定)
8	13	中学校校舎等整備事業	学校教育課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・学校からの要望や施設点検時指摘事項等を踏まえ、校舎内外補修工事等を実施した。	・長寿命化改良工事は終了したが、今後も良好な教育環境を維持していくため、計画的に整備していく必要がある。	計画通り実施(予定)
8	14	幼稚園園舎等整備事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・園からの要望や施設点検時指摘事項等を踏まえ、園舎内外補修工事等を実施した。	・良好な教育環境を維持していくため、園備品を計画的に整備していく必要がある。	計画通り実施(予定)
8	15	高等学校等通学費補助事業	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・高等学校等へ通学する生徒の通学費を補助し、負担軽減を図った。 通常補助金額:3ヶ月定期代 一保護者負担額18,000円 共通定期券補助金額(※): 3ヶ月定期代×補助率2分の1	・保護者の経済的負担を軽減し、定住化につなげるため、引き続き実施していく必要がある。	計画通り実施(予定)
9	1	公民館学習・文化事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	HAKONE大学(箱根ジオパーク10年の今、未来)のほか、初心者向け音楽講座等の各種講座、子ども向け体験学習(大文字クラブ)等を実施し、町民の主体的な生涯学習活動の推進を図った。	町民の生活や教養に資する講座の開催や公民館定期利用団体の持続的な活動を支援していく必要がある。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
	9	2	英語検定取得促進事業(社会教育費)	生涯学習課	自治事務(任意)	計画通り実施できた 実用英語技能検定やTOEICの受験料を補助することにより受験機会の提供を図った。 ・実用英語技能検定 18名(高校生16名 社会人2名) ・TOEIC 6名(大学生2名 社会人4名)	継続的に制度の周知を行っていく必要がある。	計画通り実施(予定)
	9	3	公民館整備事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた 老朽化した宮城野公民館の外壁塗装及び屋上防水や、仙石原公民館ホールのトイレを洋式化するなど、改修工事を行った。	各公民館施設の老朽化に伴う経年劣化が進行する中、優先順位を踏まえた適切な維持修繕を行う必要がある。	計画通り実施(予定)
	9	4	移動図書館運営事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた 町内の各園、学校、公民館等の計22ポイントを巡回(14日周期)し、図書の貸出を行った。(年間貸出冊数9,400冊、年間貸出人数2,815人)	各園、各学校と連携し、移動図書館の利用促進と読書活動の推進を図っていく必要がある。また、一般利用者(大人)への周知を強化していく必要がある。	計画通り実施(予定)
	9	5	ブックスタート運動推進事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた 「ブックスタート・バック」(絵本2冊・バッグ等)を4カ月健診時に配布し、ブックスタートの趣旨を伝えた。 ・ブックセカンド・サードとして小・中学校新入生に本1冊とバック等を配布した。	・ブックスタートの趣旨を保護者に正確に伝えられるように工夫していく必要がある。 ・在校生の推奨本、新入生の希望本を調査するにあたり、園・学校との連携を強化していく必要がある。	計画通り実施(予定)
	9	6	公民館図書整備事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた 一般書629冊、児童書557冊の、計1,186冊を購入した。	限られた予算内で、出来る限り利用者の要望に応えていく選書に努める必要がある。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
10	1	生涯学習フェスティバル開催事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<p>生涯学習月間にあわせて、文化・芸術・スポーツに関連した事業を展開し、生涯学習に対する意欲の高揚を図った。</p> <p>①郷土資料館企画展「箱根の湯立獅子舞」 10/1～11/27 郷土資料館</p> <p>②第31回グラウンドゴルフ大会 10/13 雨天中止</p> <p>③第45回芸能発表会 10/16 仙石原文化センター</p> <p>④第11回ニュースポーツ大会 10/20 星槎レイクアリーナ箱根</p> <p>⑤はこねスポーツまつり2022 11/10 星槎レイクアリーナ箱根</p> <p>⑥第61回箱根町民文化祭 11/11～11/13 社会教育センター</p> <p>⑦「箱根の秋」2022室内楽コンサート 11/20 仙石原文化センター</p>	特になし	計画通り実施(予定)
11	1	家庭教育推進事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<p>町内小中学校の各種行事開催時に家庭教育講座を行い、保護者へ学びの場を提供し、家庭教育力の向上を図った。</p> <p>・湯本小学校 寄木細工体験 コースター作り</p> <p>・箱根の森小学校 タックルアクセラサリ作り</p> <p>・仙石原小学校 陶芸教室</p> <p>・箱根中学校 成長期の食生活について(公演)</p>	講座について、家庭での困りごとや、子どもたちを取り巻く社会環境、児童・生徒に身に付けさせたいことなど、身近な問題解決につながる内容で実施することが必要である。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
	13	郷土資料館展示開催等教育普及事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<p>箱根の歴史と文化への理解を深めてもらうため、展示や各種学習事業を実施した。</p> <p>①資料整理:収蔵庫の資料整理と目録デジタルデータ化 ②調査研究:ボランティア活動、博物館実習生受入れ ③教育普及活動 ・夏季企画展「浮世絵と絵図からみる箱根七湯」 ・秋季企画展「国重要無形民俗文化財指定記念:箱根の湯立獅子舞」 ・体験学習:町内小学校や町民等を対象とした「わらじ作りと箱根旧街道石畳の歩行」や「お正月飾り作り」などを実施</p>	文化遺産の保護活用や郷土の歴史を学ぶ機会を提供するため、常設展示の充実を図り、定期的に企画展の開催を企画する必要がある。また、箱根の歴史や文化への理解を深めるための体験学習の充実や計画的なボランティア育成をさらに推進する必要がある。	計画通り実施(予定)
	13	史跡整備事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<p>指定史跡や天然記念物の整備を行い、適切な保護・保存をするとともに、効果的な活用を図る。</p> <p>①東光庵熊野権現旧跡 東光庵周辺樹木剪定 ②天然記念物 ・箱根仙石原湿原植物群落草刈り(保存計画に基づくヨシ刈り等)及び開花状況調査 ・ハコネサンショウウオの成体捕獲調査の実施 ・ハコネコマツツジの生育確認調査の実施 ③元箱根石仏群 四阿解体工事</p>	元箱根石仏群関係施設の老朽化が進んでいるため、史跡のさらなる活用を視野に、今後の施設の修繕や在り方を検討する必要がある。	計画通り実施(予定)
	13	箱根旧街道杉並木保護対策事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<p>・国指定史跡箱根旧街道杉並木を将来に渡り適切に保存・活用していくため、令和元年度に策定した保存活用計画に則り、適切に管理を行った。また、標記計画を受けて「国指定史跡箱根旧街道整備基本計画」の策定を行った。</p> <p>・箱根旧街道杉並木の維持管理のため、定期的なパトロールや枯枝の撤去、枯死の伐採を行い、保護対策を図った。</p> <p>①通常管理委託 ②箱根旧街道整備基本計画の策定(国庫補助事業R3～R4の継続事業)</p>	箱根旧街道保存活用計画に基づく維持管理及び整備・活用事業の実施が必要である。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
13	4	近代化遺産調査・活用事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	戦後建築の優れた遺産(近現代建造物)をリストアップし、将来の文化財登録・指定ならびに現在検討中の文化財保存活用地域計画に活かすことを目的に、町内の戦後建築物の抽出調査を行った。 ・近現代建造物緊急重点調査(建築)実施報告書、かながわ建築ガイド、日本建築学会図書館所蔵建築雑誌掲載県別作品リストの文献から町に建設された作品を抽出して重複を整理し、現存状況の確認を行った。	特になし	計画通り実施(予定)
13	5	文化遺産情報発信事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	郷土資料館資料や町内文化遺産のデータベースの整備及び公開を行い、情報発信の推進を図った。	特になし	計画通り実施(予定)
13	6	箱根探訪推進事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	箱根の自然、文化を紹介する「ワンコインシリーズ」のガイドブックの発行や箱根の豊かな自然や古くから営まれてきた人々の暮らしについて、残された文化等の理解を深めるために箱根探訪会を開催し、箱根教育の推進を図った。 ・箱根探訪会 ①鎌倉時代と江戸時代の箱根路をめぐる ※雨天中止 ②宮城野湯立獅子舞を訪ねる R4.7.15 参加者12名 ③国指定名勝 神仙郷見学会 R4.9.13 参加者9名 ④松の茶屋探訪会 R4.11.21 参加者18名 ・ワンコインシリーズ(既刊)5巻「箱根の歴史と文化 箱根温泉の歴史」印刷	ワンコイン全シリーズを活用した箱根探訪会の開催について準備の必要がある。	計画通り実施(予定)
13	7	郷土資料館整備事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	郷土資料館設備の適正な管理を行うため、不具合箇所の改修を行った。 ・浄化槽越流堰交換修繕、郷土資料館エレベーター改修工事、教育長室絨毯張替工事	施設の経年劣化により修繕箇所が多くなっているため、適切な維持修繕を行う必要がある。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	13	8	箱根関所整備事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	箱根関所復元施設などの美観維持、建物の耐久性の強化を図ることや観覧者の安全性にも配慮した計画的な整備(維持管理)を実施した。また、復元施設の維持とともに長寿命化も踏まえた再整備を行うことから、学識経験者の意見を反映した箱根関所復元施設再整備基本計画の策定を行うことができた。	特になし	計画通り実施(予定)
	13	9	箱根関所歴史文化推進事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	箱根関所の歴史などを分かり易く伝えるための展示改良を行った。また、教育施設として活用してもらえるよう、首都圏域等の学校施設(小学校)に対し、関所利用促進情報資料である「関所deできますプログラム」を送付し誘致を図った。	特になし	計画通り実施(予定)
	13	10	箱根関所誘客宣伝事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	箱根関所の魅力を知ってもらうため、ホームページやツイッターなどのSNSの活用や町内宿泊事業者等にパンフレットを配布し誘客に努めた。また、ガイドツアーや時代演目など各種イベントを展開し、箱根関所の歴史や魅力をより深く学んでもらう事業が実施できた。	特になし	計画通り実施(予定)
	14	1	総合体育館整備事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	総合体育館恒久的に使用可能な状態に保つため、施設の改修や環境整備等を行った。 ・ガス消火設備二酸化炭素容器交換工事、メインアリーナ大型扉改修工事	設備の経年劣化により修繕箇所が多くなっているため、修繕計画の見直しが必要である。	計画通り実施(予定)
	14	2	地域スポーツ施設等整備事業	生涯学習課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	施設の整備を行い、恒久的に使用可能な状態の維持を図った。 ・弓道場矢場ネット補修、湯本地区域スポーツ施設フェンス法面草刈り、仙石原テニスコートトイレ改修工事、宮城野テニスコート給水管引き換え工事	設備の経年劣化により修繕箇所が多くなっているため、修繕計画の見直しが必要である。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	14	3	箱根町文化・スポーツ財団運営補助事業	生涯学習課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	箱根町文化・スポーツ財団の運営に対して補助を行い、町民の文化・スポーツ活動の推進を図った。	箱根町文化・スポーツ財団の目的は、住民の自発的な文化、スポーツ活動の推進に努めることであるが、主な活動が文科系であり、スポーツ系は大会運営の補助に留まっている。	計画通り実施(予定)
	14	4	生涯スポーツ推進事業	生涯学習課	自治事務(任意)	計画通り実施できなかった	健康の維持と体力の促進並びに自主活動の促進を図り、生涯スポーツの推進を図った。 ①箱根路森林浴ウォーク コースコンディション悪化のため中止 ②グラウンドゴルフ大会 雨天のため中止 ③ニュースポーツ大会 R4.10.20実施、参加者48名 ④ソフトバレーボール大会 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	特になし	計画通り実施(予定)
	15	1	男女共同参画推進事業	町民課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・男女共同参画推進プラン取組状況調査 ・女性活躍推進法に資する推進計画の実施 ・男女共同参画講演会の実施 ・啓発紙や広報はこね、町ホームページ等による情報提供 ・女性活躍セミナーの実施	・講演会について、集客に苦慮している。特に、子育て世代や町内事業所からの参加が少ない。各団体への周知依頼以外にも、事業所の参加を促す方法を検討したい。	計画通り実施(予定)
	15	2	人権意識啓発事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・各種人権団体主催の研修会等に積極的に参加し、人権意識の向上に務めた。 ・啓発物品の配布をとおして町内の生徒児童に対する人権啓発意識の向上に務めた。 ・行事時にアンケートを実施するとともに啓発物品を配布し意識啓発に務めた。 ・人権団体に負担金を支出した。	いじめや虐待、LGBT等、人権問題に対する社会的関心が高まる中、引き続き各種人権団体等との連携を強化し、啓発活動等により人権尊重理念の正しい理解と人権尊重意識の普及高揚を図っていく必要がある。	計画通り実施(予定)
	16	1	ホストタウン交流事業	企画課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	令和5年1月に箱根幼稚園にホストタウンの一国であるエリトリア留学生6名を招待し、園児、保護者と交流会を行った	オリンピックとの交流が出来ないことから、今後も留学生との交流に変更していく必要がある。	計画通り実施(予定)



施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
16	2	姉妹都市親善交流事業(教育費)	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、相互訪問はせず、オンライン交流を実施した。	特になし	計画通り実施(予定)
16	3	姉妹都市親善交流事業(観光費)	観光課	自治事務(任意)	計画通り実施できなかった	新型コロナウイルスの影響により箱根大名行列は規模を縮小して行われたため、物産店の開催は行えなかった。しかし、姉妹都市洞爺湖町の魅力をPRするため、コロナ禍に適応した形で物産販売を行った。	特になし	計画通り実施(予定)
17	1	町道湯71号線道路整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	計画通り実施できなかった	社会資本整備総合交付金交付額の減により、事業実施できなかったもの。	国等の補助金を活用し、事業推進を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
17	2	町道温37号線道路整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・排水管改修工 L=10.6m	特になし	計画通り実施(予定)
17	3	町道宮185号線道路整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・測量委託 ・アスファルト舗装工 L=130m A=654㎡	特になし	計画通り実施(予定)
17	4	町道仙3号線道路整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・アスファルト舗装工 L=95m A=416㎡	特になし	計画通り実施(予定)
17	5	町道仙96号線道路整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・アスファルト舗装工 L=226.3m A=629㎡ ・アスカーブ設置工 L=166m	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
17	6	町道箱1号線道路整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・アスファルト舗装工 L=55m A=299㎡	特になし	計画通り実施(予定)
17	7	町道箱12号線道路整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・アスファルト舗装工 L=250m A=1,219㎡	特になし	計画通り実施(予定)
17	8	町道湯2号線道路改良整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・不明管調査 ・路線測量委託 L=100m	橋りょう架け替えに伴う協議(河川管理者、地元自治会等)を進め、事業着手に向けた調整が課題となっている。	計画通り実施(予定)
17	9	町道箱1号線道路改良整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・道路改良工事 L=157.8m ・排水構造物設置工 L=55m ・ブロック積工 A=277㎡	国等の補助金を活用し、事業推進を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
17	10	橋りょう長寿命化改修事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・橋梁点検 N=54橋	特になし	計画通り実施(予定)
17	11	仙石原町有道路整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・アスファルト舗装工 L=45.9m A=155㎡	特になし	計画通り実施(予定)
17	12	林道整備事業	観光課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	茶屋林道、長尾林道の整備を行った。	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
17	13	道路後退用地整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路解体用地の整備</li> <li>用地測量:1件</li> <li>用地買収:3件</li> </ul>	本事業は、町が率先して整備を推進するものではなく、あくまで建築行為等を行う建築主等からの申請により始まるものであるため、町民には当制度を利用してもらい、道路後退するよう誘導していく必要がある。	計画通り実施(予定)
17	14	道路施設保守点検事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路パトロールを実施したほか、各種道路施設台帳を作成し総点検を実施した。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
17	15	町道路面性状調査事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>路面調査委託 7路線 L=3.5km</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
17	16	宮ノ下駐車場整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮ノ下駐車場の建物や設備の老朽度を診断し、今後の長寿命化改修工事に向けた調査を実施した。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
18	1	住みたいまち箱根推進事業	企画課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>はこねっこ誕生祝金は、周知徹底を図り、第2子以降の子に交付することができた。</li> <li>トライアルステイ事業では、認知度も高まり、募集に対し約5倍の応募があったなかから10組の移住希望者が参加し、移住意欲の向上につながった。</li> <li>トライアルオフィス体験事業では、新たに滞在施設を借上げ、整備を行い、4組のグループの参加があった。</li> <li>空き家バンクの運営を民間委託した結果、きめ細やかな相談体制が築け、多くの相談があった。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
18	2	町営住宅整備事業	福祉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・適正な入居者の居住環境と住宅管理の向上のため、各町営住宅の維持補修を行った。	建物の老朽化が進んでいるが、町の財政状況等を考慮すると、大規模な改修を行うことは非常に困難であるため、当面は、既存入居者の利用に対応した維持保全を図っていき、居住性の向上や住居ニーズに応じた改修をおこなうことしかできない。	計画通り実施(予定)
18	3	公園整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・公園施設の維持管理のため、いこいの家の建物修繕、老朽化した遊具の更新等を行うとともに、大平台地区の公園遊具等の再配置に向けて地域との協議を開始した。 ・宮ノ下緑地をはじめとする公園内において、高木化した樹木等の選定や伐採を実施した。	老朽化した公園施設の更新及び長寿命化対策が課題となっている。	計画通り実施(予定)
18	4	観光街路灯整備補助金交付事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	自治会等が管理する観光街路灯の電気料に対して85%、支柱の建て替えや塗装などの改良工事、修繕料に対しては70%の補助を実施した。また、R4年度に限り電気料の差額補助金を支出した(R4年度に自治会が負担した電気代とR3年度に負担した電気代の差額を補助を実施した。	補助対象経費の見直しをしていく必要がある。	計画変更し実施(予定)
18	5	LED街灯整備事業(観光費)	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	LED照明機器借上料について支払いを行った。	特になし	計画通り実施(予定)
18	6	LED街灯整備事業(総務費)	町民課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	借上料の支払及び修繕等移管に関する準備をした。	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	18	7	LED街灯整備事業(土木費)	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	電気料金の値上げもあったが、LED照明灯への交換により、平成29年度と比較して電気料金が約47%減少した。	特になし	計画通り実施(予定)
	18	8	地籍調査事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	湯本字後山地区0.08km <sup>2</sup> の街区境界調査を実施した。	特になし	計画通り実施(予定)
	18	9	都市計画基礎調査事業	都市整備課	法定受託事務	計画通り実施できた	・都市計画法第6条に基づき、県との協力体制のもと、土地利用の現況、建物の現況及び都市基盤施設の整備状況等についての実態調査を実施した。	特になし	計画通り実施(予定)
	19	1	散乱ごみ・不法投棄対策事業	環境課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	・自然環境の保全と環境美化の推進を図るため、散乱ごみ、不法投棄物の撤去・回収を実施した。	反復、継続して不法投棄が発生する箇所があることから、効果的な防止対策が必要である。	計画通り実施(予定)
	19	2	花いっぱい事業	環境課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・町フラワーボックス等への花の植栽や花いっぱい運動実践団体に対する季節の花の配付を行い、花いっぱい運動を推進した。 ・町が管理する大平台花壇の改修工事を実施した。	特になし	計画通り実施(予定)
	19	3	合併処理浄化槽設置整備費補助事業	環境課	自治事務(義務)	計画通り実施できなかった	広報はこね4月号、町ホームページで周知したが、補助申請がなかった。	現行の国・県・町の補助制度では、住民の高齢化等もあり、合併浄化槽への転換件数の増加は見込めない。	計画通り実施(予定)
	19	4	有害鳥獣対策事業	環境課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	・有害鳥獣による生活被害及び農作物等被害の防止を図るため、イノシシ、シカ等の捕獲・駆除を行った。 また、ニホンジカ捕獲のさらなる推進のため、環境省及び神奈川県と打合せを行った。	ニホンジカ対策について、生息範囲が広がっている傾向にあることを鑑み、更なる捕獲の強化等対策の拡充が求められる。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
	19	スズメバチ対策事業	環境課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・営巣したスズメバチの巣を業者に依頼して駆除した者に補助金を交付した。	特になし	計画通り実施(予定)
	20	一般建設改良事業(水道事業会計)	上下水道温泉課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	箱根第1配水池法面整備工事 4,543千円 小涌谷第1配水池電動弁更新工事 2,860千円	コロナ禍において、水道収益が大幅に減少したため、事業を抑制する必要が生じた。	計画通り実施(予定)
	20	送配水管整備事業(水道事業会計)	上下水道温泉課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	湯本地内配水管改良工事(第57工区)13,970千円 大平台地内配水管改良工事(第19工区)7,645千円 小涌谷地内配水管改良工事(第20工区)19,690千円 湯本地内配水管改良工事(第58工区)12,067千円 箱根地内配水管改良工事(第30工区)19,151千円	特になし	計画通り実施(予定)
	20	水道統合整備事業(水道事業会計)	上下水道温泉課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	特になし	町営水道給水区域内における未給水区域等の解消に関する取り組みにおいては、候補地域の住民等との交渉があまり進んでいない	計画通り実施(予定)
	20	管路施設建設改良事業(公共下水道事業会計)	上下水道温泉課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	・未供用地区解消の工事を実施。2件35,112,000円。 ・管路改築工事(更生)により下水道管の長寿命化が図れた。1件11,275,000円。 ・管路施設改築工事により鉄蓋交換を実施し、長寿命化が図れた。2件1,232,000円	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	20	5	処理場建設改良事業(公共下水道事業会計)	上下水道温泉課	自治事務(義務)	計画通り実施できなかった	実績なし	主財源である国の交付金が削減となり、優先度の高い案件から執行し、R4新規発注改築工事については執行延期とした。次年度以降は国が重視する耐震化、耐水化事業と平行して次期ストマネ計画に基づく改築事業の交付要望を行う。	計画変更し実施(予定)
	20	6	ポンプ場建設改良事業(公共下水道事業会計)	上下水道温泉課	自治事務(義務)	計画の半分程度実施できた	計画に基づき施設の更新等事業、その他維持管理工事を実施。 (改築・更新事業) ・防ヶ沢ポンプ場機械電気設備改築工事(130,010千円) ・樹木園ポンプ場電気設備改築工事(115,000千円) (その他維持管理工事) ・強羅橋ポンプ場汚水ポンプ更新工事(2,750千円) ・樹木園ポンプ場無停電電源装置設置工事(693千円)	主財源である国の交付金が削減となり、優先度の高い案件から執行し、R4新規発注改築工事については執行延期とした。次年度以降は国が重視する耐震化、耐水化事業と平行して次期ストマネ計画に基づく改築事業の交付要望を行う。	計画変更し実施(予定)
	20	7	第3号公共下水道事業(公共下水道事業会計)	上下水道温泉課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	・箱根小田原幹線工事延長1706m(4年間の債務負担の4年目工事675mを実施) ・流域下水道建設負担金286,661千円	推進掘削作業中に岩盤にあたり工事が難航し、事業を繰越して令和5年度も工事を継続することとなった。	計画通り実施(予定)
	20	8	第3号公共下水道事業面整備事業(公共下水道事業会計)	上下水道温泉課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	・湯本地区の公共下水道早期供用開始のための面整備基本計画を策定した。8,140千円	特になし	計画通り実施(予定)
	20	9	ストックマネジメント計画策定(公共下水道事業会計)	上下水道温泉課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	下水道施設の現状把握、施設管理の目標設定、長期的な改築事業量の検討を行った。 契約額 39,980千円 前払金額 13,980千円 (国交付金対象:繰越のため未収入) 翌年度繰越額 26,000千円	国交付金の配分確定に遅れが生じ、事業を繰越して令和5年10月まで継続することになった。令和5年度事業分と併せ、進捗を早めるものとする。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	20	10	公共下水道事業会計補助金	上下水道温泉課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・繰出基準に従い、一般会計から補助を受けた	今後、第3号公共下水道や老朽化施設改築等に多額の経費が見込まれることから、基準の範囲以内において、一般会計からの補助が必要となる。	計画通り実施(予定)
	21	1	公共交通事業者燃料価格高騰対策支援事業	都市整備課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・燃料価格高騰対策支援金 乗合バス 30両 タクシー 13両	特になし	廃止
	22	1	スマートエネルギー導入促進事業	環境課	自治事務(任意)	計画通り実施できなかった	自ら居住する町内の住宅に、新たにスマートエネルギー設備を導入した者に補助金を交付した。	高額な導入費用に対して補助率が低い。	計画通り実施(予定)
	22	2	ごみ減量化・再利用推進事業	環境課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	・ごみの発生、排出抑制及び資源化によるごみ減量化を住民・事業者・行政が一体となって総ぐるみで推進した。 ・特に、ごみ減量化事業(家庭用及び事業者用生ごみ処理機器購入費補助)、ごみ資源再利用推進事業(剪定枝の一部資源化)を実施した。	特になし	計画通り実施(予定)
	22	3	粗大ごみ選別業務委託事業	環境課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	・清掃第1プラント(粗大ごみ処理施設)を効率的に運転・維持管理するため、施設の運転及び維持管理、粗大ごみの選別業務及び剪定枝一部資源化の業務の委託を行った。	特になし	計画通り実施(予定)
	22	4	ごみ処理広域化推進事業	環境課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	可燃ごみ中継施設への転用及び剪定枝等ストックヤードの整備工事と長期包括運営委託を請負う事業者を選定するために3度の選定委員会を開催した(令和5年度の第4回選定委員会で決定)。	令和7年10月の可燃ごみ共同処理開始に向け、湯河原町、真鶴町及び湯河原町真鶴町衛生組合と適正な財政的負担割合について協議する。	計画通り実施(予定)
	22	5	清掃第1プラント運転管理事業	環境課	自治事務(義務)	計画通り実施できた	・清掃第1プラント(焼却施設)を効率的に運転・維持管理するため、施設の保守点検業務及び運転操作・監視業務等の一部の委託を行った。	特になし	計画通り実施(予定)



施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	22	6	清掃第1プラント施設維持管理事業	環境課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	・清掃第1プラントの施設機能保持のため、焼却施設及び粗大ごみ処理施設等の定期的な維持補修工事等を行った。	施設の老朽化に伴い想定外の補修工事が発生する。	計画通り実施(予定)
	22	7	最終処分場施設維持管理事業	環境課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	・最終処分場を効率的に維持管理するために、浸出水処理施設の運転管理及び水質分析等を委託するとともに、施設の定期的な補修工事及び第1・第2最終処分場の測量を行った。	特になし	計画通り実施(予定)
	22	8	清掃第2プラント運転管理事業	環境課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	・清掃第2プラント(し尿処理施設)を効率的に維持管理するため、施設の運転操作及び保守管理等の業務の委託を行った。	特になし	計画通り実施(予定)
	22	9	清掃第2プラント施設維持管理事業	環境課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	・清掃第2プラント(し尿処理施設)の機能保持のため、機械設備等の定期的な維持補修工事等を行った。	特になし	計画通り実施(予定)
	23	1	箱根トラスト推進事業	企画課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	4, 150千円の箱根町資源保全基金に指定した寄付、募金を受けるとともに、資源保全基金の一部を、地下水保全対策事業、仙石原すすき草原保存事業、箱根ジオパーク推進事業および史跡整備事業に繰入を行い、町の貴重な資源を保全する事業等に役立てることで、自然環境の保全に寄与することができた。	基金の残高が減っているため、町の広報等でトラスト活動を周知し、基金への賛同者増加、シンボルマーク利用促進を図る。	計画通り実施(予定)
	23	2	豊かな森林づくり事業(総務費)	財務課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	・仙石原財産区において、植栽、植生保護柵補強の森林整備を実施した。 ・蛸川財産区において、下刈り、植栽、枯損木撤去等の森林整備を実施した。	植栽の実施後に下刈り等の保育を実施しているが、シカなどによる食害等もあり、生育があまり良くないことが継続した課題である。	計画通り実施(予定)
	23	3	豊かな森林づくり事業(農林水産業費)	観光課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	町有林・私有林において、地域水源林整備計画に基づき整備を行った。 また、長期受委託制度を活用し、神奈川県森林組合連合会に私有林を整備させた。	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	23	4	間伐材搬出促進事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	町有林3箇所(①仙石原片平地区、②畑引山地区、③お玉が池地区)から県林業センターに間伐材を搬入し、売却した。	特になし	計画通り実施(予定)
	23	5	森林病虫害防除対策事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	カシノナガキクイムシ(病害虫)によるナラ枯れの被害拡大を防ぐため、被害を受けた樹木の整理(伐倒整理等)を実施した。また、「ナラ枯れ防除処理業者」へナラ枯れ防除に必要な機材の貸出や薬剤等を提供した。	特になし	計画通り実施(予定)
	23	6	地下水保全対策事業	企画課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>地下水モニタリング調査・分析、水質検査、降水量資料の収集・分析、温泉観測井のモニタリング調査について、継続的な調査を実施し、耐用年数を迎えた水位計の更新を行った。</li> <li>普及啓発活動として地下水の重要性や有効活用についてチラシを作成し、周知を図るとともに、町ホームページに地下水位・水収支調査結果を掲載した。</li> </ul>	地下水の保全に関する要綱等の策定が必要となっている。	計画通り実施(予定)
	24	1	景観まちづくり推進事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>景観セミナー開催(1回)</li> <li>景観フェイスブック等による情報提供</li> </ul>	景観まちづくりに関する制度が住民等に十分浸透していないため、住民等の主体的かつ積極的な取り組みが促進されるよう意識啓発や助言等、必要な措置を講じていく必要がある。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	25	1	地震等災害対策事業	総務防災課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各避難所・防災倉庫の備蓄食料や医薬品、ガソリン等を更新すると共に、職員用腕章・ヘルメットを購入した。</li> <li>・コミュニティ助成金を活用し、自主防災組織の資機材を整備した。</li> <li>・仙石原浄水センターを会場として総合防災訓練を3年ぶりに実施した。</li> <li>・防災士フォローアップ研修として防災出前講座を延べ22回実施した。</li> <li>・町内32カ所に土のうステーションを設置した。</li> <li>・感染症対策用物資としてテント等を購入・配備した。</li> </ul>	災害対策は地方自治体の義務であるため、今後とも継続していく必要がある。	計画通り実施(予定)
	25	2	震後建物応急判定業務整備事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大規模地震が発生した直後において、被災した建築物の被害状況調査(応急危険度判定業務)を実施するための機材等を役場本庁舎及び各出張所に備え、災害時の対応体制を整備した。</li> </ul>	応急危険度判定の認知度が低いことから、町民に対して判定活動についての広報活動の充実を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
	25	3	被災者生活再建支援事業	総務防災課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	対象となる大規模災害が発生しなかったため、執行なし。	特になし	計画通り実施(予定)
	25	4	災害時応急給水タンク整備	上下水道温泉課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	災害対策用備品購入(組立式給水タンク)6基購入 2,824千円	災害時の応急給水は本来、自治体の責務とされていることから、県営水道給水エリアの備品調達は、一般会計にて行ってもらおう(令和5年度)	計画通り実施(予定)
	25	5	水道事業会計補助金	上下水道温泉課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	災害対策用備品購入(組立式給水タンク)6基購入 2,824千円の内、購入費用の1/2の補助を、「令和4年度神奈川縣市町村地域防災力強化事業費補助金」より受けたもの。	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	25	6	大涌谷火山対策事業	総務防災課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防護マスク等消耗品の購入やポータブルガス検知器の保守により、監視員の使用する物品を整備した。</li> <li>・火山活動の活発化に備え、火山ガス観測設備及び警報装置等の維持管理を行った。</li> <li>・監視員による入口規制・監視業務に加え、監視責任者補佐を雇用し、観光客等の安全を図った。</li> <li>・大涌谷園地の5ヶ所の事業所内に警報回転灯を設置し、緊急時の避難誘導體制の強化を図った。</li> </ul>	大涌谷の安全対策は今後とも継続していく必要がある。	計画通り実施(予定)
	25	7	緊急輸送道路沿道建築物耐震化補助事業	都市整備課	自治事務(任意)	計画通り実施できなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象建築物へ制度をPRした(36件)。</li> <li>・対象建築物について、耐震化の促進を図るため、耐震診断等に要する費用に対し補助を行った。</li> <li>耐震診断費補助(1件/2件)</li> <li>耐震設計費補助(1件/1件)</li> <li>耐震改修費補助(0件/1件)</li> </ul>	耐震性に問題があることは認識しているものの診断費用の負担が大きく耐震診断が実施できない建築物もあることから、本制度により耐震化の経済的な負担の軽減を図るとともに、地震に備えるという防災意識の向上を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
	25	8	要緊急安全確認大規模建築物耐震化補助事業	都市整備課	自治事務(任意)	計画通り実施できなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業主の事情による事業延期により予定していた事業実施ができなかったもの。</li> </ul>	国等の補助金を活用し、事業推進を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
	25	9	木造住宅耐震化補助事業	都市整備課	自治事務(任意)	計画通り実施できなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・無料耐震診断相談会を年7回開催した(相談者9名)。</li> <li>・令和4年度より耐震診断士の派遣型の簡易診断を実施した。(4名)</li> <li>・対象建築物について、耐震化の促進を図るため、耐震診断等に要する費用に対し補助を行った。</li> <li>耐震診断費補助(2件/5件)</li> <li>耐震改修費補助(0件/2件)</li> </ul>	家主の高齢化や経済的余裕がないことから耐震化が進みにくい傾向があるが、本制度により耐震化の経済的な負担の軽減を図るとともに、地震に備えるという防災意識の向上を図る必要がある。	計画通り実施(予定)
	25	10	ブロック塀等撤去改修補助事業	都市整備課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・危険なブロック塀等の撤去等に要する費用に対し補助を行った。</li> <li>撤去費補助(3件)</li> <li>改修費補助(3件)</li> </ul>	耐震性に問題があることについて認識不足が見られるため、本制度により耐震化の経済的な負担の軽減を図るとともに、地震に備えるという防災意識の向上を図る必要がある。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	26	1	消防職員被服等整備事業	消防本部	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・消防職員用防火衣等一式(防火衣、防火帽、防火ズボン、防火長靴、安全带)を7式更新した。	特になし	計画通り実施(予定)
	26	2	消防車両整備事業	消防本部	自治事務(任意)	計画通り実施できなかった	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大及び世界的な半導体不足に伴い、メーカーの工場が稼働停止となり、年度内に納車が不可能になったことから、繰り越しとなったもの。	・第6次総合計画(後期)で7台の消防車を更新するが、財源の大半が起債であることから市町村地域防災力強化事業費補助金等を有効に活用し更新する必要がある。 ・世界情勢等の影響から、部品不足等に伴い、年度内の納入が難しい場合がある。	計画通り実施(予定)
	26	3	消防・救助業務推進事業	消防本部	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・小型動力ポンプ(第10分団第1部配備用)等及び成人型訓練人形(更新)を購入し資機材の充実強化を図った。	・今後、更に複雑多様化する火災・救助事案に対応していくため、計画的に消火・救助資機材を整備し、消防活動の充実強化を継続していく必要がある。	計画通り実施(予定)
	26	4	消防水利等整備事業	消防本部	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・大平台地区及び小涌谷地区の町営水道管敷設替えに伴い、当該区域内に存する老朽化した消火栓を計画的に更新し、消防水利を整備した。	・消火栓については、今後も町営・県営水道配管敷設時に、当該区域内に存する老朽化した消火栓を計画的に更新するとともに、必要に応じて新設していく必要がある。 ・防火水槽の整備については、候補地の確保に苦慮しているのが現状である。	計画通り実施(予定)
	26	5	消防施設等整備事業	消防本部	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・第2分団第3部詰所(仲町)車庫入口スロープ改修工事を実施した。 ・第2分団第4部詰所(湯本茶屋)・第9分団詰所(温泉荘)・第11分団詰所(箱根)のエアコン設置工事を実施した。 ・消防本部庁舎のばい煙濃度監視機器等の改修工事を実施した。 ・箱根分署の仮眠室の改修工事を実施すると共にカーテン付二段ベッド等を購入した。	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	26	6	消防情報機器等整備事業	消防本部	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>箱根分署の気象観測装置のデータロガーを更新した。</li> <li>消防指令システム設備の更新に関わる仕様書等の精査を行った。</li> <li>署活系無線機10基(各署)を更新した。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
	26	7	消防団員被服等整備事業	消防本部	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員用のアポロキャップ(110個)、防火衣等一式(34着)、編上げ靴(110足)を購入した。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
	26	8	地震等災害対応資機材整備事業(非常備消防費)	消防本部	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>剣スコップ(穴あき)、切創防止用保護衣及びチェンソーを配備し、大規模災害発生時における消防団活動の充実強化を図った。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
	26	9	地震等災害対応資機材整備事業(常備消防費)	消防本部	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>長手袋、インナー手袋、保護メガネ、剣スコップ(穴あき)、胴長靴、検索棒等を配備し、大規模災害発生時における消防活動の充実強化を図った。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
	26	10	救急業務高度化推進事業(常備消防費)	消防本部	自治事務(任意)	計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急救命士の教育(就業前病院研修3人、就業後病院研修7人、気管挿管病院実習1人、ビデオ喉頭鏡病院実習1人)を計画どおり推進できたことにより、救急救命士の知識と技術の向上が図れ、救急活動の全体的なレベルアップが図れた。</li> <li>町民等に対する応急手当普及講習会を59回開催し、408人の受講者が心肺蘇生法等の応急手当を習得し、救命率の向上に寄与することができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日進月歩で高度化していく救急医療に対応するため、今後も引き続き救急救命士の教育を計画的に推進し、知識と技術の維持向上を図る必要がある。</li> <li>応急手当普及講習会については、受講者の知識と技術を維持していくために2～3年ごとの受講が推奨されることから、定期的な受講を推進していく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
	26	11	火災予防推進事業	消防本部	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた <ul style="list-style-type: none"> <li>・防火ポスターコンクール用画用紙(250枚)及び入賞者記念品(25個)を購入するとともに、防火ポスター(600枚)を印刷した。</li> <li>・幼年消防クラブ育成消耗品(反射シール240個)を購入した。</li> <li>・火災予防広報用品(ポケットティッシュ1,000個、懸垂幕2本)を購入した。</li> <li>・少年少女消防体験は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止とした。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)
	27	1	交通安全対策推進事業	町民課	法定受託事務	概ね計画通り実施できた <ul style="list-style-type: none"> <li>・各季等交通安全キャンペーンとして、年間6回のキャンペーンを開催した。</li> <li>・児童、園児を対象に交通安全教室を7回開催した(目標7回)。</li> <li>・高齢者を対象に交通安全啓発物品の配布を行ったもの。</li> </ul>	交通安全対策の推進にあたり、町内の交通関係団体等の地域コミュニティと連携を図りながら、地域主体の活動を促す必要がある。	計画通り実施(予定)
	27	2	くらしの安全推進事業	町民課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた 防犯カメラ設置補助に関しては自治会等に周知をしたが申請には至らなかった。迷惑電話防止機能付電話機購入費補助は2件の申請があったもの。	防犯カメラ設置補助は設置後にかかる維持管理費などのランニングコストは補助対象外となっているため設置のハードルが高くなっていると考えられる。	計画通り実施(予定)
	27	3	消費生活相談支援事業	町民課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた 小田原市消費生活センター内の相談窓口運営費を負担すると共に相談窓口の周知を行った。	特になし	計画通り実施(予定)
	28	1	箱根線整備事業(温泉特別会計)	上下水道温泉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた <ul style="list-style-type: none"> <li>・箱根線改良工事として、老朽化した管路の更新工事を実施した。</li> </ul>	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
	28	湯之花線整備事業 (温泉特別会計)	上下水道温泉課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・湯之花分譲地内において、(株)西武リアルティソリューションズとの施工計画合意書に基づき更新工事を実施した。	特になし	計画通り実施(予定)
	29	観光施設整備事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	畑宿寄木会館1階講習室エアコン設置工事、外部擁壁・手摺塗装工事、内部階段仕切扉設置工事を行った。箱根園地内観光案内板建替工事を行った。	特になし	計画通り実施(予定)
	29	箱根湿生花園特別展等開催事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	企画展として、あじさい展、食虫植物展、秋の山野草展、春の山野草展を開催し、ミニイベントとして、シクラメン展、水彩画と盆栽展、王者香展を開催した。また、企画展等のパンフレットを作成、配架し、誘客宣伝に努めた。	特になし	計画通り実施(予定)
	29	箱根湿生花園整備事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	仙石原植生復元区の維持管理(除草及び木道及び境界柵の改修工事等)、園内樹名札の改修、園内主要植物の生育に適した地域での栽培(新潟県)、受水槽改修工事、イノシシ柵設置工事、用水路の漏水及び土留め板設置工事などを行った。	特になし	計画通り実施(予定)
	29	ジオミュージアム誘客宣伝事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	箱根ジオパークのジオサイトのきれいな景色、箱根火山の形成史や現在の火山活動について、臨場感あふれる360度の全天周映像で紹介するイベント「箱根ジオパークドームフェスタ」を開催し、誘客宣伝に務めた。なお、多くの方に参加してもらうため、他の周辺施設にも出向き実施した。 全6日 延べ参加人数476人	特になし	計画通り実施(予定)
	29	森のふれあい館整備事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	事務室内の電話機更新及び複合機の導入した。	森のふれあい館とやすらぎの森との利活用について、展示コンセプト、改修の方向性について再度検討する。	計画変更し実施(予定)



施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	29	6	森のふれあい館特別展等開催事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	生きた昆虫展及びクリスマス企画等の特別展や企画展、楽習教室を開催した。	特になし	計画通り実施(予定)
	29	7	やすらぎの森整備事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	園内管理人雇用を雇用し、利用者が快適に過ごせるようにやすらぎの森の管理を行った。	特になし	計画通り実施(予定)
	29	8	森林セラピー推進事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	体験ツアー・「森林セラピープチ体験」の開催やホームページの運営を実施した。また、職員の森林セラピーガイド資格取得講座での受講料補助を行い、人材育成を行った。	将来的には、現在の事業委託先の自立(自主運営)を目指す。	計画通り実施(予定)
	29	9	公衆トイレ整備事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	公衆トイレ清掃委託では委託先と些細な情報でも密に連絡を取ることで、利用者に快適にトイレを利用してもらえるよう維持管理を図った。	特になし	計画変更し実施(予定)
	29	10	ハイキングコース等整備事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	臨時職員2名を雇用し、コースの草刈・倒木処理・危険個所の調査や簡易な補修等を実施した。業者発注により、コースのスズメバチ駆除や落石危険岩処理・案内板等の改修を行い、4コースの草刈りを実施した(①明神・明星コース、②長尾峠コース、③湯坂路コース、④金時山コース)。	特になし	計画通り実施(予定)
	29	11	仙石原すすき草原保存事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	臨時駐車場や仮設トイレの設置及びすすき草原の環境整備を行った。また、山焼きを実施し、すすき草原の景観の保護を行った。	臨時駐車場及び仮設トイレの設置の必要性について検討する。	計画通り実施(予定)
	30	1	誘客宣伝事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	小田急TV(車両窓上液晶)の動画放映や東京駅八重洲南北通路デジタルサイネージの動画放映など各種媒体により町への誘客に努めた。また、町内で開催されたイベント等に対し補助金を支出した。	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
30	2	はこね親善大使事業	観光課	自治事務(任意)	計画の半分程度実施できた	FMヨコハマ公開イベントへはこね親善大使に出席してもらい、幅広い世代へ向けた箱根のPRを実施し、町の誘客を図った。	特になし	計画通り実施(予定)
30	3	箱根駅伝歓迎事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	往路優勝校へ記念品(寄木トロフィー、寄木メダル)を贈呈した。 沿道各所で歓迎事業を実施した。 往路ゴール付近に観客用仮設トイレを設置した。	特になし	計画通り実施(予定)
30	4	観光情報推進事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	観光客に対して積極的な情報提供を行うため、WEBカメラによる映像配信や、観光案内所の管理運営を行った。 宮ノ下観光案内所の柱補修工事を行った。	利用者の少ない観光案内所のあり方について、チャットボットや総合観光案内所への直通電話の導入等の検討を行う。	計画通り実施(予定)
30	5	農地実態調査事業	観光課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	農地台帳に基づいて、町内に存する農地の実態調査を実施し、現状の把握等に努めた。	特になし	計画通り実施(予定)
30	6	水産業振興事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	釣り客の増加と観光資源の振興を図るために重要な芦之湖漁業協同組合及び早川河川漁業協同組合の魚族放流事業に対して、補助金を支出した。	特になし	計画通り実施(予定)
30	7	信用保証料補助事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	町内事業者に対し、県信用保証協会への振込保証料の一部を補助した(実績16件)。	特になし	計画通り実施(予定)
30	8	観光産業融資利子補給事業	観光課	自治事務(任意)	計画通り実施できなかった	廃止	—	廃止

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
30	9	中小企業者等アドバイザー派遣事業	観光課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	中小企業者向けの小冊子を作成し中小企業者への事業周知を促した。 希望する中小企業経営者に対し、専門的知識や実務経験のあるアドバイザーを派遣した(実績7件)。	特になし	計画通り実施(予定)
30	10	経営安定緊急融資事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	新型コロナウイルスの流行や物価高騰の影響により経営状況が悪化している事業者に対して融資を実施した。 資金預託額230,000千円(①さがみ信用金庫201,871千円、②横浜銀行13,646千円、③スルガ銀行14,483千円) 上記融資を受けている事業者に対して、県信用保証協会への振込保証料の一部を補助及び償還時の利子補給を実施した(信用保証料補助実績89件・利子補給305件) 令和4年7月より開始(物価高騰)	特になし	計画通り実施(予定)
30	11	中小企業者等災害復旧支援事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	令和元年度の台風19号の影響により、経営状況が悪化した事業者に対して融資を実施した。 (令和4年12月全事業者完済につき事業終了)	特になし	廃止
30	12	人材確保等支援事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	町内中小企業者の人材確保や人材定着、従業員の働きがい、資質向上につながる事業に対して掛かる費用の一部を補助した。(人材確保事業補助実績11件・人材育成事業補助実績2件)	特になし	計画通り実施(予定)
30	13	中小企業等設備投資促進事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	町内中小企業者の設備投資意欲の向上及び経営基盤強化を図り、固定資産税の賦課が見込まれる設備投資に要した費用の一部を補助した。 (設備投資補助実績3件)	特になし	計画通り実施(予定)
30	14	省エネ設備等更新促進事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	町内中小企業者が事業の用に供している設備等を省エネ、電力や燃料等の高効率となる設備等へ更新する際に要した経費の一部を補助した。 (補助実績37件)	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性	
	30	15	インバウンド観光推進事業	観光課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	外客向けパンフレット(御箱マップ)を2,000部作成した。(御殿場市と共同)台湾市場へのセールスプロモーションを実施した。(現地、オンラインの2回)	特になし	計画通り実施(予定)
	30	16	退職金共済制度加入奨励事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	共済契約を締結している町内に事業者を有する事業主に対して、共済掛金の一部補助を行った(実績37件)。	特になし	計画通り実施(予定)
	30	17	勤労者生活資金融資事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	勤労者の生活の安定と向上に必要な資金融資を行うため金融機関に資金を預託した(実績なし)。	特になし	計画通り実施(予定)
	30	18	中小企業等感染症対策事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・小規模事業者が、同影響にかかる公的融資を受けた場合に、支払った利子の一部を補助した。(信用保証料補助実績1件・利子補給補助実績69件)	特になし	計画通り実施(予定)
	30	19	ふるさと納税促進事業	財務課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	広告の効果的な実施やダイレクトメールの発送、イベントへの参加等を行い、当町のふるさと納税の取り組みを広く周知した。	寄付による収入のため、税や交付金のように安定的な収入源とすることが難しい。また、経費や返礼品等に係る基準が見直され、適切な対応が求められている。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
	31	箱根ジオパーク推進事業	企画課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクションプラン等に基づき、フォトコンテストやオンラインジオツアーなどの「普及啓発」やジオサイトにおける多言語対応などの「環境整備」、保全計画策定のための「サイトカルテ作成」等、ジオパーク活動を推進した。</li> <li>・二市三町における地域課題等に対するヒアリングや意見交換会、パブリックコメント等の実施により「箱根ジオパークとして目指す姿＝ビジョン」を策定した。</li> <li>・ジオパーク認定10周年の記念行事として、「夏休み子どもジオ講座」を規模(予算額・募集人数等)を拡大し実施。コロナの影響を受け、参加人数は61名に留まったものの、参加者アンケートでは満足度が高い結果となった。</li> </ul>	「夏休み子どもジオ講座」への町内児童の参加率が低いことから、参加を促す働きかけなど検討の必要がある。	計画通り実施(予定)
	32	箱根物産振興事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	地場産業の振興と伝統的工芸品に指定されている箱根寄木細工の伝統技術の保存等の事業に補助をした。(偶数年につき「木・技・匠の祭典」開催)	特になし	計画通り実施(予定)
	32	伝統文化継承事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	箱根湯本芸能組合が実施した箱根をどり、大名行列、新年祝賀会等に対し補助した。	特になし	計画通り実施(予定)
	32	大名行列衣装等整備事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	箱根大名行列衣装等の一部更新をした。	購入計画の見直しを検討する。	計画通り実施(予定)
	32	地域観光行事特別助成事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	町内主要観光行事に補助金を交付した。 箱根大名行列 太閤ひょうたん祭り 宮城野虫送り火まつり 強羅大文字焼 芦ノ湖湖水祭り 湖尻龍神祭 鳥居焼祭り 芦ノ湖夏祭りウィーク 仙石原すすき祭り	特になし	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
33	1	箱根DMO支援事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	DMO活動支援補助金として、出向者の人件費相当分の補助の他、ユニバーサルツーリズムにおける車いすで巡る箱根旅冊子の作成や箱根DMO公認観光ガイドの育成、観光DXにおけるマーケティングデータの蓄積、調査を実施し、観光経済の推進を図った。	令和6年度からのHOT21観光プラン実施計画(後期)が策定されるが、どのように箱根DMO支援を継続していくのか課題である。	計画通り実施(予定)
33	2	集会所等整備事業	町民課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	令和3年10月から令和4年9月まで元箱根集会所周辺の地下水推移を観測し、集会所へ及ぼす影響を調査した。	調査期間内に浸水が発生しなかったため、直接的な原因は判明しなかった。	計画通り実施(予定)
33	3	コミュニティ助成事業	町民課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	湯本山崎自治会に対して、コミュニティ活動に必要な備品の購入への助成を行った。	特になし	計画通り実施(予定)
33	4	活力あるまちづくり支援事業	町民課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・新規3件、継続2件の応募があり、5件に補助をした。	・活動の継続が困難になり、申請取り下げや継続未申請の団体がある。	計画通り実施(予定)
33	5	大学連携推進事業	企画課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・星槎大学とのインクルーシブコミュニティ事業推進 ・横浜国立大学との地域経済循環研究、買い物アンケートに関する報告会、大学生による仙石原小学校での授業実施	特になし	計画通り実施(予定)
33	6	町政モニター事業	企画課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	・インターネットアンケートの実施 ・謝礼品の送付 ・広報紙での周知	モニター募集は、継続して行っているが、登録者数が伸び悩んでいる。更なる周知と募集を図っていく。	計画通り実施(予定)

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
	33	7 仙石原交差点周辺まちづくり事業	都市整備課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等が参加するワークショップを開催し、まちづくりに関する協議や情報交換を行った。</li> <li>・まち歩きイベントを開催して商店街の新たな顧客獲得等に一定の効果をあげることができた。</li> <li>・公園等においてマルシェイベントが活発に行われるようになった。</li> </ul>	地域内の若者等、まちづくりに関係する人材を増やしていく必要がある。交差点改良計画の実現に向けて、沿線土地所有者や県との調整を進める必要がある。	計画通り実施(予定)
	34	1 地方公会計整備事業	財務課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門業者に委託し、新たな基準による財務書類の作成・公表等を行った。</li> <li>・次期財務会計システムの更新に伴い、公会計システムの機能を追加することを決定した。</li> </ul>	公会計システム導入後、財務書類の作成がどの程度できるか検討が必要である。	計画通り実施(予定)
	34	2 デジタル化推進事業	企画課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	DXについて、意識醸成に取り組むとともに、DX推進計画の柱となる方針として「はこねデジタル未来宣言」を公表した。また、出張スマホ教室を開催し、デジタルデバイド対策に取り組むなどDXの推進を図った。	デジタルに対する苦手意識の払拭、職員のデジタルスキルの向上が今後の課題である。	計画通り実施(予定)
	34	3 電子計算処理推進事業	企画課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	庁内システムの安定した運用のため、各種システムの管理を行った。また法改正や機器更新に合わせてシステムの改修や業務の効率化を図った。	特になし	計画通り実施(予定)
	34	4 償却資産実態調査事業	税務課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	・償却資産実態調査(大規模2社含む4社)を実施し、公正・公平な課税が図られた。	特になし	計画通り実施(予定)
	34	5 個人情報保護推進事業	総務防災課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	個人情報保護法の改正に対応するため、関連例規の整備、職員研修、手引きの作成等を行った。	特になし	廃止

施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
34	6	庁舎施設等整備事業	財務課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	本庁舎及び車庫耐力度調査委託、本庁舎・分庁舎エレベーター改修工事等を行い、庁舎等を適切に維持するための整備を行った。	施設の老朽化に伴い、今後、施設の維持管理工事や解体工事に対する経費が増加していくことが継続した課題である。	計画通り実施(予定)
34	7	出張所整備事業	町民課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	経年劣化している箱根出張所の改修等を行い、出張所機能の維持を図った。 ・箱根出張所トイレ及び露出排水管修繕 ・箱根出張所アスベスト調査委託 ・箱根出張所電気配線改修工事	施設の老朽化が著しく、計画的に改修していく必要がある。	計画通り実施(予定)
34	8	公共施設等総合管理計画策定事業	財務課	自治事務(義務)	概ね計画通り実施できた	平成28年度に策定した「公共施設等総合管理計画」について、その後策定した関連計画の内容を反映させるとともに、国から新たに必須記載事項として示された7項目を網羅するための改訂を行った。	社会情勢の変化等の状況に応じた見直しを図っていくもの。	計画通り実施(予定)
34	9	箱エールクーポン券事業	町民課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	町内登録店舗で利用できるクーポン券を全町民に配付し、新型コロナウイルス感染症に加え、物価高騰等の影響を受けている町民生活を支援するとともに、地域経済の回復を図った。	特になし	廃止
35	1	SDGs推進事業	企画課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	町民、事業者等にSDGsを周知するため、「箱根町SDGs推進計画」を策定を進めた。	町民、事業者等へ効果的に周知するにはどうしたらよいか検討が必要である。	計画通り実施(予定)
36	1	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業	保険健康課	法定受託事務	計画通り実施できた	・集団接種を52日実施した。 ・高齢者の集団接種の予約の割り振りを行った。	特になし	計画通り実施(予定)



施策	No.	事務事業名	担当課	事務区分	事業の進捗度	主な取組みの実績	課題	今後の事業の方向性
36	2	新型コロナウイルス感染症自宅療養者支援事業	保険健康課	自治事務(任意)	計画通り実施できた	食料や衛生用品を自宅療養者へ55回支給した。	特になし	廃止
36	3	新型コロナウイルス感染症緊急対策事業(教育総務費)	学校教育課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・園で必要な感染症対策用の消耗品を購入した。</li> <li>・小学校の修学旅行時に看護師を同行させた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症をはじめとした感染症の防止対策に、引き続き取り組んでいく必要がある。</li> </ul>	計画通り実施(予定)
36	4	町内経済活性化事業	観光課	自治事務(任意)	概ね計画通り実施できた	コロナ禍で落ち込んだ地域経済を活性化することを目的に、町内登録店舗で利用可能な特別クーポン「箱いこ」を発行した。	特になし	廃止



箱根町第6次総合計画(後期基本計画)  
実施計画 令和4年度施策別評価結果

発行 : 企画観光部 企画課

発行日 : 令和5年 11 月

住所 : 〒250-0398 神奈川県足柄下郡箱根町湯本 256

電話 : 0460-85-7111(代表)

